目次へ 戻る 次へ 索引へ 検索する

オキページプリンタ

OKI

MICROLINE 22NR
MICROLINE 22N

ユーザーズマニュアル （セットアップ編）

◯このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。
　プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
◯本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル（本書）をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告	
	プリンタ内部の安全スイッチに触れないでください。 高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。 プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。

⚠警告

	プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、プリンタケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。
	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。

⚠注意

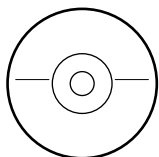
	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。 ケガをするおそれがあります。

マニュアルの構成

本製品には、次の説明書とCD-ROMマニュアルが付属しています。

ユーザーズマニュアル(セットアップ編)…本書

必ずお読みください。
プリンタの設置からプリンタドライバのインストールまでの手順、操作パネルの表示、基本的な印刷、消耗品の交換などが記載されています。

ユーザーズマニュアルCD-ROM

各種ユーティリティ、縮小印刷や丁合印刷などさまざまな機能の使い方を説明しています。
ユーザーズマニュアルCD-ROMの内容(211ページ)をご覧ください。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE 22NR → ML22NR
- MICROLINE 22N → ML22N
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → WindowsXP
- Microsoft® Windows® Server2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® WindowsNT® operating system Version4.0日本語版 → WindowsNT4.0
- WindowsXP、Windows Server 2003、WindowsMe、Windows98、Windows95、Windows2000、WindowsNT4.0の総称→Windows
- マルチパーパスフィーダ → MPF
- 拡張給紙ユニット → トレイ2、セカンドトレイ
- PostScript3エミュレーション → PSE、POSTSCRIPT3エミュレーション、POSTSCRIPT3 EMULATION
- Windows Server 2003の場合は、[プリンタ]の部分を[プリンタとFAX]に読み替えてください。

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

諸注意

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

高調波規制について

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

商標について

MICROLINEは株式会社沖データの商標です。
Microsoft、Windows、WindowsNTは、米国Microsoft Corporationの米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、MacOS、LaserWriterおよびTrueTypeは、米国Apple Computer Inc.の米国及び、その他の国における登録商標または商標、商品名です。
OKIは沖電気工業株式会社の登録商標または商標です。
PostScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標、または商標です。
ESC/Pはセイコーエプソン社の登録商標または商標です。
平成明朝体W3、平成角ゴシック体W5は､財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可無く複製することはできません。
その他各社名, 製品名は各社の登録商標または商品名です。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

以下に記載されているものは、お客様がプリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

お客様へのお願い

プリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に、本契約書を必ずお読み下さい。
お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却して下さい。

株式会社沖データ(以下「沖データ」といいます)は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア(ただし、Adobe Readerは除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます。)を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

本ソフトウェアに含まれているWindows Me/98用 PostScript®プリンタドライバおよびそれに関連する説明資料(以下総称して、「マイクロソフトソフトウェア」といいます。)は、米国ワシントン州法に準拠して設立され、米国ワシントン州(One Microsoft Way, Redmond, WA 98052-6399)に本店を置くMicrosoft Corporation(マイクロソフト社)からのライセンスに基づいて沖データが提供するものです。

1. 使用範囲
お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを1部複製することができます。

2. 財産権および義務
(1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
(2) 第1条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
(3) お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
(4) お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。
(5) お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
(1) お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
(2) お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
(3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
(1) 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
・第三者の権利を侵害していないこと。
・特定の目的に適合していること。
(2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為(過失を含むがこれに限定されない)に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 準拠法
本契約中のうち、マイクロソフトソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め、米国ワシントン州法を準拠法とし、マイクロソフトソフトウェアを除く本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。

7. 契約の有効性
本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

8. 輸出管理
本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

9. 完全な合意
お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

10. Notice to U.S. Government End Users(米国政府機関のエンドユーザへの注意)
All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued on or after December 1, 1995 is provided with the commercial license rights and restrictions described elsewhere herein. All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued prior to December 1, 1995 is provided with "Restricted Rights" as provided for in FAR, 48 CFR 52.227-14 (JUNE 1987) or DFAR, 48 CFR 252.227-7013 (OCT 1988), as applicable.
本条項中で使用される"Software"とは、本契約中で定義される本ソフトウェアを指すものとします。

＊＊＊＊＊

なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

※Adobe Reader の使用について
Adobe Readerは沖データがアドビシステム社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様はAdobe Readerに含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステム社からAdobe Readerの使用を許諾されることになります。

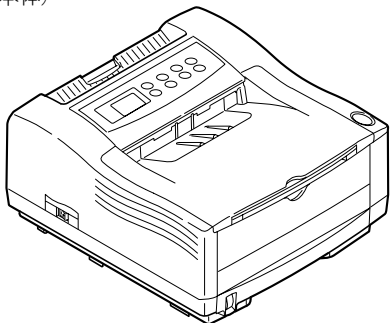
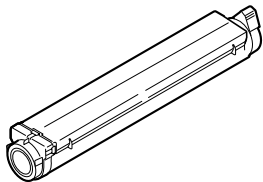
目　次

戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

1 プリンタを設置します

製品の確認

製品が揃っていることを確認してください。

□ プリンタ（本体）

□ トナーカートリッジ

□ プリンタソフトウェアCD-ROM
□ユーザーズマニュアルCD-ROM
□ 黒いビニール袋
□ 電源コード
□ ユーザーズマニュアル（本書）
□ 保証書・ご愛用者登録カード
□イーサネットケーブル用コア

- プリンタケーブルは添付されていません。お使いのコンピュータに合わせて別途用意してください。
- イメージドラムカートリッジはプリンタ内部にセットされています。
- 梱包箱、緩衝材、黒いビニール袋はプリンタを輸送するときに使います。捨てずに保管してください。

設置条件

動作環境

- 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。
  周囲温度　：　10〜32°C
  周囲湿度　：　20〜80%RH(相対湿度)
  最大湿球温度　：　25℃
- 結露しないように注意してください。
- 周囲湿度が30%以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットなどを使用してください。

設置に関する注意

⚠警告

- 高温や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所(実験室など)には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所(ぐらついた台や傾いた所など)には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。

⚠注意

- プリンタの通気口をふさぐような場所には設置しないでください。
- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニタやテレビから離して設置してください。
- プリンタを移動するときは、プリンタの両側を持ってください。

設置スペース

- プリンタの足が乗る大きさの平らな机の上に置いてください。
- プリンタの周りに十分なスペースを取ってください。

平面図

側面図

プリンタ各部の名前

用紙サポータ

操作パネル

フェイスアップ
スタッカ

「OPEN」
ボタン

スタッカプレート

用紙サポータ

電源スイッチ

用紙残量表示

スタッカカバー

LEDヘッド

イメージドラム
カートリッジ

アクセスカバー

定着器ユニット

手差しトレイ

トナーカートリッジ

用紙カセット

電源コネクタ

通風口

マルチパーパスフィーダ
接続コネクタ

インタフェース部

〈インタフェース部〉

ネットワークインタフェースコネクタ

プッシュスイッチ

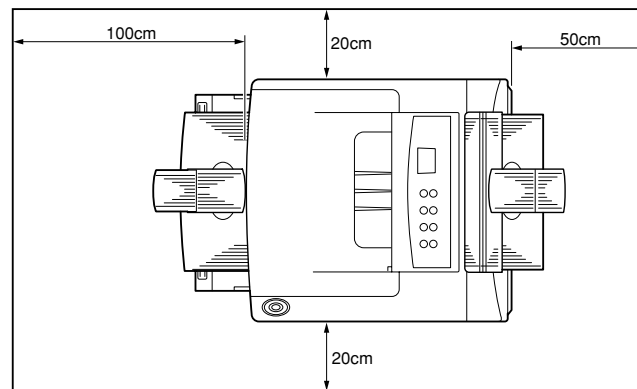
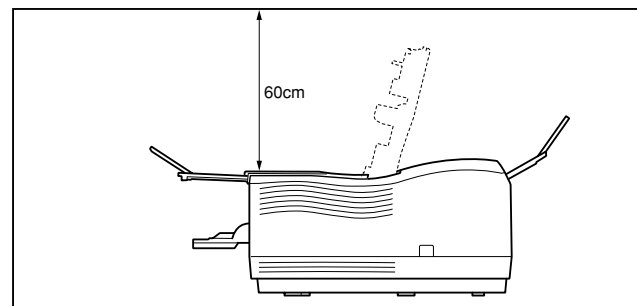
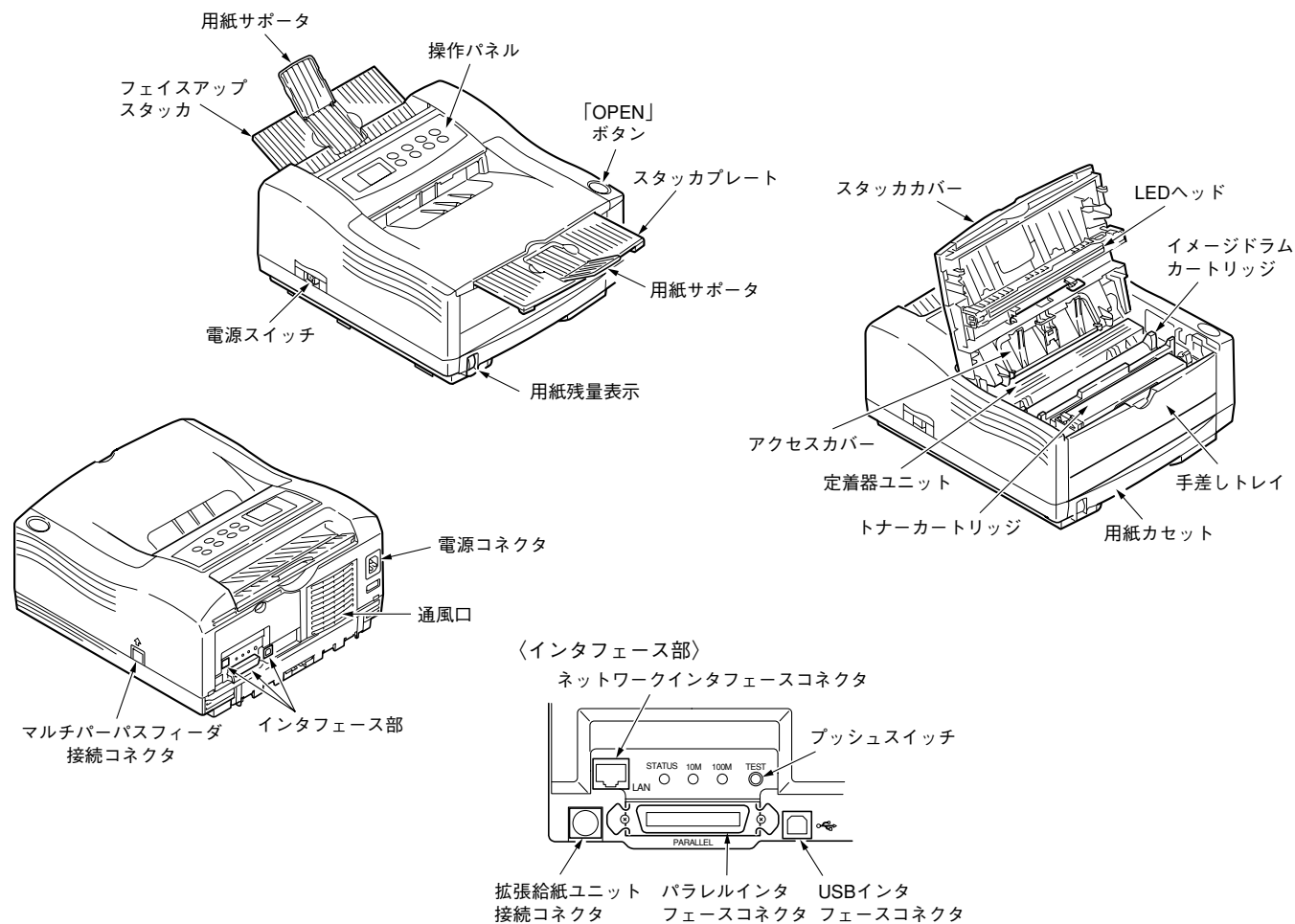
STATUS 10M 100M TEST

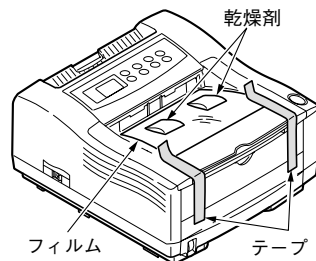
LAN

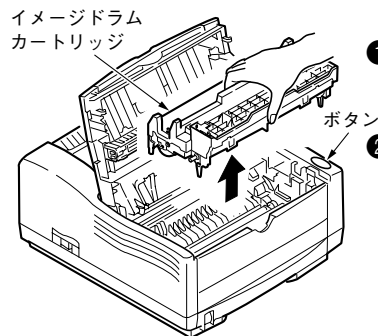
PARALLEL

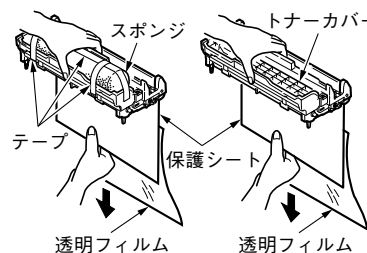
拡張給紙ユニット
接続コネクタ

パラレルインタ
フェースコネクタ

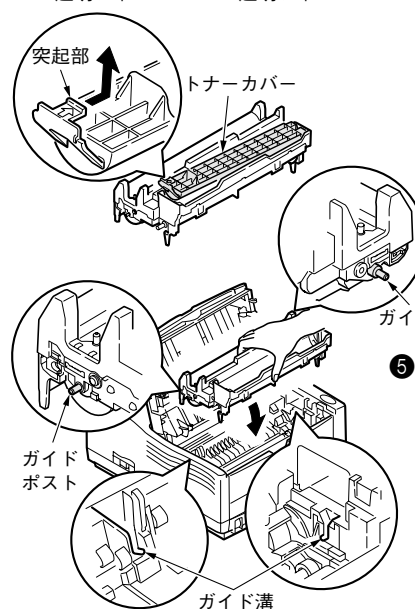
USBインタ
フェースコネクタ

付属品を取り付けます

1 保護具を取り外します。

❶プリンタ前部の保護テープ（2ヵ所）をはがします。
乾燥剤とフィルムもいっしょに取り除きます。

2 イメージドラムカートリッジをセットします。

❶カバー右側のボタンを押し、スタッカカバーを開きます。

❷イメージドラムカートリッジの手前側を少し持ち上げ、そのまま静かに上に取り出します。

❸イメージドラムカートリッジの中央部を手でしっかり押さえ、保護シートを矢印の方向にまっすぐ引き抜きます。
透明フィルムも一緒に取り除きます。
（透明フィルムは保護シートにテープで止めてあります。）

突起部
トナーカバー

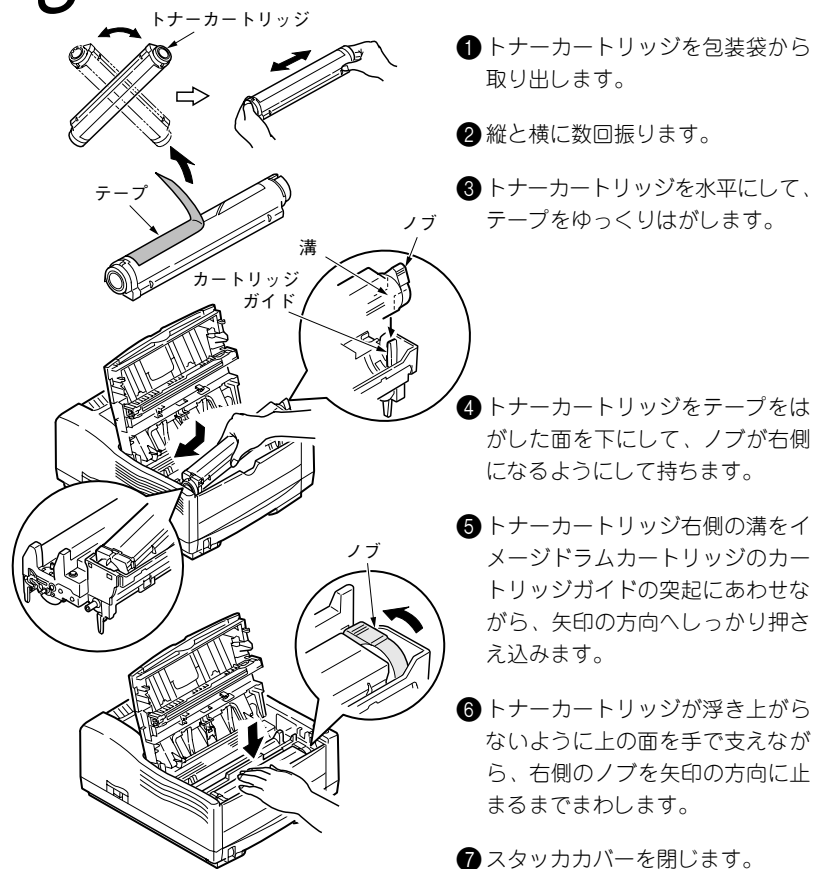
❹スポンジの場合は、スポンジをとめているテープ（3ヶ所）をはがし、スポンジを取り外します。
トナーカバー（オレンジ色）の場合は、レバー部を矢印方向に押し、取り外します。

メモ　スポンジやトナーカバーは不燃物として処理してください。

注　スポンジを外すとき、トナーが飛散する場合があります。大きめの紙の上などで行ってください。

ガイドポスト
ガイドポスト
ガイド溝

❺イメージドラムカートリッジを静かに戻します。左右のガイドポストを本体のガイド溝に合わせ、❷と逆の手順でイメージドラムカートリッジの手前側を少し上向きにしてはめ込みます。次に手前側を下向きに回転させ、プリンタ本体にカチッとはまるようにセットします。

- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

3 トナーカートリッジをセットします。

❶ トナーカートリッジを包装袋から取り出します。

❷ 縦と横に数回振ります。

❸ トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりはがします。

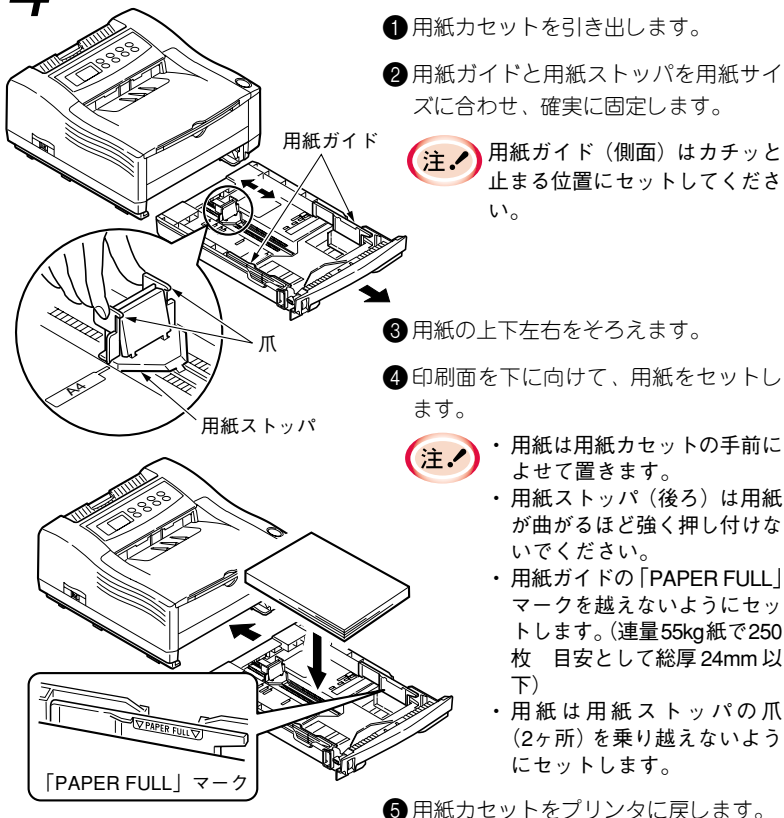
❹ トナーカートリッジをテープをはがした面を下にして、ノブが右側になるようにして持ちます。

❺ トナーカートリッジ右側の溝をイメージドラムカートリッジのカートリッジガイドの突起にあわせながら、矢印の方向へしっかり押さえ込みます。

❻ トナーカートリッジが浮き上がらないように上の面を手で支えながら、右側のノブを矢印の方向に止まるまでまわします。

❼ スタッカカバーを閉じます。

注
- トナーカートリッジが正しく固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。
- トナーカートリッジを取り付けた後に、操作パネルの[トナーロー]の表示がいつまでも消えないときは、上記の手順に従ってトナーカートリッジをセットし直してください。

4 用紙カセットに用紙をセットします。

❶ 用紙カセットを引き出します。

❷ 用紙ガイドと用紙ストッパを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

注 用紙ガイド（側面）はカチッと止まる位置にセットしてください。

❸ 用紙の上下左右をそろえます。

❹ 印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

注
- 用紙は用紙カセットの手前によせて置きます。
- 用紙ストッパ（後ろ）は用紙が曲がるほど強く押し付けないでください。
- 用紙ガイドの「PAPER FULL」マークを越えないようにセットします。（連量55kg紙で250枚　目安として総厚24mm以下）
- 用紙は用紙ストッパの爪（2ヶ所）を乗り越えないようにセットします。

❺ 用紙カセットをプリンタに戻します。

注 用紙の下の金属板が上がっている場合、カチッとロックするまで押し下げてからプリンタに挿入してください。金属板が上がったまま挿入すると故障の原因になります。

電源を入れます

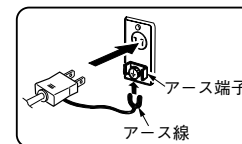
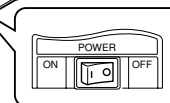
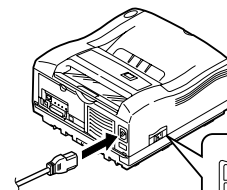
電源の条件

- 以下の条件を守ってください。
  交流（AC）　：　100V±10%
  電源周波数　：　50Hzまたは60Hz±1Hz
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本プリンタの最大消費電力は700Wです。電源容量に十分余裕があることを確認してください。

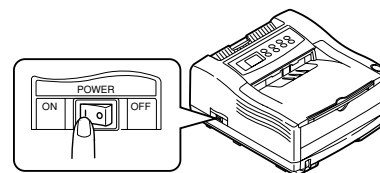
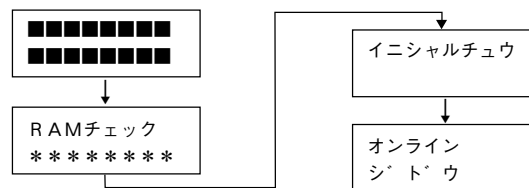
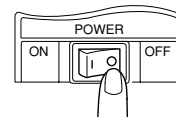
⚠警告

- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本プリンタと他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによってプリンタが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。
- 添付の電源コードのみで使用してください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格15A以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC電圧降下により、プリンタが正常に動作しない場合があります。
- 印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。
- 連休や旅行で長時間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。

1 電源コードを接続します。

注 電源スイッチがOFF（○）になっていることを確認してください。

❶ 電源コードをプリンタに差し込みます。

❷ アース線をコンセントのアース端子に接続した後、電源プラグをコンセントに差し込みます。

2 電源スイッチのON（｜）を押します。

操作パネルに次のように表示され、完全に起動すると「オンライン」表示になります。

3 電源スイッチのOFF（○）を押すと、電源が切れます。

印刷中は電源を切らないでください。

メニューマップ印刷をします

プリンタが正常に動作することを確認します。

❶ トレイにA4用紙をセットします。

A4用紙以外で印刷を行うと、全ての内容が印刷されないことがあります。

❷「メニュー」スイッチを押し、［インフォ／メニュー］を表示します。

❸「設定項目▲」スイッチを押し、［メニューマップ／インサツ］を表示します。

❹「メニュー選択」スイッチを押します。

メニューマップ印刷が開始されます。

（サンプル）

MenuMap MICROLINE 22NR

Printer Serial Number: Printer Asset Number:
CU version : D1.17 [100.91 S2.2.4p B01.29c 000 00000000 00000000 00000000 F32 J0]
PU version : 00.00.96 [P102.08]
PCL Program version : 01.41 PSE Program version : 3010. PSE61
Total Memory Size : 32 MB Flash Memory : 2 MB [F32]
JP1

インフォメーションメニュー	
メニューマップ印刷	
ファイルリスト印刷	
PCL フォント印刷	
PSE フォント印刷	
ESC/P フォント印刷	
DEMO1	

印刷メニュー	
コピー枚数	1
手差し印刷	オフ
給紙トレイ	トレイ 1
自動トレイ切り替え	オフ
トレイ選択順序	下方向
用紙サイズチェック	有効
解像度	600 DPI
トナーセーブモード	無効
印刷方向	縦
1 ページ行数	64 行
編集サイズ	カセット用紙サイズ

メディアメニュー	
トレイ 1 用紙サイズ	A4 サイズ
トレイ 1 用紙タイプ	普通紙
トレイ 1 用紙厚	普通紙
手差し用紙サイズ	A4 サイズ
手差し用紙タイプ	普通紙
手差し用紙厚	普通紙
カスタムサイズ設定単位	ミリメートル
カスタム用紙幅	210 ミリメートル
カスタム用紙長さ	297 ミリメートル

システム構成メニュー	
パワーセーブ移行時間	15 分
エミュレーション	自動
セントロ PS モード	ASCII
USB PS モード	RAW
NETWORK PS モード	RAW
アラーム解除	オン
エラー自動解除	オフ
手差しタイムアウト	60 秒
タイムアウト印刷	40 秒
トナー不足印刷継続	継続
ジャムリカバー	オン
エラーレポート印刷	オフ
言語	日本語

PCL エミュレーションメニュー	
使用フォント	内蔵フォント
フォント No.	I000
フォントサイズ	12.00 ポイント
シンボルセット	WIN3.1J

ESC/P エミュレーションメニュー	
漢字フォント	自動
ANK フォント	自動
ANK コード	カタカナ
ANK ゼロ書体	ノーマル
縮小印刷	等倍
頭出し位置	8.5 ミリメートル
横オフセット	0 ミリメートル
縦オフセット	0 ミリメートル
右マージン	用紙幅
CR 機能	CR のみ
自動復改機能	CR + LF

セントロメニュー	
セントロ	有効
双方向	有効
ECP	有効
ACK 幅	狭い
ACK / BUSY タイミング	ACK IN BUSY
I-PRIME	無効
オフライン受信	無効

USB メニュー	
USB	有効
ソフトリセット	無効
オフライン受信	無効

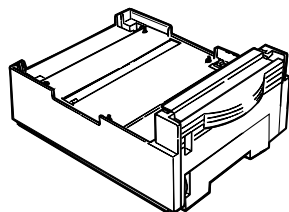
NETWORK MENU	
TCP/IP	ENABLE
NETBEUI	ENABLE
NETWARE	ENABLE
ETHERTALK	ENABLE
FRAME TYPE	AUTO
IP ADDRESS SET	AUTO
IP ADDRESS	192.168.100.100
SUBNET MASK	255.255.255.000
GATEWAY ADDRESS	192.168.100.254
INITIALIZE NIC?	
WEB/IPP	ENABLE
TELNET	ENABLE
FTP	ENABLE
SNMP	ENABLE
LAN	NORMAL
HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE

メモリメニュー	
受信バッファサイズ	自動
リソースセーブエリア	オフ

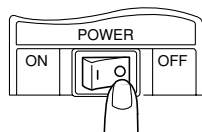
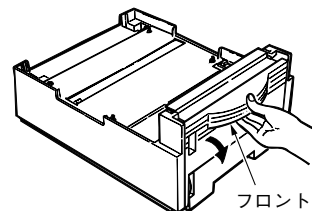
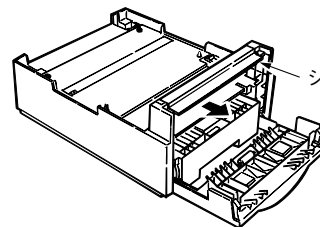
システム補正メニュー	
X 補正	0.00 ミリメートル
Y 補正	0.00 ミリメートル

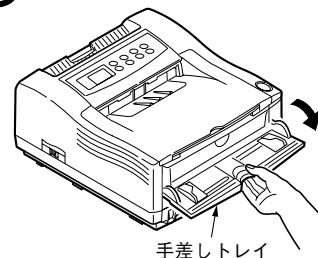
オプション品について

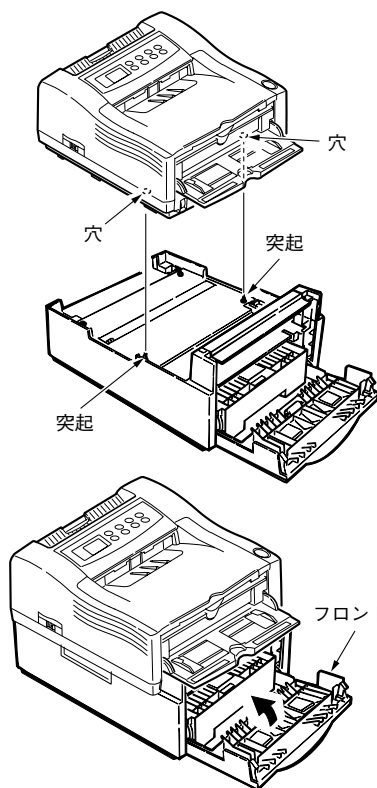
拡張給紙ユニット

プリンタにセットできる用紙量を増やすトレイです。連量55kg紙の場合500枚セットでき、標準用紙カセットと合わせて750枚を連続して使用できるようになります。

型名：MLTRY-M4A

1 プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

注 電源をONのまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

2 拡張給紙ユニットの準備をします。

❶フロントカバーを手前へ引きます。

❷シートガイドを矢印の方向に止まるまで動かします。

3 プリンタを拡張給紙ユニットに載せます。

❶手差しトレイを開きます。

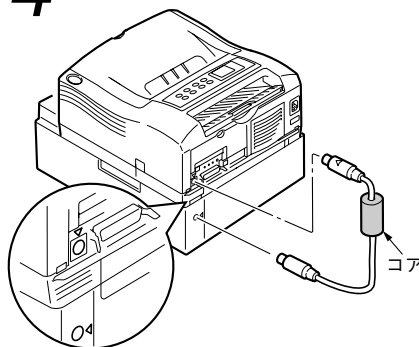
拡張ユニット装着時は手差しトレイを閉じないでください。故障の原因になります。

❷プリンタ底面の穴と拡張給紙ユニットの突起を合わせます。

❸プリンタを拡張給紙ユニットに載せます。

注 拡張給紙ユニット装着時は手差しトレイを閉じないでください。故障の原因になります。

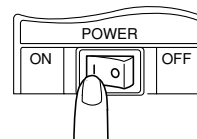
❹フロントカバーを閉じます。

取り外しは、取り付けの逆の手順で行います。

4 接続コードを取り付けます。

❶拡張給紙ユニットに付属の接続コードのコア側コネクタの▽印をプリンタの▽印に合わせて差し込みます。

❷接続コードのもう一方のコネクタの◁印を拡張給紙ユニットの◁印に合わせて差し込みます。

5 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

POWER
ON OFF

6 メニューマップ印刷を行い、拡張給紙ユニットが正しく取り付けられていることを確認します。

❶メニューマップ印刷をします。

詳しくは「現在の設定を確認します（メニューマップ印刷）」（182ページ）をご覧ください。

❷「メディアメニュー」に「トレイ2」が表示されていることを確認します。

7 プリンタドライバで拡張給紙ユニットを設定します。

・WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Mac OS X PCLプリンタドライバは常に[拡張給紙ユニット]が[あり]の状態になっています。

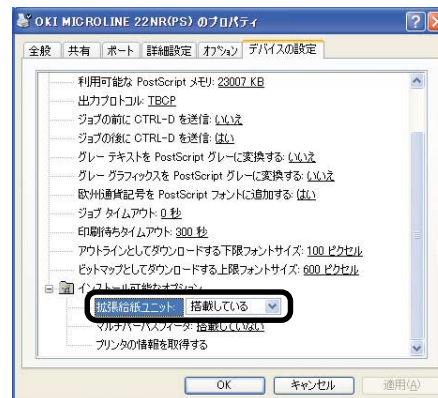
WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ(ML22NR)

(Windows98の画面)

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷［OKI MICROLINE 22NR（PS）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスオプション］タブの［利用できるオプション］の［拡張給紙ユニット］で［搭載している］を選択し、［適用］をクリックします。

WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003 PSプリンタドライバ（ML22NR）

(WindowsXPの画面)

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷［OKI MICROLINE 22NR（PS）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］の［拡張給紙ユニット］で［搭載している］を選択し、［適用］をクリックします。

・TCP/IP でネットワーク接続している場合、［プリンタの情報を取得する］を選択し、［セットアップ］(WindowsNT4.0の場合は［プリンタの情報を取得する］）をクリックすると、自動的に設定されます。
・WindowsNT4.0でプリンタの情報を取得する機能を使用するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

Windows PCLプリンタドライバ

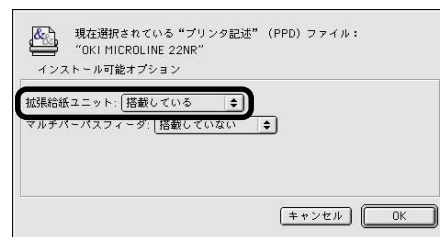
（ML22NR WindowsXPの画面）

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXPでは、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷［OKI MICROLINE 22NR（PCL）］または［OKI MICROLINE 22N（PCL）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］で［拡張給紙ユニット］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

メモ　TCP/IPでネットワーク接続している場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

Macintosh PSプリンタドライバ（ネットワーク接続）（ML22NR）

❶［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷［構成］をクリックします。

❸［拡張給紙ユニット］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

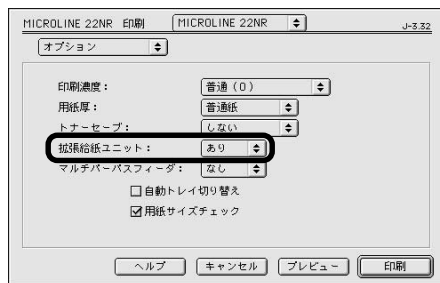
❹［セレクタ］を閉じます。

Macintosh PSプリンタドライバ（USB接続）（ML22NR）

❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷ デスクトップ・プリンタUtilityを使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

メモ　デスクトップ・プリンタの作成方法については、「USBインタフェースで接続します（Macintosh）」の「デスクトップ・プリンタを作成します」（129ページ）をご覧ください。

Macintosh PCLプリンタドライバ

❶ [アップル] メニューの [セレクタ] を選択します。

❷ [ML22NR(USB)] または [ML22N(USB)] アイコンを選択します。

❸ 右側のボックスから [プリンタ名] を選択し、[設定] をクリックします。

❹ [印刷ダイアログ] をクリックします。

❺ [オプション] パネルの [拡張給紙ユニット] で [あり] を選択し、[設定] をクリックします。

❻ [保存] をクリックし、セレクタを閉じます。

メモ AppleTalk接続の場合、この操作は必要ありません。

Mac OS X PSプリンタドライバ(ML22NR)

❶ ハードディスクの [アプリケーション] - [ユーティリティ] フォルダ内の [プリントセンター] (Mac OS X 10.1.5以前では [Applications] - [Utilities] フォルダ内の [Print Center]) をダブルクリックします。

❷ [MICROLINE 22NR] を選択し、[削除] をクリックします。

❸ [プリンタを追加] をクリックします。

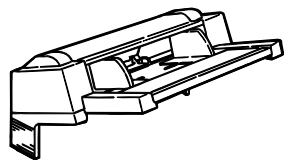
❹ ネットワーク接続の場合は [AppleTalk]、USB接続の場合は [USB] を選択します。

❺ プリンタ名を選択し (USB接続でMac OS X 10.2の場合、プリンタの機種で [oki] を選択し、機種名のリストから使用するプリンタ名を選択します)、[追加] をクリックします。

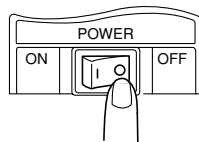
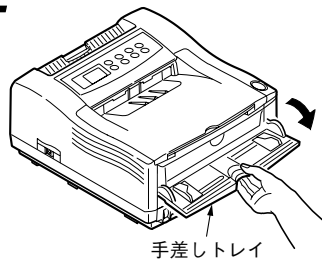
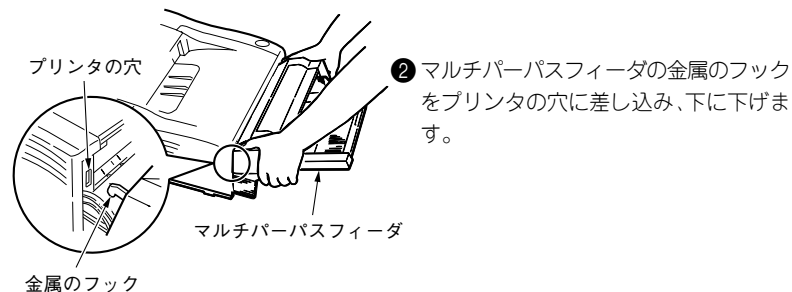
❻ [プリンタリスト] に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、[プリントセンター] を閉じます。
(Mac OS X 10.2の場合、追加したプリンタ名を選択し、[プリンタ] - [情報を見る] メニューの [インストール可能なオプション] パネルで [拡張給紙ユニット] にチェックを付けます。)

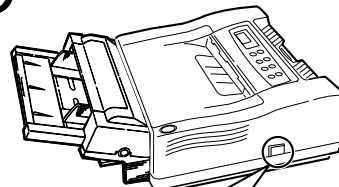
マルチパーパスフィーダ

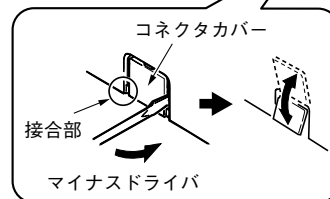
はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートなどを連続給紙するフィーダです。

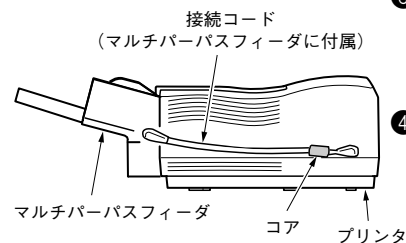
 拡張給紙ユニットと併用する場合は、先に拡張給紙ユニットを取り付けてください。

型名：MLMPF01

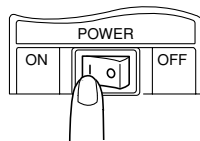
1 プリンタの電源を OFF にします。

 電源をONのまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

2 マルチパーパスフィーダを取り付けます。

❶手差しトレイを開きます。

❷マルチパーパスフィーダの金属のフックをプリンタの穴に差し込み、下に下げます。

3 接続コードを取り付けます。

❶コネクタカバーとプリンタカバーの間にマイナスドライバを差し込み、そのまま矢印方向にマイナスドライバを倒し、左右の接合部を外します。

❷コネクタカバーを手で上下に折り曲げ、コネクタカバーが外れるまで繰り返します。

 マイナスドライバーをねじらないでください。ねじるとプリンタカバーに傷が付きます。

❸マルチパーパスフィーダに付属の接続コードのコア側コネクタの△印をプリンタの⇧印に合わせて差し込みます。

❹接続コードのもう一方のコネクタの△印をマルチパーパスフィーダの⇧印に合わせて差し込みます。

4 プリンタの電源をONにします。

5 メニューマップ印刷を行い、マルチパーパスフィーダが正しく取り付けられていることを確認します。

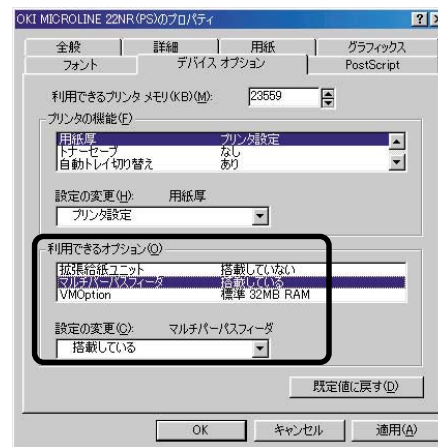
❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「現在の設定を確認します（メニューマップ印刷）」（182ページ）をご覧ください。

❷「メディアメニュー」に「MPF」と表示されていることを確認します。

6 プリンタドライバでマルチパーパスフィーダを設定します。

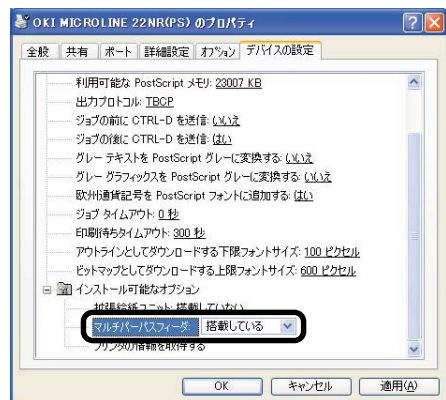
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Mac OS X PCLプリンタドライバは常に[マルチパーパスフィーダ]が[あり]の状態になっています。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバ(ML22NR)

（Windows98の画面）

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷［OKI MICROLINE 22NR（PS）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスオプション］タブの［利用できるオプション］の［マルチパーパスフィーダ］で［搭載している］を選択し、［適用］をクリックします。

WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003 PSプリンタドライバ（ML22NR）

（WindowsXPの画面）

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷［OKI MICROLINE 22NR（PS）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］の［マルチパーパスフィーダ］で［搭載している］を選択し、［適用］をクリックします。

メモ

- TCP/IP でネットワーク接続している場合、［プリンタの情報を取得する］を選択し、［セットアップ］（WindowsNT4.0の場合は［プリンタの情報を取得する］）をクリックすると、自動的に設定されます。
- WindowsNT4.0でプリンタの情報を取得する機能を使用するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

Windows PCLプリンタドライバ

（WindowsXPの画面）

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷［OKI MICROLINE 22NR（PCL）］または［OKI MICROLINE 22N（PCL）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［マルチパーパスフィーダ］にチェックを付け、[OK]をクリックします。

メモ

TCP/IPでネットワーク接続している場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

Macintosh PSプリンタドライバ（ネットワーク接続）（ML22NR）

❶［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷［構成］をクリックします。

❸［マルチパーパスフィーダ］で［搭載している］を選択し、[OK]をクリックします。

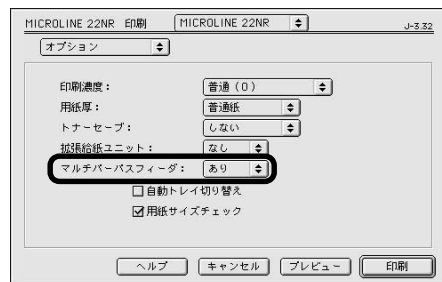
❹［セレクタ］を閉じます。

Macintosh PSプリンタドライバ（USB接続）（ML22NR）

❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷ デスクトップ・プリンタUtilityを使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

・デスクトップ・プリンタの作成方法については、「USBインタフェースで接続します（Macintosh）」の「デスクトップ・プリンタを作成します」（129ページ）をご覧ください。
・AppleTalk接続の場合、この操作は必要ありません。

Macintosh PCLプリンタドライバ

❶［アップル］メニューの［セレクタ］を選択します。

❷［ML22NR(USB)］または［ML22N(USB)］アイコンを選択します。

❸ 右側のボックスから［プリンタ名］を選択し、［設定］をクリックします。

❹［印刷ダイアログ］をクリックします。

❺［オプション］パネルの［マルチパーパスフィーダ］で［あり］を選択し、［設定］をクリックします。

❻［保存］をクリックし、セレクタを閉じます。

Mac OS X PSプリンタドライバ（ML22NR）

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］（Mac OS X 10.1.5以前では［Applications］-［Utilities］フォルダ内の［Print Center］）をダブルクリックします。

❷［MICROLINE 22NR］を選択し、［削除］をクリックします。

❸［プリンタを追加］をクリックします。

❹ ネットワーク接続の場合は［AppleTalk］、USB接続の場合は［USB］を選択します。

❺ プリンタ名を選択し（USB接続でMac OS X 10.2の場合、プリンタの機種で［oki］を選択し、機種名のリストから使用するプリンタ名を選択します）、［追加］をクリックします。

❻［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリントセンター］を閉じます。
（Mac OS X 10.2の場合、追加したプリンタ名を選択し、［プリンタ］-［情報を見る］メニューの［インストール可能なオプション］パネルで［マルチパーパスフィーダ］にチェックを付けます。）

2 操作パネルとメニューについて

操作パネル

ML22NRを例にしています。

「メニュー MENU」スイッチ
メニューモードになります。
メニューモード中に短く押すと、メニューのカテゴリ表示を一つ先に進めます。
メニューモード中に0.8秒以上押すと、メニューのカテゴリ表示を手前に戻します。

［オンライン］ランプ（緑）
点灯：データが受信できる状態です。（オンライン）
点滅：受信したデータを処理しています。メニューマップ、フォントリスト等のローカルプリント時にも点滅します。
消灯：データが受信できない状態です。（オフライン）また、エラーが発生したときやイニシャル中のときも消灯しています。

「設定項目 ITEM ▲」スイッチ
メニューモード中に押すと項目表示を一つ先に進めます。0.8秒以上押すと早送りします。

「設定項目 ITEM ▼」スイッチ
メニューモード中に押すと項目表示を一つ手前に戻します。
0.8秒以上押すと早送りします。

tttt ：トレイ
mmmm ：用紙サイズ
pppp ：用紙タイプ

表示部
プリンタの状態や、障害が発生したときの内容を表示します。
1行8文字で2行に表示します。

「メニュー選択 SELECT］スイッチ
メニューモードで短く押すと表示中の設定値を保存し、表示部の右端に“＊”を表示します。

「オンライン ON-LINE」スイッチ
オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。メニューモード中に押すとオンライン状態になります。また、次のワーニング、エラー状態時に押すと、これらを解除するか一時的に解除しオンライン状態になります。
1）「mmmm/pppp　ヲ　イレテクダサイ／tttt　サイズ　ガ　チガイマス」が表示されている場合に押すと、用紙サイズが違うまま強制的に印刷します。
2）「mmmm/pppp　ヲ　イレテクダサイ／tttt　ヨウシ　ガ　チガイマス」が表示されている場合に押すと、用紙タイプが違うまま強制的に印刷します。
3）「メモリー／オーバーフロー」、「トナー　コウカン／シテクダサイ」や「ドラムコウカン」が表示されている場合に押すと、一時的に解除します。

「キャンセル CANCEL」スイッチ
処理中の動作を中断し、削除します。また、手差しトレイに用紙がある場合には用紙を強制的に排出します。

「設定値 VALUE ▲」スイッチ
メニューモード中に押すと設定値を一つ先に進めます。
0.8秒以上押すと早送りします。

「設定値 VALUE ▼」スイッチ
メニューモード中に押すと設定値を一つ手前に戻します。0.8秒以上押すと早送りします。

プリンタのユーザメニュー一覧

プリンタの操作パネルで行う設定項目です。WindowsやMacintoshからも設定できる項目もあります。

変更方法

❶「メニュー」スイッチを押し、目的のカテゴリを表示します。

❷「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを押し、設定する項目を表示します。

❸「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、目的の値を表示します。

❹「メニュー選択」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

❺「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

注 「セントロメニュー」、「USBメニュー」、「メモリメニュー」カテゴリの設定値を変更したときは、電源をOFF/ONしてください。

「設定値」の網かけは初期の値です。
◎：プリンタドライバの設定が優先
○：プリンタの設定が優先またはプリンタで設定が必要
ー：プリンタドライバ使用時は無効

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS) ML22NRのみ	Win (PCL)	Mac (PS) ML22NRのみ	Mac (PCL)
	設定項目(上段)	設定値(下段)					
インフォメニュー＊ ＊プリントジョブアカウンティングで［ローカルプリント］が［印刷不可］に設定されている場合には印刷できません。	メニューマップ	インサツ	メニューリストを印刷します。	ー	ー	ー	ー
	ファイルリスト	インサツ	ジョブファイルリストを印刷します。	ー	ー	ー	ー
	PCL　フォント	インサツ	PCL のフォントリストを印刷します。	ー	ー	ー	ー
	PSE　フォント（ML22NR のみ）	インサツ	PSE のフォントリストを印刷します。	ー	ー	ー	ー
	ESCP フォント	インサツ	ESC/P のフォントリストを印刷します。	ー	ー	ー	ー
	DEMO1	インサツ	デモ印刷をします。	ー	ー	ー	ー
インサツメニュー	コピー　マイスウ	1 〜 999	コピー枚数を設定します。	◎	◎	◎	◎
	テサシ　インサツ	オン オフ	手差しトレイから印刷するかどうか設定します。	◎	◎	◎	◎
	キュウシ　トレイ＊	トレイ 1 トレイ 2 MPF	給紙トレイを指定します。 ＊：装着したトレイのみ表示	◎	◎	◎	◎
	ジドウ　トレイ	オン＊ オフ	自動トレイ切り替えをするか設定します。 ＊：オプションの拡張給紙ユニットまたはマルチパーパスフィーダ装着時に機能（「オン」が選択可能）します。これらが未装着時は「オフ」設定が固定となります。	◎	◎	◎	◎
	トレイ　ジュン	シタ　ホウコウ ウエ　ホウコウ キュウシトレイ	自動トレイ選択 / 自動トレイ切り替え時の選択順序を指定します。	○	○	○	○
	サイズ　チェック	ユウコウ ムコウ	用紙サイズのチェックをするかどうか設定します。	◎	◎	◎	○
	カイゾウド	V1200 600	解像度を設定します。	◎	◎	◎	◎

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS) ML22NRのみ	Win (PCL)	Mac (PS) ML22NRのみ	Mac (PCL)
	設定項目(上段)	設定値(下段)					
インサツ メニュー	トナーセーブ	ムコウ ヤヤ　セーブ セーブ	トナー使用量を節約するか設定します。	◎	◎	◎	◎
	インサツホウコウ	タテ ヨコ	印刷方向を設定します。	◎	◎	◎	◎
	1ページ	5ギョウ 〜 64ギョウ 〜 128ギョウ	1ページあたりの行数を設定します。この数値は印刷方向が変更された場合、行間を保つために自動的に調整されます。	ー	ー	ー	ー
	ヘンシュウ	カセット LETTER EXEC LEGAL14 LEGAL13 A4　サイズ A5　サイズ A6　サイズ B5　サイズ カスタム COM-9 COM-10 MONARCH DL　ENV C5　ENV ハガキ オウフク フウトウ1 フウトウ2 フウトウ3 フウトウフリー	コンピュータから用紙サイズを指定しなかった場合の用紙編集サイズを設定します。 「カセット」を選択すると現在選択されているトレイの用紙サイズを編集サイズとします。	ー	ー	ー	ー
メディア メニュー	T1　サイズ	A4　サイズ A5　サイズ A6　サイズ B5　サイズ LEGAL14 LEGAL13 LETTER EXEC カスタム	トレイ1の用紙サイズを設定します。	○	○	○	○
	T1　タイプ	フツウシ レターヘッド ボンドシ サイセイシ アツガミ アライカミ	トレイ1の用紙種類を設定します。	ー	ー	ー	ー
メディア メニュー	T1　ウエイト	ウスイカミ フツウシ ヤヤアツイカミ アツイカミ ヨリアツイカミ	トレイ1の用紙厚を設定します。	◎	◎	◎	◎
	T2　サイズ＊	A4　サイズ A5　サイズ B5　サイズ LEGAL14 LEGAL13 LETTER EXEC カスタム	トレイ2の用紙サイズを設定します。 ＊：オプションの拡張給紙ユニット装着時のみ表示	○	○	○	○
	T2　タイプ＊	フツウシ レターヘッド ボンドシ サイセイシ アツガミ アライカミ	トレイ2の用紙種類を設定します。 ＊：オプションの拡張給紙ユニット装着時のみ表示	ー	ー	ー	ー
	T2　ウエイト＊	ウスイカミ フツウシ ヤヤアツイカミ アツイカミ ヨリアツイカミ	トレイ2の用紙厚を設定します。 ＊：オプションの拡張給紙ユニット装着時のみ表示	◎	◎	◎	◎
	MPF　サイズ＊	A4　サイズ A5　サイズ A6　サイズ B5　サイズ LETTER EXEC カスタム COM-9 COM-10 MONARCH DL　ENV C5　ENV ハガキ オウフク フウトウ1 フウトウ2 フウトウ3 フウトウフリー	マルチパーパスフィーダの用紙サイズを設定します。 ＊：オプションのマルチパーパスフィーダ装着時のみ表示	○	○	○	○
	MPF　タイプ＊	フツウシ レターヘッド OHP ラベルシ ボンドシ サイセイシ アツガミ アライカミ	マルチパーパスフィーダの用紙種類を設定します。 ＊：オプションのマルチパーパスフィーダ装着時のみ表示	◎	◎	◎	◎

カテゴリ	操作パネル表示		内 容	Win (PS) ML22NRのみ	Win (PCL)	Mac (PS) ML22NRのみ	Mac (PCL)
	設定項目(上段)	設定値(下段)					
メディア メニュー	MPF ウエイト *	ウスイカミ フツウシ ヤヤアツイカミ アツイカミ ヨリアツイカミ	マルチパーパスフィーダの用紙厚を設定します。 *:オプションのマルチパーパスフィーダ装着時のみ表示	◎	◎	◎	◎
	テサシ サイズ	A4 サイズ A5 サイズ A6 サイズ B5 サイズ LEGAL 14 LEGAL 13 LETTER EXEC カスタム COM-9 COM-10 MONARCH DL ENV C5 ENV ハガキ オウフク フウトウ 1 フウトウ 2 フウトウ 3 フウトウフリー	手差しトレイの用紙サイズを設定します。	○	○	○	○
	テサシ タイプ	フツウシ レターヘッド OHP ラベルシ ボンドシ サイセイシ アツガミ アライカミ	手差しトレイ の用紙種別を設定します。	◎	◎	◎	◎
	テサシ ウエイト	ウスイカミ フツウシ ヤヤアツイカミ アツイカミ ヨリアツイカミ	手差しトレイ の用紙厚を設定します。	◎	◎	◎	◎
	カスタムサイズ	インチ ミリ	カスタム用紙を設定するときの単位を設定します。	◎	◎	◎	◎
	ヨウシハバ	89 ミリ ~ 210 ミリ ~ 216 ミリ	カスタム用紙の用紙幅を設定します。「カスタムサイズ」で[インチ]を選択するとインチに換算した値になります。	◎	◎	◎	◎
	ヨウシナガサ	147 ミリ ~ 297 ミリ ~ 356 ミリ	カスタム用紙の用紙長さを設定します。 「カスタムサイズ」で[インチ]を選択するとインチに換算した値になります。	◎	◎	◎	◎

カテゴリ	操作パネル表示		内 容	Win (PS) ML22NRのみ	Win (PCL)	Mac (PS) ML22NRのみ	Mac (PCL)
	設定項目(上段)	設定値(下段)					
システムコウセイメニュー	パワーセーブ	1 フン 5 フン 10 フン 15 フン 30 フン 60 フン 120 フン 240 フン	パワーセーブモードに移行するまでの時間を設定します。	○	○	○	○
	エミュレーション	ジドウ PCL PS3 エミュ ESC/P	プリンタ言語を選択します。	○	○	○	○
	セントロモード (ML22NRのみ)	ASCII RAW	パラレルからのデータのPS通信プロトコルのモードを指定します。	○	—	—	—
	USB モード (ML22NRのみ)	ASCII RAW	USBからのデータのPS通信プロトコルのモードを指定します。	○	—	○	—
	NW モード (ML22NRのみ)	ASCII RAW	ネットワークからのデータのPS通信プロトコルのモードを指定します。	○	—	○	—
	アラーム クリア	オン ジョブ	PSE:この設定によらずジョブ中のみエラーを表示します。 PCL:復旧可能エラー表示の解除タイミングを設定します。 [オン]は「オンライン」スイッチを押すまでエラーを表示します。 [ジョブ]は次のジョブを受信するまでエラーを表示します。	—	○	—	○
	エラーカイジョ	オン オフ	メモリオーバフロー発生時、自動的にプリンタを復旧させるかどうかを設定します。	○	○	○	○
	テサシタイム	オフ 30 ビョウ 60 ビョウ	手差し印刷時の用紙がセットされるのを待つ時間を設定します。この指定時間内に用紙がセットされない場合は、ジョブをキャンセルします。	○	○	○	○
	ウェイト タイム	オフ 5ビョウ ~ 40ビョウ ~ 300ビョウ	ジョブデータを受信しなくなってから強制印刷を行うまでの時間を設定します。なお、PSプリンタドライバ使用時はジョブをキャンセルします。	○	○	○	○
	トナーエラー	ケイゾク テイシ	[トナーロー]が表示されたときに印刷を継続させるかどうかを設定します。[テイシ]にすると「オンライン」を押すまでオフライン状態になります。	○	○	○	○

カテゴリ	操作パネル表示 設定項目(上段)	 設定値(下段)	内　容	Win (PS) ML22NRのみ	Win (PCL)	Mac (PS) ML22NRのみ	Mac (PCL)
システムコウセイメニュー	ジャムリカバ	オン オフ	紙づまりの後、つまったページから印刷するかどうかを設定します。	○	○	○	○
	エラーレポート	オン オフ	内部エラー発生時にエラーレポートを印刷するかどうかを設定します。	○	○	○	○
	ゲンゴ	ニホンゴ エイゴ	操作パネルの表示言語を設定します。	○	○	○	○
PCL メニュー	フォント	レジデント DLL フォント	使用するフォントの場所を設定します。［DLL フォント］は RAM にフォントがダウンロードされている場合に表示されます。	－	－	－	－
	フォント No.	I000 〜 S001 〜	使用するフォントの番号を選択します。	－	－	－	－
	フォントピッチ	0.44 〜 10.00 〜 99.99	フォントの幅を設定します。（単位：Character/inch）［フォント No.］で選択されたフォントが固定スペースのアウトラインフォントの場合のみ表示されます。	－	－	－	－
	フォントサイズ	4.00 〜 12.00 〜 999.75	フォントの高さを設定します。（単位：ポイント）［フォント No.］で選択されたフォントが比例スペーシングのアウトラインフォントの場合のみ表示されます。	－	－	－	－
	シンボルセット	WIN3.1J PC-8 …	シンボルセットを選択します。	－	－	－	－
	A4 ハバ	78　ケタ 80　ケタ	A4 用紙の自動改行する桁数を設定します。	－	－	－	－
	ハクシスキップ	オフ オン	空白ページを印刷しないようにするか設定します。	－	○	－	○
	CR　キノウ	CR ノミ CR+LF	CR コード受信時の動作を設定します。	－	－	－	－
	LF　キノウ	LF ノミ LF+CR	LF コード受信時の動作を設定します。	－	－	－	－
	PR　マージン	ノーマル 1/5　インチ 1/6　インチ	用紙の印刷不可能領域を設定します。［ノーマル］は 1/4 インチです。	－	－	－	－
	ペン　ホセイ	オン オフ	細い線が見えるように補正します。	－	－	－	－
ESC/P メニュー	カンジショタイ	ジドウ ミンチョウ カクゴシック	使用する漢字書体を選択します。	－	－	－	－
	ANK ショタイ	ジドウ ローマン サンセリフ	使用する ANK 書体を選択します。	－	－	－	－
	ANK コード	カタカナ グラフィック	ANK 文字コード表の拡張グラフィックス / カタカナコードを設定します。	－	－	－	－
	ANK ゼロ	ノーマル スラッシュ　0	ANK のゼロをスラッシュ付きで印刷するか設定します。	－	－	－	－
	シュクショウ	トウバイ A4X2→A4 B4→A4 15"→A4 10"→A4	用紙の縮小方法を設定します。	－	－	－	－
	アタマダシイチ	5 ミリ 8.5 ミリ 22 ミリ	頭出し位置を設定します。 ＊：実際の印刷位置は±2mm 程度の範　囲で変化する場合があります。	－	－	－	－
	ヨコ　オフセット	-1.0 ミリ 〜 0 ミリ 〜 +20.0 ミリ	編集方向に対し、全体の印刷位置を 0.5mm 単位で横方向に補正します。プラス方向に設定すると印刷位置を右に補正します。	－	－	－	－
	タテ　オフセット	-15.0 ミリ 〜 0 ミリ 〜 +15.0 ミリ	編集方向に対し、全体の印刷位置を 0.5mm 単位で縦方向に補正します。プラス方向に設定すると印刷位置を上に補正します。	－	－	－	－
	ミギ　マージン	ヨウシハバ 136 ケタ	右マージンを設定します。右マージンを超える文字がある場合、［オートフッカイ］で設定した処理を行います。	－	－	－	－
	CR　キノウ	CR ノミ CR+LF	CR コード受信時の動作を設定します。	－	－	－	－
	オートフッカイ	CR + LF ムコウ	右マージンを越える文字がある場合の動作を設定します。	－	－	－	－
セントロメニュー	セントロ	ユウコウ ムコウ	パラレルインタフェースの有効 / 無効を設定します。	○	○	－	－
	ソウホウコウ	ユウコウ ムコウ	双方向通信の有効 / 無効を設定します。	○	○	－	－

カテゴリ	操作パネル表示		内容	Win(PS) ML22NRのみ	Win(PCL)	Mac(PS) ML22NRのみ	Mac(PCL)
	設定項目(上段)	設定値(下段)					
セントロメニュー	ECP	ユウコウ ムコウ	ECP モードの有効 / 無効を設定します。	○	○	−	−
	ACK ハバ	セマイ フツウ ヒロイ	コンパチ受信時の ACK 幅を設定します。	○	○	−	−
	ACK/BUSY	IN WHILE	コンパチ受信時の BUSY 信号と ACK 信号の出力順序を設定します。	○	○	−	−
	I-PRIME	3u SEC 50u SEC ムコウ	I-PRIME 信号の有効時間 / 無効を設定します。	○	○	−	−
	オフライン REC (ML22NR のみ)	ユウコウ ムコウ	オフライン状態や復旧可能なエラーが発生しているときでもデータ受信を行うかどうか設定します。	○	○	−	−
USB メニュー	USB	ユウコウ ムコウ	USB インタフェースの有効 / 無効を設定します。	○	○	○	○
	ソフト リセット	ユウコウ ムコウ	ソフトリセットコマンドの有効 / 無効を設定します。	○	○	○	○
	オフライン REC (ML22NR のみ)	ユウコウ ムコウ	オフライン状態や復旧可能なエラーが発生しているときでもデータ受信を行うかどうか設定します。	○	○	○	○
	シリアルナンバ	ユウコウ ムコウ	USB シリアルナンバーの有効 / 無効を設定します。	○	○	○	○
NETWORK	TCP/IP	ENABLE DISABLE	TCP/IP プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	○	○	−
	NETBEUI	ENABLE DISABLE	NETBEUI プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	○	○	−
	NETWARE	ENABLE DISABLE	NetWare プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	○	○	−
	ETHRTALK	ENABLE DISABLE	EtherTalk プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	○	○	−
	FRAME	AUTO 802.2 802.3 ETHER II SNAP	フレームタイプを設定します。NETWARE が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	IP ADDR.	AUTO MANUAL	IP アドレスの設定方法を設定します。TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	IP 1/4	000 〜 192 〜 255	IP アドレスの 1 桁目を設定します。TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−

カテゴリ	操作パネル表示		内容	Win(PS) ML22NRのみ	Win(PCL)	Mac(PS) ML22NRのみ	Mac(PCL)
	設定項目(上段)	設定値(下段)					
NETWORK	IP 2/4	000 〜 168 〜 255	IP アドレスの 2 桁目を設定します。TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	IP 3/4	000 〜 100 〜 255	IP アドレスの 3 桁目を設定します。TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	IP 4/4	000 〜 100 〜 255	IP アドレスの 4 桁目を設定します。TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	MASK 1/4	000 〜 255	サブネットマスクの 1 桁目を設定します。TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	MASK 2/4	000 〜 255	サブネットマスクの 2 桁目を設定します。TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	MASK 3/4	000 〜 255	サブネットマスクの 3 桁目を設定します。TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	MASK 4/4	000 〜 255	サブネットマスクの 4 桁目を設定します。TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	GATE 1/4	000 〜 192 〜 255	ゲートウェイアドレスの 1 桁目を設定します。TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	GATE 2/4	000 〜 168 〜 255	ゲートウェイアドレスの 2 桁目を設定します。TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−
	GATE 3/4	000 〜 100 〜 255	ゲートウェイアドレスの 3 桁目を設定します。TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	−

カテゴリ	操作パネル表示 設定項目(上段)	 設定値(下段)	内　容	Win (PS) ML22NRのみ	Win (PCL)	Mac (PS) ML22NRのみ	Mac (PCL)
NETWORK	GATE　4/4	000 〜 254 〜 255	ゲートウェイアドレスの 4 桁目を設定します。 TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	－
	INIT NIC	EXECUTE	ネットワークメニューの初期化を行うかを指定します。	○	○	○	－
	WEB/IPP	ENABLE DISABLE	WEB/IPP の有効 / 無効を設定します。 TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	－
	TELNET	ENABLE DISABLE	TELNET の有効 / 無効を設定します。 TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	－
	FTP	ENABLE DISABLE	FTP の有効 / 無効を設定します。 TCP/IP が［DISABLE］の場合は表示されません。	○	○	○	－
	SNMP	ENABLE DISABLE	SNMP の有効 / 無効を設定します。	○	○	○	－
	LAN	NORMAL SMALL	NORMAL：一般にはこの設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つ HUB に接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピュータが 2,3 台の小さな LAN に接続するとプリンタが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 SMALL：コンピュータが 2,3 台の小さな LAN から大型の LAN まで対応しますが、スパニングツリー機能を持つ HUB に接続した場合に効率よく動作できない場合があります。	○	○	○	－
	HUB LINK	AUTO 100FULL 100HALF 10FULL 10HALF	HUB LINK SETTING を設定します。	○	○	○	－
メモリメニュー	ジュシン BUF	ジドウ 0.1MB 0.2MB 0.5MB	受信バッファサイズを設定します。	○	○	○	○
	リソースセーブ (ML22NR のみ)	ジドウ オフ 0.1MB 0.2MB 0.5MB	フォントキャッシュエリアのサイズを設定します。	○	○	○	－

カテゴリ	操作パネル表示 設定項目(上段)	 設定値(下段)	内　容	Win (PS) ML22NRのみ	Win (PCL)	Mac (PS) ML22NRのみ	Mac (PCL)
システムホセイメニュー	X　ホセイ	0.00 ミリ +0.25 ミリ 〜 +2.00 ミリ -2.00 ミリ 〜 -0.25 ミリ	全体の印刷位置を 0.25mm 単位で横方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。	○	○	○	○
	Y　ホセイ	0.00 ミリ +0.25 ミリ 〜 +2.00 ミリ -2.00 ミリ 〜 -0.25 ミリ	全体の印刷位置を 0.25mm 単位で縦方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。	○	○	○	○
	テサシ　シテイ	1 2 〜 59	PCL コマンドでの給紙先指定コマンドで、手差し指定の # を設定します。	－	－	－	－
	トレイ 0　シテイ *	1 〜 4 〜 54	PCL コマンドでの給紙先指定コマンドで、MPF トレイの指定の # を設定します。 *：オプションのマルチパーパスフィーダ装着時のみ表示	－	－	－	－
	トレイ 1　シテイ	1 〜 59	PCL コマンドでの給紙先指定コマンドで、トレイ 1 指定の # を設定します。	－	－	－	－
	トレイ 2　シテイ *	1 〜 5 〜 59	PCL コマンドでの給紙先指定コマンドで、トレイ 2 指定の # を設定します。 *：オプションの拡張給紙ユニット装着時のみ表示	－	－	－	－
	MPF　シテイ *	1 〜 6 〜 59	PCL コマンドでの給紙先指定コマンドで、マルチパーパスフィーダ指定の # を設定します。 *：オプションのマルチパーパスフィーダ装着時のみ表示	－	－	－	－
	インサツイチ	チュウオウ ヒダリヨセ	用紙セットの基準位置を設定します。 通常［チュウオウ］で使用します。	－	○	－	○
	ヘキサ　ダンプ	ジッコウ	16 進ダンプで印刷します。16 進ダンプの印刷を終了するには、電源を OFF にします。	○	○	○	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS) ML22NRのみ	Win (PCL)	Mac (PS) ML22NRのみ	Mac (PCL)
	設定項目(上段)	設定値(下段)					
メンテナンスメニュー	EEPROM	リセット	メニューの設定値を初期化します。	○	○	○	○
	ドラムカウンタ	リセット	イメージドラムカートリッジのカウンタを0に戻します。 イメージドラムカートリッジ交換時以外にこの操作をすると、交換時期が正しく表示されません。	○	○	○	○
	パワーセーブ	ユウコウ ムコウ	パワーセーブモードの有効/無効を設定します。有効時のパワーセーブ移行時間はシステムコウセイメニューの［パワーセーブ］から変更してください。	○	○	○	○
	セッティング	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。かすれる場合に値を変更します。	○	○	○	○
	インサツノウド	0 +1 +2 -2 -1	印刷濃度を設定します。	○	◎	○	◎
	クリーニング	インサツ	クリーニング印刷を実行します。	○	○	○	○
ジュミョウメニュー	トータル　PG	nnnnnn	総印刷枚数を表示します。	○	○	○	○
	ドラム　ノコリ	xxx%	ドラムの残り寿命を表示します。	○	○	○	○
	トナー　ノコリ	xxx%	トナーの残量を表示します。	○	○	○	○

＊　トナー残量は目安です。イメージドラムカートリッジの交換時に使用途中のトナーカートリッジを付けると、正しい残量は表示されません。

プリンタのアドミニストレータメニュー一覧

ユーザメニューの各カテゴリの有効/無効などを設定できます。無効のカテゴリはユーザメニューに表示されません。
システム管理者の方のみ使用してください。

変更方法

❶プリンタの電源をOFFにします。

❷「設定項目▲」スイッチと「設定項目▼」スイッチを押しながらプリンタの電源をONにします。[OP MENU]が表示されたら指を離します。

❸「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを押し、設定する項目を表示します。

❹「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、目的の値を表示します。

❺「メニュー選択」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

❻「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

メモ　メニューマップ印刷では無効にしたカテゴリも印刷されます。

カテゴリ	操作パネル表示		内　容
	設定項目(上段)	設定値(下段)	
OP MENU	ALL	ENABLE DISABLE	ユーザメニューのすべてのカテゴリの有効 / 無効を設定します。
	INFO.	ENABLE DISABLE	インフォメニューの有効 / 無効を設定します。
	PRINT	ENABLE DISABLE	インサツメニューの有効 / 無効を設定します。
	MEDIA	ENABLE DISABLE	メディアメニューの有効 / 無効を設定します。
	SYS CONF	ENABLE DISABLE	システムコウセイメニューの有効 / 無効を設定します。
	PCL MENU	ENABLE DISABLE	PCL メニューの有効 / 無効を設定します。

カテゴリ	操作パネル表示		内　容
	設定項目(上段)	設定値(下段)	
OP MENU	ESC/P	ENABLE DISABLE	ESC/P メニューの有効 / 無効を設定します。
	PARALLEL	ENABLE DISABLE	セントロメニューの有効 / 無効を設定します。
	USB	ENABLE DISABLE	USB メニューの有効 / 無効を設定します。
	NETWORK	ENABLE DISABLE	NETWORK メニューの有効 / 無効を設定します。
	MEMORY	ENABLE DISABLE	メモリメニューの有効 / 無効を設定します。
	ADJUST	ENABLE DISABLE	システムホセイメニューの有効 / 無効を設定します。
	MAINTE	ENABLE DISABLE	メンテナンスメニューの有効 / 無効を設定します。
	USAGE	ENABLE DISABLE	ジュミョウメニューの有効 / 無効を設定します。
PS MENU (ML22NR のみ)	L1 TRAY	TYPE1 TYPE2	PS3 エミュレーションのレベル 1 オペレータトレイ選択番号の設定をします。 TYPE1 設定時はレベル 1 オペレータのトレイ選択番号を 1 から有効とし、TYPE2 設定時は 0 から有効とします。
SIDM	SIDMMNID	0 ～ 9	ESC/P コマンドでの給紙先指定コマンドで、手差し指定の # を設定します。
	SIDMMPID *	0 ～ 4 ～ 9	ESC/P コマンドでの給紙先指定コマンドで、マルチパーパスフィーダ指定の # を設定します。 * : オプションのマルチパーパスフィーダ装着時のみ表示
	SIDMT1ID	0 1 ～ 9	ESC/P コマンドでの給紙先指定コマンドで、トレイ 1 指定の # を設定します。
	SIDMT2ID *	0 ～ 2 ～ 9	ESC/P コマンドでの給紙先指定コマンドで、マルチパーパスフィーダ指定の # を設定します。 * : オプションの拡張給紙ユニット装着時のみ表示

3 ネットワーク接続でWindowsにセットアップします

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

- Windows Server 2003
  Windows Server 2003日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種
  ただし、32ビット版のみの対応です。
- WindowsXP
  WindowsXP日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種
- WindowsMe/98/95
  WindowsMe/98/95日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

  注 Windows95は、Internet Explorer 4.0がインストールされていること。
- Windows2000
  Windows2000日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種
- WindowsNT4.0
  WindowsNT4.0日本語版の動作するコンピュータ（PSプリンタドライバはサービスパック5以上）
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- 日本語以外のOSには対応していません。
- MS-DOSおよびWindowsのコマンドプロンプト/DOSプロンプトでは動作しません。
- Windows3.1/NT3.51では動作しません。
- WindowsNT4.0は、ARC 互換RISCベースのプロセッサ（MIPS®シリーズ、Alpha、PowerPC™など）のシステムには対応していません。
- Windows95 PSプリンタドライバをインストールするためには、「Windows 95日本語版オペレーティングシステムCD-ROM」あるいは「フロッピーディスク」が別途必要です。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをインストールするためには、「WindowsNT Server 4.0日本語版オペレーティングシステムCD-ROM」、「WindowsNT Workstation 4.0日本語版オペレーティングシステムCD-ROM」または「WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM」が別途必要です。

メモ　イーサネットケーブルにはプリンタ付属のイーサネットケーブル用コアを取り付けて使用してください。

イーサネットアドレス（MAC Address）を確認します

ネットワーク接続する場合、プリンタのイーサネットアドレス（MAC Address）を確認する必要があります。
イーサネットアドレス（MAC Address）はネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。ネットワークの設定情報（Network Information）については「メニューマップ印刷をします」（18ページ）をご覧ください。

（例）

Network Information

System Information
Serial Number
Asset Number
System Contact
System Name
System Location

General Information
Network Function Name　MLETB12　Firmware Version　P1.69
MAC Address　008087849C9B
HUB Link Status　OK (100BASE-TX Half)
Frame Type　Automatic
Network Status　Unicast Packets Received　0
Packets Transmitted　0
Total Packets Received　0
Unsendable Packets　0
Bad Packets Received　0

TCP/IP Protocol　Enable
NetBEUI Protocol　Enable
NetWare Protocol　Enable

TCP/IP Configuration
Network Plug and Play(NPnP)
Discovery　Enable
Device Name　ML849C9B
IP Address Set　MANUAL
DHCP/BOOTP　Enable
RARP　Enable
Non Server Address Resolution(NPnP)　Enable

IP Address　192.168.0.2
Subnet Mask　255.255.255.0
Default Gateway　192.168.0.254
Web Address　http://192.168.0.2
DNS Server (Primary)　0.0.0.0
DNS Server (Secondary)　0.0.0.0
DefaultTTL　255

If your computer can not connect this printer with the browser, set the computer as follows.
Step1:Set IP address of your computer to 192.168.0.xxx
(xxx:exclude 0,254,255 and printer IP address 2.)
How to set the IP address of the computer?
See the manual of your computer.
Step2:Connect the browser.
Input the Web address to URL field of the browser as follows. http://192.168.0.2
If you will access the local address.set the proxy server setting to disable.

ケーブルを接続します

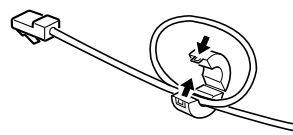
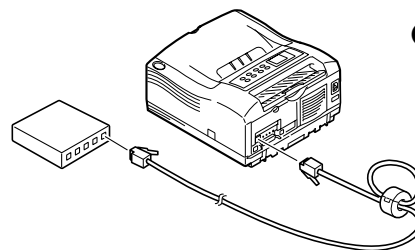
1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル(カテゴリ5、ツイストペアケーブル、ストレート)とハブを別途用意してください。

〈イーサネットケーブル〉

〈ハブ〉

2 プリンタとコンピュータの電源を OFF にします。

3 プリンタをネットワークに接続します。

❶プリンタ添付のイーサネットケーブル用コアを、イーサネットケーブルのプリンタに差し込むコネクタの口から約15cmの所に左図のように1重の輪を作って取り付けます。

❷イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❸イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

メモ

ネットワーク接続のセットアップ手順は、WindowsXP/2000/Server2003の場合、「WindowsXP/2000/Server2003にセットアップします」(42ページ)、WindowsMe/98/95/NT4.0の場合、「WindowsMe/98/95/NT4.0にセットアップします」(49ページ)をご覧ください。

WindowsXP/2000/Server2003にセットアップします

セットアップの流れ

プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

WindowsXP/2000/Server2003にIPアドレス等を設定します。

プリンタに IP アドレス等を設定します。

プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」からプリンタドライバ、OKI LPRユーティリティをインストールし、ネットワークプリンタを設定します。

- ML22NRには、ML22NR PSドライバ、ML22NR PCLドライバの2種類があります。PostScriptに対応しているアプリケーションを使用する場合は、PSドライバを使います。
- ML22Nでは、PSドライバは使用できません。

セットアップします

ネットワーク上でプリンタを使用する場合、コンピュータとプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。ネットワーク上にDHCPサーバ、BOOTPサーバ、もしくはRARPサーバがない場合、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。
また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有のIPアドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。
現在のプリンタに設定されているIPアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されていますので、確認してください。ネットワークの設定情報(Network Information)については、「メニューマップ印刷をします」(18ページ)をご覧ください。

- IPアドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたりInternetに接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダに、プリンタに設定できるIPアドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバ(DHCPなど)は、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

メモ

- プリンタはネットワークPlug&Playに対応しています。接続しているコンピュータがすべてWindowsXP/2000/Server2003の場合や、接続しているルータがネットワークPlug&Playに対応している場合は、ネットワーク上にサーバが存在しなくても自動的にIPアドレスを設定します。コンピュータとプリンタにIPアドレスを手動で設定する必要はありませんので、「手順4　プリンタドライバをインストールします」(45ページ)からセットアップしてください。
- コンピュータ1台とプリンタ1台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください(「RFC1918」による)。

コンピュータ

IPアドレス	: 192.168.0.1～254のいずれか
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0(使用しません)
DNS	: 使用しません

プリンタ

IPアドレス	: 192.168.0.1～254のいずれか(コンピュータと異なるもの)
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0
DHCP/BOOTPを使用する	: チェックしない
RARPを使用する	: チェックしない
サーバを使用しないアドレス解決	: チェックしない
LAN	: SMALL

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	: WindowsXP Home Edition
プリンタ	: ML22NR(PCL)
IPアドレス	: 192.168.0.3(コンピュータ)、192.168.0.2(プリンタ)
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 192.168.0.1

1 プリンタとコンピュータの電源をONにします。

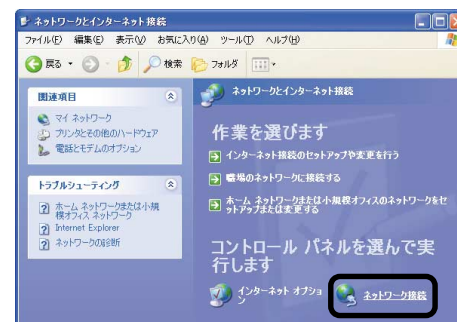
2 WindowsにIPアドレス等を設定します。

すでにWindowsにIPアドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順3「プリンタにIPアドレス等を設定します」(45ページ)へ進みます。

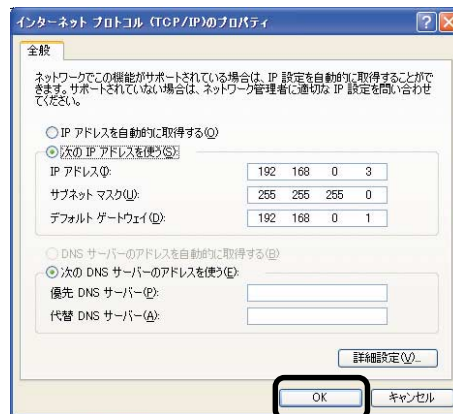
❶ Windowsを起動します。

❷ [スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[ネットワークとインターネット接続]をクリックします。

❸ [コントロールパネルを選んで実行します]の[ネットワーク接続]をクリックします。

Windows2000/Server2003の場合、[スタート]-[設定]-[ネットワーク接続]をクリックします。

❹［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。

❺［インターネットプロトコル(TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❻IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバを入力し、［OK］をクリックします。

メモ
- DHCPサーバからIPアドレスを自動取得する場合は、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択し、IPアドレスは入力しません。
- デフォルトゲートウェイやDNSサーバを使用しない場合は、入力しません。

❼［ローカルエリア接続］を閉じます。

3 プリンタにIPアドレス等を設定します。

注 すでにプリンタにIPアドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順4「プリンタドライバをインストールします」へ進みます。

❶プリンタの電源をONにします。

❷「メニュー」スイッチを数回押し、[NETWORK]を表示します。

❸「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[TCP/IP／ENABLE]を表示します。

[TCP/IP／DISABLE]と表示されている場合、「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを押して[TCP/IP／ENABLE]を表示し、「メニュー選択」スイッチを押し、値の右端に[＊]を付けます。

❹「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを押し、[IP　1/4]を表示します。

❺「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、IPアドレスの1桁目の値を表示します。

❻「メニュー選択」スイッチを押し、値の右端に[＊]を付けます。

以後、❹～❻を繰り返し、[IP　2/4]～[IP　4/4]、[MASK　1/4]～[MASK　4/4]、(サブネットマスク)、[GATE　1/4]～[GATE　4/4]、(ゲートウェイアドレス)を設定します。

❼「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

4 プリンタドライバをインストールします。

❶プリンタの電源がONで、Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

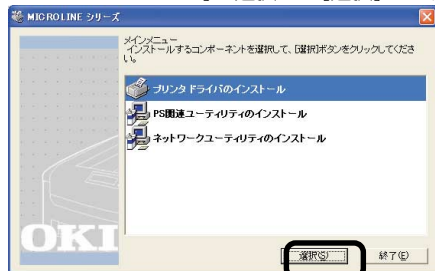
❷[スタート]-[マイコンピュータ]を選択します。

❸[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[MICROLINE]CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❹[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

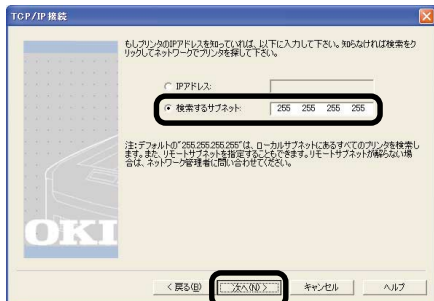
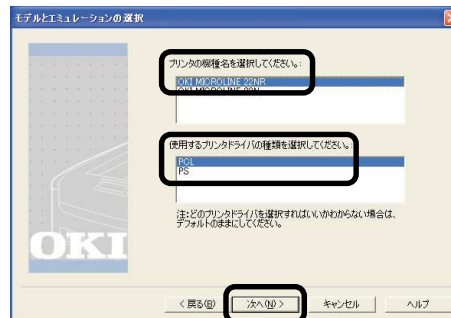
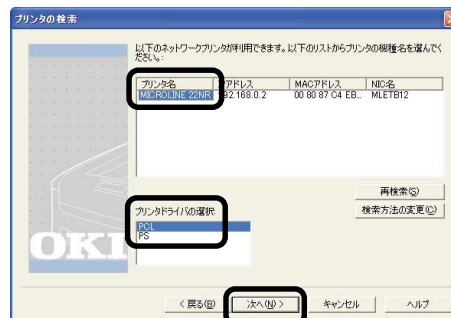
セットアッププログラムが起動します。

❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

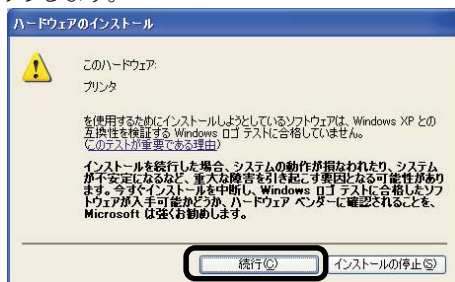
❻ [プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [ネットワークプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

❽ [TCP/IPプロトコル]を選択し、[次へ]をクリックします。

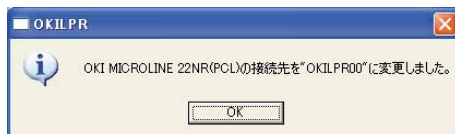
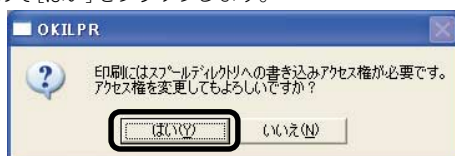
❾ 手順3(45ページ)で設定したプリンタのIPアドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

プリンタのIPアドレスが自動取得の場合や、IPアドレスがわからない場合は、[検索するサブネット]を選択し、[次へ]をクリックします。

❿ 手順❾でプリンタのIPアドレスを入力した場合、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

手順❾で[検索するサブネット]を選択した場合、検索されたプリンタリスト画面が表示されるので、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

メモ
- ML22NRで、PostScriptに対応しているアプリケーションを使用する場合は、PS ドライバを使用します。
- ML22N では、PS ドライバは使用できません。

⑪ プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

⑫ 共有するか確認の画面が表示されるので、[共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

⑬ [続行]をクリックします。

プリンタドライバとOKI LPRユーティリティとNetwork Extensionがインストールされます。

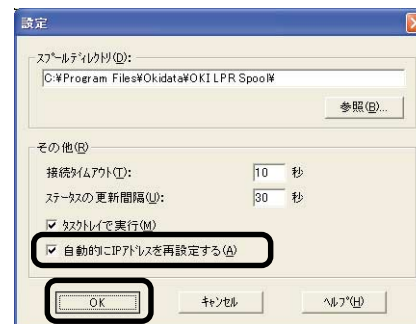
⑭ OKI LPRユーティリティのポート変更画面が表示されるので、[OK]をクリックします。

⑮ コンピュータのファイルシステムがNTFSの場合は、アクセス権を変更する画面が表示されますので[はい]をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

☞ ⑱へ進みます。

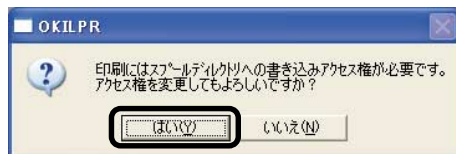
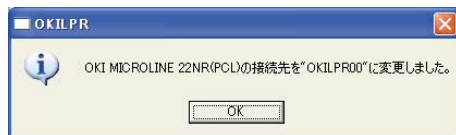
⑯ [完了]をクリックします。

⑰ [終了]をクリックします。

[プリンタとFAX]フォルダにプリンタアイコンが表示され、OKI LPRユーティリティにプリンタ名が追加されると、セットアップは終了です。

メモ プリンタの IP アドレスを自動取得している場合は、OKI LPR ユーティリティ「オプション」メニューの［設定］を選択し、[自動的に IP アドレスを再設定する］にチェックを付け、[OK］をクリックします。

☞ ⑮からの続き

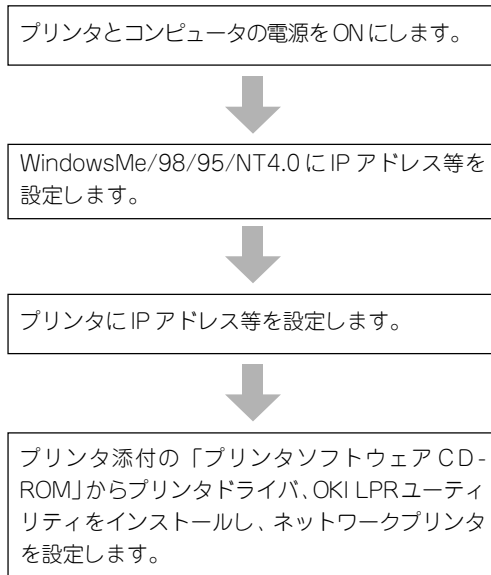
⑱ [完了]をクリックし、コンピュータを再起動します。

⑲ 再起動後、アクセス権を変更する画面が表示される場合は、[はい]をクリックします。

⑳ 再起動後、OKI LPRユーティリティのポート変更画面が表示される場合は、[OK]をクリックします。

[プリンタとFAX]フォルダにプリンタアイコンが表示され、OKI LPRユーティリティにプリンタ名が追加されると、セットアップは終了です。

メモ　プリンタの IP アドレスを自動取得している場合は、OKI LPR ユーティリティ「オプション」メニューの［設定］を選択し、［自動的に IP アドレスを再設定する］にチェックを付け、[OK］をクリックします。

5 10 章「印刷します」(163 ページ)へ進みます。

WindowsMe/98/95/NT4.0にセットアップします

セットアップの流れ

プリンタとコンピュータの電源をONにします。

WindowsMe/98/95/NT4.0にIPアドレス等を設定します。

プリンタにIPアドレス等を設定します。

プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」からプリンタドライバ、OKI LPRユーティリティをインストールし、ネットワークプリンタを設定します。

セットアップします

ネットワーク上でプリンタを使用する場合、コンピュータとプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。ネットワーク上にDHCPサーバ、BOOTPサーバ、もしくはRARPサーバがない場合、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。
また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有のIPアドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。
現在のプリンタに設定されているIPアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されていますので、確認してください。ネットワークの設定情報(Network Information)については、「メニューマップ印刷をします」(18ページ)をご覧ください。

- IPアドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたりInternetに接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダに、プリンタに設定できるIPアドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバは、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。

メモ コンピュータ1台とプリンタ1台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください(「RFC1918」による)。

コンピュータ

IPアドレス	: 192.168.0.1〜254のいずれか
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0(使用しません)
DNS	: 使用しません

プリンタ

IPアドレス	: 192.168.0.1〜254のいずれか(コンピュータと異なるもの)
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0
DHCP/BOOTPを使用する	: チェックしない
RARPを使用する	: チェックしない
サーバを使用しないアドレス解決	: チェックしない
LAN	: SMALL

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	: Windows98
プリンタ	: ML22NR(PCL)
IPアドレス	: 192.168.0.3(コンピュータ)、192.168.0.2(プリンタ)
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 192.168.0.1

1 プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

2 WindowsMe/98/95/NT4.0 に IP アドレス等を設定します。

注 すでにWindowsにIPアドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順3「プリンタにIPアドレス等を設定します」(51ページ)へ進みます。

❶ Windowsを起動します。

❷ [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。

❸ [ネットワーク]をダブルクリックします。

[現在のネットワークコンポーネント]に[TCP/IP→*** (***はアダプタ名)]が表示されている場合は?

☞ ❼へ進みます。

WindowsMeで[ネットワーク]が表示されていない場合は?

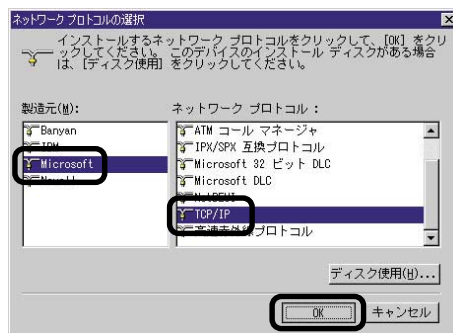
☞ [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する]をクリックします。

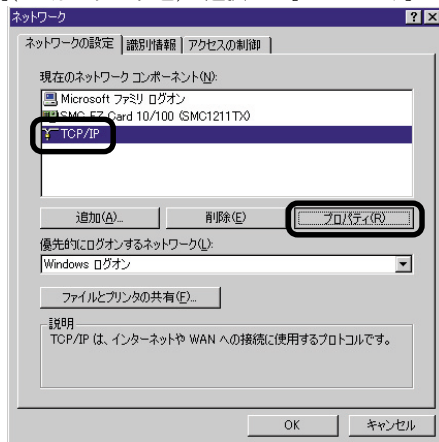
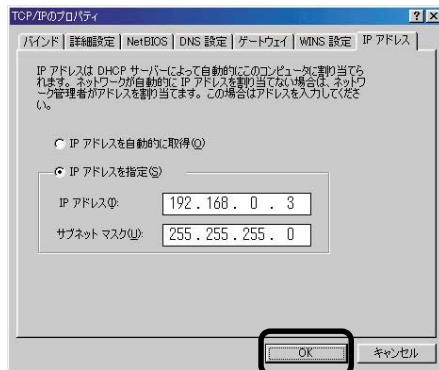
WindowsNT4.0で[ネットワーク]が表示されていない場合は?

☞ ❺へ進みます。

❹「ネットワークの設定」タブの[追加]をクリックします。

❺ [プロトコル]を選択し、[追加]をクリックします。

❻ [Microsoft]を選択して[TCP/IP]を選択し、[OK]をクリックします。

☞ ❸からの続き

❼ [TCP/IP→***](***はアダプタ名)を選択し、[プロパティ]をクリックします。

❽ [IPアドレス]タブでIPアドレス、サブネットマスク、[ゲートウェイ]タブでゲートウェイ、[DNS設定]タブでDNSを入力し、[OK]をクリックします。

メモ DHCPサーバからIPアドレスを自動取得する場合は、「IPアドレスを自動的に取得」を選択し、IPアドレスは入力しません。

❾ Windowsを再起動します。

3 プリンタにIPアドレス等を設定します。

注 すでにプリンタにIPアドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順4「プリンタドライバをインストールします」(52ページ)へ進みます。

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ 「メニュー」スイッチを数回押し、[NETWORK]を表示します。

❸ 「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[TCP/IP／ENABLE]を表示します。

[TCP/IP／DISABLE]と表示されている場合、「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを押して[TCP/IP／ENABLE]を表示し、「メニュー選択」スイッチを押し、値の右端に[✱]を付けます。

❹ 「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを押し、[IP　1/4]を表示します。

❺ 「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、IPアドレスの1桁目の値を表示します。

❻ 「メニュー選択」スイッチを押し、値の右端に[✱]を付けます。

以後、❹～❻を繰り返し、[IP　2/4]～[IP　4/4]、[MASK　1/4]～[MASK　4/4]、(サブネットマスク)、[GATE　1/4]～[GATE　4/4]、(ゲートウェイアドレス)を設定します。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

4 プリンタドライバをインストールします。

Windows95 PSプリンタドライバをインストールする場合、「5 Windows95をプリンタの追加でセットアップします」(55ページ)に進みます。WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをインストールする場合、「6 WindowsNT4.0をプリンタの追加でセットアップします」(56ページ)に進みます。

❶プリンタの電源がONで、Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷マイコンピュータを開きます。

❸[MICROLINE]CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❹[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻[プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼[ネットワークプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

❽[TCP/IPプロトコル]を選択し、[次へ]をクリックします。

❾プリンタのIPアドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

プリンタのIPアドレスがわからない場合は、[検索するサブネット]を選択し、[次へ]をクリックします。

❿手順❾でプリンタのIPアドレスを入力した場合、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

手順❾で[検索するサブネット]を選択した場合、検索されたプリンタリスト画面が表示されるので、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

Windows95/NT4.0 PSプリンタドライバは選択することができません。

⓫ プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

WindowsNT4.0の場合は共有するか確認する画面が表示されるので、[共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

プリンタドライバとOKI LPRユーティリティとNetwork Extensionがインストールされます。

⓬ OKI LPRユーティリティのポート変更画面が表示されるので、[OK]をクリックします。

WindowsNT4.0でコンピュータのファイルシステムがNTFSの場合は、アクセス権を変更する画面が表示されるので[はい]をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

 ⓯へ進みます。

⓭ [完了]をクリックします。

⓮ [終了]をクリックします。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示され、OKI LPRユーティリティにプリンタ名が追加されます。

ML22NR WindowsMe/98 PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択し、[PostScript]-[詳細設定]-[データ形式]で[タグ付きバイナリ通信プロトコル]を選択して、[OK]をクリックします。[OK]をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

☞ ⓬からの続き

⓯ [再起動する]にチェックを付け、[完了]をクリックします。

Windowsが再起動されます。

⓰ 再起動後、OKI LPRユーティリティのポート変更画面が表示される場合は、[OK]をクリックします。

WindowsNT4.0でコンピュータのファイルシステムがNTFSの場合は、アクセス権を変更する画面が表示されるので[はい]をクリックします。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示され、OKI LPRユーティリティにプリンタ名が追加されます。

ML22NR WindowsMe/98 PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択し、[PostScript]-[詳細設定]-[データ形式]で[タグ付きバイナリ通信プロトコル]を選択して、[OK]をクリックします。[OK]をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

5 Windows95 をプリンタの追加でセットアップします。

・Windows95をお使いの方だけご覧ください。
・Windows95日本語版オペレーティングシステム(CD-ROMあるいはフロッピーディスク)をご用意ください。

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷［プリンタの追加］をダブルクリックします。

❸「プリンタの追加ウィザード」画面で、［次へ］をクリックします。

❹［ローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❺［ディスク使用］をクリックします。

❻「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❼［配布ファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
D:¥WIN95¥PS¥JPN

❽プリンタ名を選択し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

ディスクの挿入が表示されたら［OK］をクリックします。
Windows95のシステムディスクをセットします。

〈フロッピーディスク版の方〉
Windows95の［DISK XX］をセットし、［OK］をクリックします。

〈CD-ROM版の方〉
Windows95のCD-ROMをセットし、［ファイルのコピー元］を「D:WIN95」にして、［OK］をクリックします。

❾[利用できるポート]で[LPT1:プリンタポート]を選択し、[次へ]をクリックします。

❿プリンタ名を確認し、通常のプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫[印字テストを行いますか?]で[いいえ]を選択し、[完了]をクリックします。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

6 WindowsNT4.0 をプリンタの追加でセットアップします。

- WindowsNT4.0をお使いの方だけご覧ください。
- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- WindowsNT Server 4.0日本語版オペレーティングシステムCD-ROM、または、WindowsNT Workstation 4.0日本語版オペレーティングシステムCD-ROM、または、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMをご用意ください。

❶[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷[プリンタの追加]をダブルクリックします。

❸「プリンタの追加ウィザード」画面で、[このコンピュータ]を選択し、[次へ]をクリックします。

❹[利用可能なポート]で[LPT1:Local Port]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

❺[ディスク使用]をクリックします。

❻「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❼ [配布ファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用する場合
D:¥WinNT¥PS¥JPN¥SP6
WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM以外を使用する場合
D:¥WinNT¥PS¥JPN¥SP5

❽ プリンタ名を選択し、[次へ]をクリックします。

❾ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

❿ [共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫ [テストページを印刷しますか？]で[いいえ]を選択し、[完了]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

ディスクの挿入が表示されたら[OK]をクリックします。
WindowsNTのCD-ROMをセットして[参照]をクリックし、次のパスを選択し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用する場合
D:¥SUPPORT¥USPRNDRV¥I386
WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM以外を使用する場合
D:¥I386

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

7 10章「印刷します」（163ページ）へ進みます。

プリンタドライバを削除するには

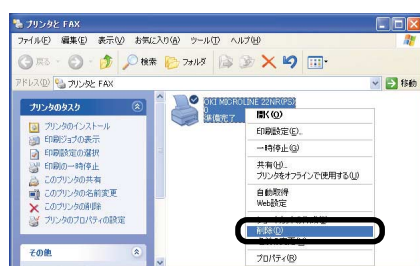
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。（WindowsXPでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。）

❷ [OKI MICROLINE 22NR(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))または[OKI MICROLINE 22N(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

❸ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❹、❺の作業を行ってください。

❹「プリンタ」フォルダ(Windows XPでは「プリンタとFAX」フォルダ)の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

❺ [ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除]をクリックします。

プリンタドライバと一緒にインストールされるOKI LPRユーティリティとNetwork Extensionは、プリンタドライバの削除をしても削除されません。
OKI LPRユーティリティとNetwork Extensionを削除する場合は、「Windowsソフトウェア」の「OKI LPRユーティリティ」、「Network Extension」(応用編)をご覧ください。

プリンタドライバをアップデートするには

- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶ コンピュータとプリンタを接続し、プリンタの電源をONにします。

❷ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(WindowsXPでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。)

❸ [OKI MICROLINE 22NR(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))または[OKI MICROLINE 22N(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❹ [全般]タブの[テストページの印刷]をクリックします。(Windows Me/98/95の場合、[全般]タブの[印字テスト]をクリックします。)

❺ 確認画面が表示されたら、[OK]をクリックします。

テストページが印刷されます。

❻ プリンタの電源をOFFにします。

❼ [OKI MICROLINE 22NR(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))または[OKI MICROLINE 22N(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

ドライバのアップデートを確実に行うために、アップデートするプリンタドライバと同じ種類(PSまたはPCL)のすべてのプリンタドライバを削除してください。

❽ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❾~❿の作業を行ってください。

❾「プリンタ」フォルダ(WindowsXPでは「プリンタとFAX」フォルダ)の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

❿ [ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除]をクリックします。

⓫ Windowsを再起動します。

⓬ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
詳しくは、3章～5章をご覧ください。

- 必ずプリンタの電源がONになっていることを確認してください。
- WindowsXP/Server2003では、プリンタのインストールでセットアップします。

⓭ ❶～❺の手順でテストページを印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。

WindowsMe/98/95
［ドライバで使用されるファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsXP/2000/Server2003
［このドライバが使う追加ファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsNT4.0
［このドライバが使うファイル］以下に記載されているバージョン

テストページ上に記載される［ドライバのバージョン］（WindowsMe/98/95の場合、［ドライバ　バージョン］）には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

印刷できないときには

最初に確認します

現象

- LINK 100Mランプ(緑)/LINK 10Mランプ(緑)を確認します。100BASE-TX/10BASE-Tで接続している場合にそれぞれ点灯します。点灯しない場合は、ネットワークが正常に動作していない状態です。
- STATUSランプ(橙)を確認します。データを受信しているときに点滅します。「一定間隔(1秒あるいは0.1秒)で点滅」「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。
- ハブのLINKランプが点灯しません。
- Pingに応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- プリンタの電源がONになっていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンタに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類が存在します。HUBとの接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源をONにします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源をONにするとネットワークで接続できないことがあります。

ハブとの相性が原因の場合

ハブとの相性により、通信が安定しない場合があります。

- プリンタの「HUB LINK SETTING」を「10BASE-T HALF」に設定してください。設定方法は以下を参照してください。

❶「メニュー」スイッチを数回押し、[NETWORK MENU]を表示します。

❷「メニュー選択」スイッチを押します。

❸「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[HUB LINK SETTING]を表示します。

❹「メニュー選択」スイッチを押します。

❺「設定値▲」スイッチまたは「設定値▼」スイッチを数回押し、[10BASE-T HALF]を表示します。

❻「メニュー選択」スイッチを押し、値の右側に[*]を付けます。

❼「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

- ハブの動作モード(100BASE-TX/10BASE-T、全二重/半二重)を「自動切替」から「10BASE-T HALF」にしてください。(設定方法はHUBに付属のマニュアルをご覧ください。)

3

印刷できないときには

それでも問題が解決しない場合

WindowsMe/98/95

- [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[ネットワーク]-[ネットワークの設定タブ]-[現在のネットワークコンポーネント]で、[TCP/IP → ***](***はアダプタ名)が表示されていることを確認します。
- [TCP/IP → ***](***はアダプタ名)の[プロパティ]で、[IPアドレス],[サブネットマスク],[ゲートウェイ]が正しいか確認します。
- OKI LPRユーティリティの「状態」を確認します。「停止中」になっている場合は停止中のプリンタを選択して、[リモートプリントメニュー]-[一時停止]のチェックを外します。
- 「OKI LPRユーティリティ」画面で、[使用しているプリンタ]を選択してから[リモートプリントメニュー]-[プリンタの再設定]を選択し、[IPアドレス]がプリンタのIPアドレスと一致しているか確認します。
  OKI LPRユーティリティの最新版は沖データホームページ(http://www.okidata.co.jp)で入手できます。バージョンが古い場合は、一旦“OKI LPRユーティリティを削除”してから最新版をインストールしてください。
- 小規模ネットワークの場合、次のように設定してください。

[IPアドレス]	Windows	192.168.0.3
	プリンタ	192.168.0.2
[サブネットマスク]	Windows	255.255.255.0
	プリンタ	255.255.255.0
[ゲートウェイ]	Windows	使用しません
	プリンタ	0.0.0.0

WindowsXP/2000/Server2003

- [スタート]-[設定]-[ネットワークとダイアルアップ接続]-[ローカルエリア接続]をダブルクリックし、[プロパティ]に[インターネットプロトコル(TCP/IP)]が表示されていることを確認します。
- [インターネットプロトコル(TCP/IP)]の[プロパティ]をクリックし、[IPアドレス],[サブネットマスク],[デフォルトゲートウェイ]が正しいことを確認します。
- セットアップ時にIPアドレスでプリンタを指定した場合は、各オクテットの先頭を「0」にしないでください。例えば、「192.169.1.2」のように設定してください。「192.169.001.002」のように設定すると正しく印刷することができません。これはWindowsXP/2000の仕様によるものです。
- 「OKI LPRユーティリティ」画面で、[使用しているプリンタ]を選択してから[リモートプリントメニュー]-[プリンタの再設定]を選択し、[IPアドレス]がプリンタのIPアドレスと一致しているか確認します。
  OKI LPRユーティリティの最新版は沖データホームページ(http://www.okidata.co.jp)で入手できます。バージョンが古い場合は、一旦“OKI LPRユーティリティを削除”してから最新版をインストールしてください。
- OKI LPRユーティリティの「状態」を確認します。「停止中」になっている場合は停止中のプリンタを選択して、[リモートプリントメニュー]-[一時停止]のチェックを外します。
- 小規模ネットワークの場合、次のように設定してください。

[IPアドレス]	Windows	192.168.0.3
	プリンタ	192.168.0.2
[サブネットマスク]	Windows	255.255.255.0
	プリンタ	255.255.255.0
[ゲートウェイ]	Windows	使用しません
	プリンタ	0.0.0.0

WindowsNT4.0

- [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[ネットワーク]をダブルクリックし、[プロトコルタブ]の[ネットワークプロトコル]で[TCP/IPプロトコル]が表示されていることを確認します。
- [TCP/IPプロトコル]の[プロパティ]で、[IPアドレス],[サブネットマスク],[デフォルトゲートウェイ]が正しいことを確認します。
- 「OKI LPRユーティリティ」画面で、[使用しているプリンタ]を選択してから[リモートプリントメニュー]-[プリンタの再設定]を選択し、[IPアドレス]がプリンタのIPアドレスと一致しているか確認します。
  OKI LPRユーティリティの最新版は沖データホームページ(http://www.okidata.co.jp)で入手できます。バージョンが古い場合は、一旦"OKI LPRユーティリティを削除"してから最新版をインストールしてください。
- OKI LPRユーティリティの「状態」を確認します。「停止中」になっている場合は停止中のプリンタを選択して、[リモートプリントメニュー]-[一時停止]のチェックを外します。
- 小規模ネットワークの場合、次のように設定してください。

[IPアドレス]	Windows	192.168.0.3
	プリンタ	192.168.0.2
[サブネットマスク]	Windows	255.255.255.0
	プリンタ	255.255.255.0
[ゲートウェイ]	Windows	使用しません
	プリンタ	0.0.0.0

4 USB 接続で Windows にセットアップします

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

- Windows Server 2003
  Windows Server 2003日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機でUSBインタフェースを搭載している機種
  ただし、32ビット版のみの対応です。
- WindowsXP
  WindowsXP日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX(PC-9821を除く)でUSBインタフェースを搭載している機種
- WindowsMe/98
  WindowsMe/98日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX(PC-9821を除く)でUSBインタフェースを搭載している機種
- Windows2000
  Windows2000日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX(PC-9821を除く)でUSBインタフェースを搭載している機種

- Windows95/3.1からアップグレードインストールしたWindows Me/98での動作は保証できません。
- 日本語以外のOSには対応していません。
- MS-DOSおよびWindowsのコマンドプロンプト/DOSプロンプトでは動作しません。
- Windows95/3.1/NT4.0/NT3.51では動作しません。
- 印刷中にUSBケーブルを抜き差ししないでください。
- USBケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
- 他の全てのUSB機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、プリンタフォルダに「OKI MICROLINE 22NR(**)」「OKI MICROLINE 22NR(**)(コピー2)」「OKI MICROLINE 22NR(**)(コピー3)」(**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源をONする順序によって変わります。
- USBハブを使用する場合は、コンピュータと直接接続されたUSBハブに接続してください。

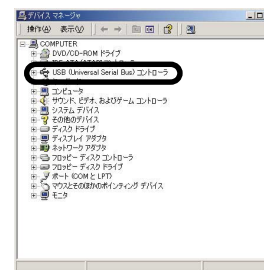
メモ

- USBインタフェースケーブルはUSB2.0仕様で長さ2m以内のものをお使いください。
- お使いのコンピュータがUSBに対応しているか確認できます。

〈WindowsXP〉

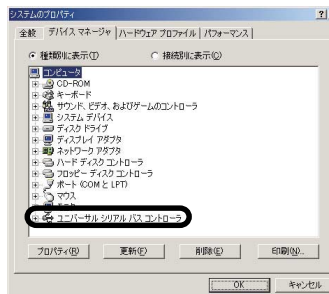
[スタート]-[マイコンピュータ]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]-[ハードウェア]タブを開き、[デバイスマネージャ]をクリックします。

〈Windows2000/Server2003〉

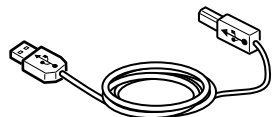
[マイコンピュータ]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]-[ハードウェア]タブを開き、[デバイスマネージャ]をクリックします。

〈WindowsMe/98〉

[マイコンピュータ]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]-[デバイスマネージャ]タブを開きます。

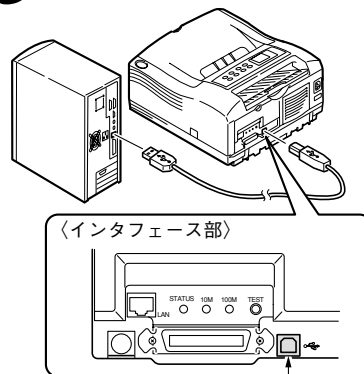
(WindowsMe の画面)

4
動作環境

ケーブルを接続します

1 USB ケーブルを準備します。

注 プリンタのケーブルは添付されていません。USB2.0仕様のケーブルを別途用意してください。

2 プリンタとコンピュータの電源を OFF にします。

メモ USBケーブルはコンピュータ、プリンタの電源がONの状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USBドライバのインストールを確実に行うために、ここではプリンタの電源をOFFにしておきます。

3 USB ケーブルを接続します。

❶ USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

注 USBケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

❷ USBケーブルをコンピュータのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

メモ USB接続のセットアップ手順は、WindowsXP/Server2003の場合、「WindowsXP/Server2003にセットアップします」(68ページ)、WindowsMe/98/2000の場合、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」(72ページ)をご覧ください。

WindowsXP/Server2003にセットアップします

- WindowsXP/Server2003をお使いの方だけご覧ください。
- コンピュータの管理者の権限が必要です。

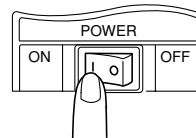
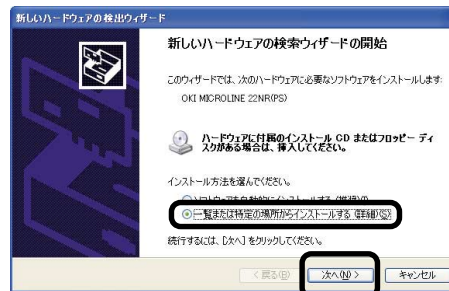
- **USBインタフェースで接続する場合、プリンタのインストール、セットアッププログラムでセットアップすると、プリンタとWindowsXP/Server2003を起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。WindowsXP/Server2003で初めてセットアップする場合は、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。**

以下の説明はWindowsXP Home Editionを例にしています。

プラグアンドプレイでセットアップします

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

2 プリンタドライバをインストールします。

❶プリンタの電源をONにします。

❷「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されたら、[一覧または特定の場所からインストールする（詳細）]を選択し、[次へ]をクリックします。

画面が表示されなかったら？
☞ 「WindowsXP/Server2003で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合」（82ページ）へ進みます。

❸「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❹[次の場所で最適のドライバを検索する]を選択し、[リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索]のチェックを外します。

❺[次の場所を含める]にチェックを付け、次のように入力し、[次へ]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
ML22NR PSドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PS¥JPN
ML22NR PCLドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PCL¥JPN
ML22Nドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PCL¥JPN

- ML22NRには、PSプリンタドライバ、PCLプリンタドライバの2種類があります。PostScriptに対応しているアプリケーションを使用する場合は、PSプリンタドライバを使います。
- ML22Nでは、PSプリンタドライバは使用できません。

❻「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「ディスクの挿入」画面が表示されたら？
☞ ❿へ進みます。

❼[完了]をクリックします。

❽[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

❾「コントロールパネルを選んで実行します」の[プリンタとFAX]をクリックします。(Windows Server2003の場合、[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

☞ ❻からの続き

❿「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットし、[OK]をクリックします。

⓫ [製造元のファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
ML22NR PSドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PS¥JPN
ML22NR PCLドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PCL¥JPN
ML22Nドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PCL¥JPN

メモ
- ML22NRには、PSプリンタドライバ、PCLプリンタドライバの2種類があります。PostScriptに対応しているアプリケーションを使用する場合は、PSプリンタドライバを使います。
- ML22Nでは、PSプリンタドライバは使用できません。

ファイルのコピーが開始されます。

⓬ [完了]をクリックします。

⓭ [スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

⓮ 「コントロールパネルを選んで実行します」の[プリンタとFAX]をクリックします。（Windows Server2003の場合、[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。）

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

プリンタのインストールでセットアップします

❶ コンピュータの電源をONにし、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

❷ [コントロールパネルを選んで実行します]の[プリンタとFAX]をクリックします。（Windows Server2003の場合、[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。）

❸ [プリンタのタスク]-[プリンタのインストール]をクリックします。（Windows Server2003の場合、[プリンタの追加]をダブルクリックします。）

❹ 「プリンタの追加ウィザード」画面で、[次へ]をクリックします。

❺ [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

注 [プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックは外してください。

❻ 「次のポートを使用」画面で[USBxxx]（xxxはポートの番号）を選択し、[次へ]をクリックします。

❼ [ディスク使用]をクリックします。

❽ 「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❾ [製造元のファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
ML22NR PSドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PS¥JPN
ML22NR PCLドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PCL¥JPN
ML22Nドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PCL¥JPN

メモ
- ML22NRには、PSプリンタドライバ、PCLプリンタドライバの2種類があります。PostScriptに対応しているアプリケーションを使用する場合は、PSプリンタドライバを使います。
- ML22Nでは、PSプリンタドライバは使用できません。

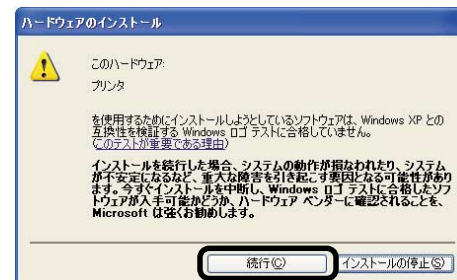
❿ プリンタ名を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

メモ
「プリンタ共有」画面が表示されたら、[このプリンタを共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓬ [テストページを印刷しますか？]で[いいえ]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓭ [完了]をクリックします。

⓮「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

[プリンタとFAX]フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

セットアップは完了です。

WindowsMe/98/2000にセットアップします

- Windows2000ではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- 2種類のプリンタドライバ(PSプリンタドライバとPCLプリンタドライバ)をお使いになりたい場合は、初めにどちらかのプリンタドライバをセットアップし、次にもう一方のプリンタドライバを接続先のポートを[FILE]としてセットアップして、セットアップ後にポートを変更してください。

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

プリンタの電源がONになっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合には、[キャンセル]をクリックし、プリンタの電源をOFFにしてから次に進んでください。

2 セットアッププログラムを起動します。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をコンピュータにセットします。

❷ [マイコンピュータ]を開きます。

❸ [MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

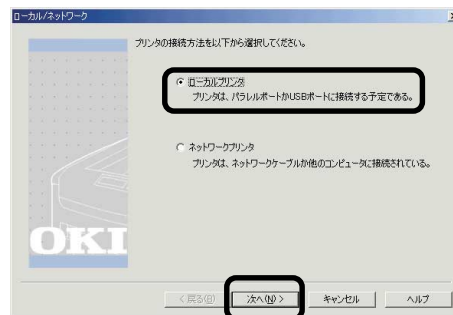
❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

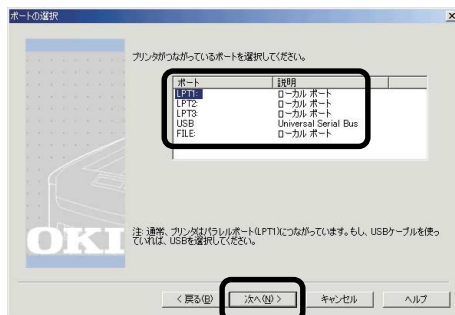
3 プリンタドライバをインストールします。

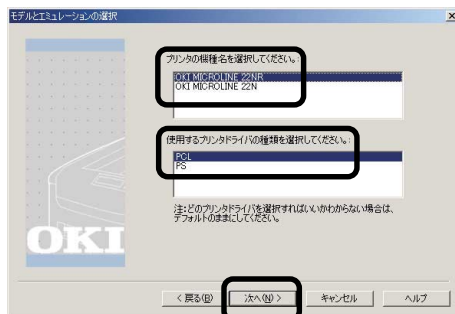
❶「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❷ [プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

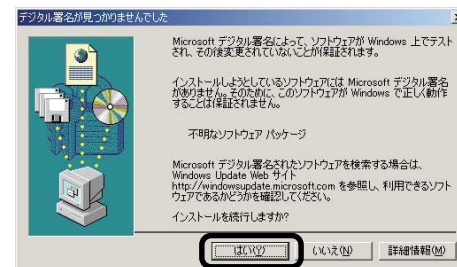
❸ [ローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

ネットワークで接続する場合は、「3　ネットワーク接続でWindowsにセットアップします」(39ページ)をご覧ください。

❹ポートで[USB]を選択し、[次へ]をクリックします。

注 2種類のプリンタドライバ(PSプリンタドライバとPCLプリンタドライバ)をお使いになりたい場合、2つ目のプリンタドライバをインストールするときは、[FILE]を選択してインストールを行ってください。インストール完了後、プリンタフォルダでプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択し、[詳細]タブの[印刷先のポート]で[OP1 USBx](Windows2000では[ポート]タブの[印刷するポート]で[USBxxx])を選択してください。

❺プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

- ML22NRには、PSプリンタドライバ、PCLプリンタドライバの2種類があります。PostScriptに対応しているアプリケーションを使用する場合は、PSプリンタドライバを使います。
- ML22Nには、PSプリンタドライバはありません。

WindowsMe/98の場合は、ファイルのコピーが行われます。

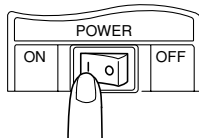
WindowsMe/98の場合
☞ 手順4(74ページ)へ進みます。

❻Windows2000で「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されたら、[はい]をクリックします。

ファイルのコピーが行われます。

☞ 手順4(74ページ)へ進みます。

4 USB ドライバをインストールします。

❶「ケーブル接続」の画面が表示されたら、[完了]をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら？
☞ ❸に進みます。

❷プリンタの電源をONにします。

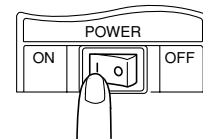
USBドライバのインストール方法は、システムによって異なります。

Windows2000の場合
☞ 75ページに進みます。
WindowsMeの場合
☞ 75ページに進みます。
Windows98の場合
☞ 77ページに進みます。

☞ ❶からの続き

❸[再起動する]にチェックを付け、[完了]をクリックします。

Windowsが再起動されます。

❹Windowsが完全に起動したら、プリンタの電源をONにします。

USBドライバのインストール方法は、システムによって異なります。

Windows2000の場合
☞ 75ページに進みます。
WindowsMeの場合
☞ 75ページに進みます。
Windows98の場合
☞ 77ページに進みます。

Windows2000の場合

❶ システム標準のUSBドライバが自動的にインストールされます。1〜2分かかることがあります。

❷ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

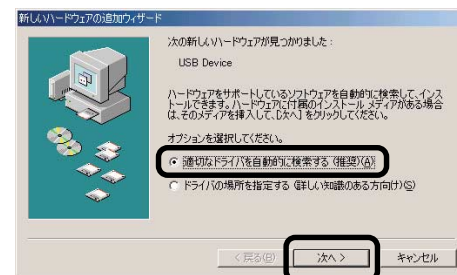
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

WindowsMeの場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。以下の手順に従ってUSBドライバをインストールします。

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は「セットアップがうまくいかないとき」の「WindowsMeで「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(83ページ)をご覧ください。

❶ [適切なドライバを自動的に検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❷ [完了]をクリックします。

引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

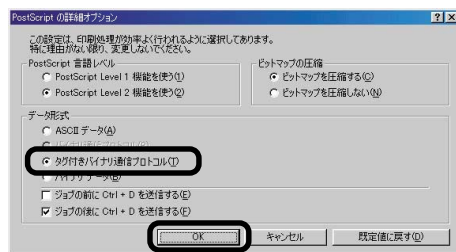
「ディスクの挿入」が表示されたら？

☞ 5へ進みます。

❸「MICROLINE シリーズ」画面が表示されている場合は、[終了]をクリックします。

❹ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

ML22NR PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択し、[PostScript]-[詳細設定]-[データ形式]で[タグ付きバイナリ通信プロトコル]を選択して、[OK]をクリックします。[OK]をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

☞ ❷からの続き

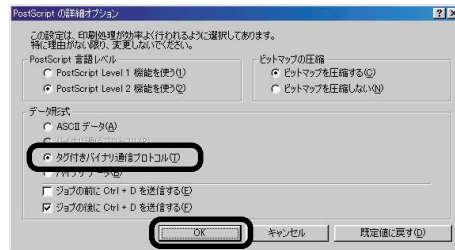
❺ [ファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
ML22NR PSドライバを使用する場合
E:¥WINME¥PS¥JPN
ML22NR PCLドライバを使用する場合
E:¥WINME¥PCL¥JPN
ML22Nドライバを使用する場合
E:¥WINME¥PCL¥JPN

ファイルのコピーが開始されます。

❻ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

ML22NR PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択し、[PostScript]-[詳細設定]-[データ形式]で[タグ付きバイナリ通信プロトコル]を選択して、[OK]をクリックします。[OK]をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

Windows98の場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。以下の手順に従ってUSBドライバをインストールします。

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は「セットアップがうまくいかないとき」の「Windows98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(85ページ)をご覧ください。

❶「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

❷[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸[CD-ROMドライブ]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

4

WindowsMe/98/2000にセットアップします

❹ [次へ]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❺ [完了]をクリックします。

引き続きUSBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

「ディスクの挿入」が表示されたら?
☞ ❽へ進みます。

❻「MICROLINE シリーズ」画面が表示されている場合は、[終了]をクリックします。

❼ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

ML22NR PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択し、[PostScript]-[詳細設定]-[データ形式]で[タグ付きバイナリ通信プロトコル]を選択して、[OK]をクリックします。[OK]をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

☞ ❺からの続き

❽「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットし、[OK]をクリックします。

❾ [ファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
ML22NR PSドライバを使用する場合
E:¥WIN98¥PS¥JPN
ML22NR PCLドライバを使用する場合
E:¥WIN98¥PCL¥JPN
ML22Nドライバを使用する場合
E:¥WIN98¥PCL¥JPN

❿ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

ML22NR PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択し、[PostScript]-[詳細設定]-[データ形式]で[タグ付きバイナリ通信プロトコル]を選択して、[OK]をクリックします。[OK]をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

セットアップがうまくいかないとき

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されない場合 (WindowsMe/98/2000、USBインタフェース)

プリンタドライバが正しくセットアップされていません。以下の手順に従ってセットアップを行います。

❶ セットアッププログラムを起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップし、「ケーブルの接続」画面が表示されたら、USBケーブルの接続を確認し、電源をONにします。

「コンピュータの再起動」画面が表示された場合は、Windowsを再起動した後、USBケーブルの接続を確認し、プリンタの電源をONにします。

❸ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」(72ページ)をご覧ください。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合

プリンタドライバの印刷先のポートが正しく設定されていません。以下の手順に従って設定を確認します。

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ](WindowsXPでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX])を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択します。

❸ [詳細]タブの[印刷先のポート](WindowsXP/2000では、[ポート]タブの[印刷するポート])で、接続先のポートを下記の設定にします。

WindowsXP/2000/Server2003…USBケーブルで接続する場合	[USBxxx]
WindowsMe/98…USBケーブルで接続する場合	[OP1 USBx]

- WindowsXP/2000/Server2003で、[印刷するポート]に[USBxxx]が表示されないときは、プリンタの電源がONになっていることを確認してUSBケーブルを接続し直し、再度❶～❸を行ってください。
- WindowsMe/98で[印刷先のポート]に[OP1 USBx]が表示されないときは、プリンタの電源がOFFになっていることを確認してUSBケーブルを接続し直し、再度セットアップを行ってください。詳細は、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」(72ページ)をご覧ください。
- WindowsMe/98でセットアップ中に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合は、「WindowsMeで「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(83ページ)、「Windows98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(85ページ)をご覧ください。
- WindowsMe/98の場合、ご利用の環境により[USBxxx]と表示される場合もあります。

ML22NRでPSまたはPCLのどちらか一方しかインストールできない場合　（USBインタフェース）

USBインタフェースで接続する場合、同じプリンタに対して、2種類のプリンタドライバを同時にインストールすると、2つ目にインストールするプリンタドライバのアイコンが作成されません。
2つ目のプリンタドライバをインストールする場合は以下のようにしてください。

〈WindowsXP/Server2003〉

❶ [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]（Windows Server2003では、[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]）を選択します。

❷ [プリンタのインストール]をクリックします。

❸ 画面の指示に従ってセットアップし、「次のポートを使用」画面で「FILE」にチェックを付けます。

❹ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。
詳細は、「WindowsXPにセットアップします」の「プリンタのインストールでセットアップします」（70ページ）をご覧ください。

❺ [プリンタ]フォルダで2つ目のプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❻ [ポート]タブの[印刷するポート]で[USBxxx]にチェックを付けます。

〈WindowsMe/98/2000〉

❶ セットアッププログラムを起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップし、「ポートの選択」画面で接続先のポートを「FILE」に設定します。

❸ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。
詳細は、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」（72ページ）をご覧ください。

❹ [プリンタ]フォルダで2つ目のプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❺ [詳細]タブの[印刷先のポート]で[OP1 USBx]（Windows2000では[ポート]タブの[印刷するポート]で[USBxxx]）にチェックを付けます。

セットアッププログラムで「プリンタドライバのインストールに失敗しました」のエラーが表示される場合（WindowsMe/98/2000）

WindowsMe/98/2000とUSB接続する場合、プラグアンドプレイでセットアップする必要があります。以下の手順でセットアップを行っているか確認してください。

❶ プリンタとコンピュータの電源がOFFになっていることを確認します。

❷ USBケーブルを接続します。

❸ プリンタの電源をONにします。

❹ Windowsを起動します。

❺ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」（Windows2000では「新しいハードウェアの検索ウィザード」）が表示されたら、以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「プリンタソフトウェアCD-ROM」内の「README.TXT」をご覧ください。

WindowsXP/Server2003で、パソコンを起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示される場合

プリンタドライバをプラグアンドプレイでセットアップしていません。以下の手順に従って、セットアップしてください。

❶ プリンタドライバを削除します。

❷ 「WindowsXP/Server2003にセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」（68ページ）の手順に従ってセットアップします。

WindowsXP/Server2003で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合

プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたプリンタドライバを削除してからセットアップし直してください。

❶［スタート］-［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❷［ハードウェア］タブの［デバイスマネージャ］をクリックします。

❸［その他のデバイス］の「OKI DATA CORPMICROLINE 22NR」または「OKIDATA CORPMICROLINE 22N」をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

［その他のデバイス］が表示されなかったら?

［表示］メニューの［非表示のデバイスの表示］を選択し、［プリンタ］の「OKI DATA CORPMICROLINE 22NR」または「OKIDATA CORPMICROLINE 22N」をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

❹「デバイスの削除の確認」画面で［OK］をクリックし、「デバイスマネージャ」を閉じます。

❺「システムのプロパティ」画面で［OK］をクリックします。

❻ Windowsを再起動し、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面から再セットアップします。

☞「WindowsXP/Server2003にセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」(68ページ)へ戻ります。

WindowsMeで「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合

プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたドライバを引き続きインストールしてください。

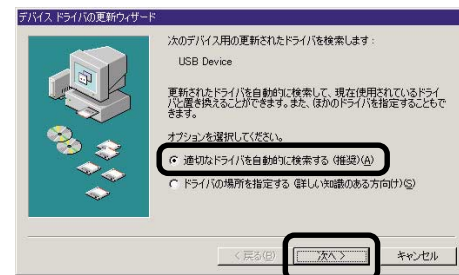
❶ [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。

❷ [システム]をダブルクリックします。

❸ [デバイスマネージャ]タブの[その他のデバイス]で[USB Device]を選択し、プロパティをクリックします。

❹ [ドライバの再インストール]をクリックします。

❺ 「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❻ 「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されたら、[適切なドライバを自動的に検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

❼ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)]を選択し、[次へ]をクリックします。

❽ [使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する(推奨)]を選択し、「リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROMなど)」のチェックを外します。

❾ [検索場所の指定]にチェックを付け、次のように入力し、[次へ]をクリックします。

> ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
> ML22NR PSドライバを使用する場合
> E:¥WINME¥PS¥JPN
> ML22NR PCLドライバを使用する場合
> E:¥WINME¥PCL¥JPN
> ML22Nドライバを使用する場合
> E:¥WINME¥PCL¥JPN

❿ [次へ]をクリックします。

⓫ 通常のプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓬ [印字テストを行いますか？]で[いいえ]を選択し、[完了]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⓭ [完了]をクリックします。

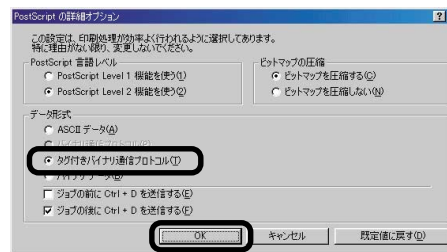
⓮ [完了]をクリックします。

⓯「USB Printing Supportのプロパティ」画面で[閉じる]をクリックします。

⓰「システムのプロパティ」画面で[OK]をクリックし、[コントロールパネル]を閉じます。

⓱ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

ML22NR PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択し、[PostScript]-[詳細設定]-[データ形式]で[タグ付きバイナリ通信プロトコル]を選択して、[OK]をクリックします。[OK]をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

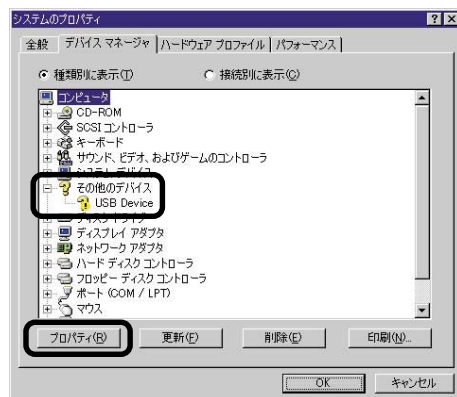
Windows98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合

プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたドライバを引き続きインストールしてください。

❶ [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。

❷ [システム]をダブルクリックします。

❸ [デバイスマネージャ]タブの[その他のデバイス]で[USB Device]を選択し、プロパティをクリックします。

[不明なデバイス]と表示されることがあります。

❹ [ドライバの再インストール]をクリックします。

❺「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

❻ [現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。

❼「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❽ [CD-ROM ドライブ]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

❾ [次へ]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❿ [完了]をクリックします。

⓫「USB Printing Supportのプロパティ」画面で[閉じる]をクリックします。

引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

⓬「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

⓭ [使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する(推奨)]を選択します。

⑭ [検索場所の指定]にチェックを付け、次のように入力し、[次へ]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
ML22NR PSドライバを使用する場合
E:¥WIN98¥PS¥JPN
ML22NR PCLドライバを使用する場合
E:¥WIN98¥PCL¥JPN
ML22Nドライバを使用する場合
E:¥WIN98¥PCL¥JPN

⑮ 最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、[次へ]をクリックします。

⑯ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

⑰ [印字テストを行いますか？]で[いいえ]を選択し、[完了]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⑱ [完了]をクリックします。

⑲「システムのプロパティ」画面で[OK]をクリックし、[コントロールパネル]を閉じます。

⑳ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

ML22NR PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択し、[PostScript]-[詳細設定]-[データ形式]で[タグ付きバイナリ通信プロトコル]を選択して、[OK]をクリックします。[OK]をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

4 セットアップがうまくいかないとき

プリンタドライバを削除するには

・WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❷ [OKI MICROLINE 22NR(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))または[OKI MICROLINE 22N(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

❸ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❹、❺の作業を行ってください。

❹ 「プリンタ」フォルダ(WindowsXP/Server2003では「プリンタとFAX」フォルダ)の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

❺ [ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除]をクリックします。

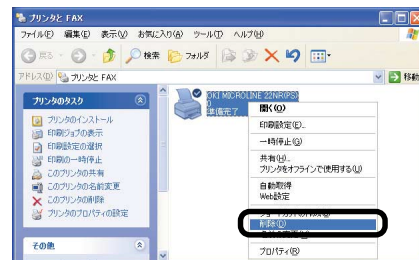
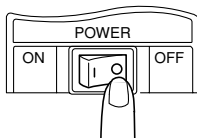
プリンタドライバをアップデートするには

・WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶ コンピュータとプリンタを接続し、プリンタの電源をONにします。

❷ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❸ [OKI MICROLINE 22NR(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))または[OKI MICROLINE 22N(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❹ [全般]タブの[テストページの印刷]をクリックします。(Windows Me/98の場合、[全般]タブの[印字テスト]をクリックします。)

❺ 確認画面が表示されたら、[OK]をクリックします。

テストページが印刷されます。

❻ プリンタの電源をOFFにします。

❼ [OKI MICROLINE 22NR(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))または[OKI MICROLINE 22N(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

ドライバのアップデートを確実に行うために、アップデートするプリンタドライバと同じ種類(PSまたはPCL)のすべてのプリンタドライバを削除してください。

❽ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❾～❿の作業を行ってください。

❾「プリンタ」フォルダ(WindowsXP/Server2003では「プリンタとFAX」フォルダ)の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

❿ [ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除]をクリックします。

⓫ Windowsを再起動します。

⓬ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
詳しくは「WindowsXP/Server2003にセットアップします」(68ページ)、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」(72ページ)をご覧ください。

注
- 必ずプリンタの電源がONになっていることを確認してください。
- WindowsXP/Server2003では、プリンタのインストールでセットアップします。

⓭ ❶～❺の手順でテストページを印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。

WindowsMe/98
［ドライバで使用されるファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsXP/2000/Server2003
［このドライバが使う追加ファイル］以下に記載されているバージョン

注
テストページ上に記載される［ドライバのバージョン］（Windows Me/98の場合、［ドライバ　バージョン］）には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

USB接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
Windows95/NT4.0でセットアップできません。	USB接続できるのはWindowsMe/98/2000/XP/Server2003です。Windows95/NT4.0は接続できません。
Windows95/3.1からアップグレードしたWindowsMe/98を使用しています。	動作保証できません。WindowsMe/98をクリーンインストールしたコンピュータを使用してください。
コンピュータがUSBインタフェースに対応していません。	デバイスマネージャでUSBコントローラが表示されるか確認してください。
USBケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。
インタフェースが無効になっています。	プリンタのメニュー設定で［USB］を「ユウコウ」にしてください。（35ページ）
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USBケーブルが外れています。	USBケーブルを差し込んでください。
USBケーブルに問題があります。	予備のUSBケーブルがあれば取り替えてみてください。
USBハブを使用しています。	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
セットアップの途中で画面に［検索場所の指定］、［場所の指定］が表示されます。	「プリンタソフトウェアCD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。 例：「E:¥WIN98¥PS¥JPN」 （ここではCD-ROMドライブがE：の場合を例にしています）
セットアップを中断しました。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
WindowsXP/Server2003/Me/98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されません。	「セットアップがうまくいかないとき」をご覧ください。

5 パラレル接続でWindowsにセットアップします

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

- Windows Server 2003
  Windows Server 2003日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種
  ただし、32ビット版のみの対応です。

- WindowsXP
  WindowsXP日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX(PC-9821を除く)で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

- WindowsMe/98/95
  WindowsMe/98/95日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

- Windows2000
  Windows2000日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

- WindowsNT4.0
  WindowsNT4.0日本語版の動作するコンピュータ(PSプリンタドライバはサービスパック5以上)
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821でパラレルインタフェースを搭載している機種

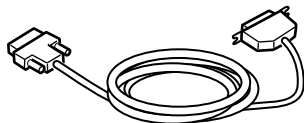
- 日本語以外のOSには対応していません。
- MS-DOSおよびWindowsのコマンドプロンプト/DOSプロンプトでは動作しません。
- Windows3.1/NT3.51では動作しません。
- WindowsNT4.0は、ARC互換RISCベースのプロセッサ(MIPS®シリーズ、Alpha、PowerPC™など)のシステムには対応していません。
- Windows95 PSプリンタドライバをインストールするためには、「Windows95日本語版オペレーティングシステムCD-ROM」あるいは「フロッピーディスク」が別途必要です。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをインストールするためには、「WindowsNT Server 4.0日本語版オペレーティングシステムCD-ROM」、「WindowsNT Workstation 4.0日本語版オペレーティングシステムCD-ROM」または「WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM」が別途必要です。

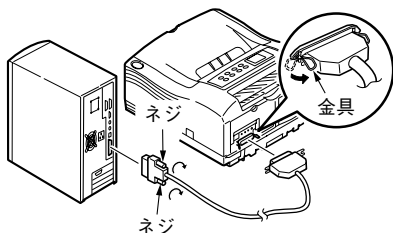
メモ

- コンピュータのパラレルポートのBIOS設定を「ECP」モードにすると、データ転送速度が向上する場合があります。設定方法はコンピュータの製造元にお問い合わせください。
- パラレルケーブルはシールドされたものをお使いください。(最長1.8m)

ケーブルを接続します

1 パラレルケーブルを準備します。

プリンタケーブルは添付されていません。IEEEstd1284-1994準拠の双方向パラレルケーブルを別途用意してください。

2 プリンタとコンピュータの電源を OFF にします。

3 コンピュータとプリンタを接続します。

❶ パラレルケーブルをプリンタのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、金具で固定します。

❷ パラレルケーブルをコンピュータのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、ネジで固定します。

メモ　パラレル接続のセットアップ手順は、WindowsXP/Server2003の場合、「WindowsXP/Server2003にセットアップします」(94ページ)、WindowsMe/98/95/2000/NT4.0の場合、「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0にセットアップします」(98ページ)をご覧ください。

WindowsXP/Server2003にセットアップします

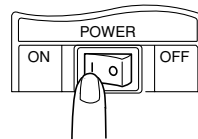
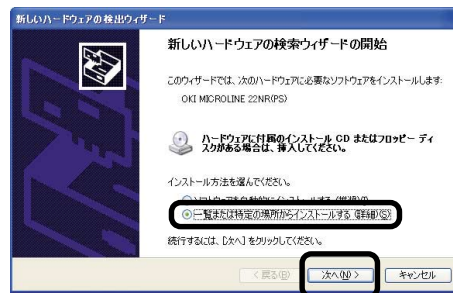
- WindowsXP/Server2003をお使いの方だけご覧ください。
- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- パラレルインタフェースで接続する場合、プリンタのインストール、セットアッププログラムでセットアップすると、プリンタとWindowsXP/Server2003を起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。WindowsXP/Server2003で初めてセットアップする場合は、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。
- 2種類のプリンタドライバ(PSプリンタドライバとPCLプリンタドライバ)をお使いになりたい場合は、初めにどちらかのプリンタドライバをプラグアンドプレイでセットアップし、次にもう一方のプリンタドライバをプリンタのインストールでセットアップしてください。(96ページ)

以下の説明はWindowsXP Home Editionを例にしています。

プラグアンドプレイでセットアップします

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

2 プリンタドライバをインストールします。

❶プリンタの電源をONにします。

❷「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されたら、[一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]を選択し、[次へ]をクリックします。

画面が表示されなかったら？
☞ 「WindowsXP/Server2003で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合」(106ページ)へ進みます。

❸「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❹[次の場所で最適のドライバを検索する]を選択し、[リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROMなど)を検索]のチェックを外します。

❺ [次の場所を含める]にチェックを付け、次のように入力し、[次へ]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
ML22NR PSドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PS¥JPN
ML22NR PCLドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PCL¥JPN
ML22Nドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PCL¥JPN

❻「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「ディスクの挿入」画面が表示されたら？
☞ ❿へ進みます。

❼ [完了]をクリックします。

❽ [スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

❾「コントロールパネルを選んで実行します」の[プリンタとFAX]をクリックします。(Windows Server2003の場合、[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。）

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

☞ ❻からの続き

❿「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットし、[OK]をクリックします。

⓫ [コピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
ML22NR PSドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PS¥JPN
ML22NR PCLドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PCL¥JPN
ML22Nドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PCL¥JPN

ファイルのコピーが開始されます。

⓬ [完了]をクリックします。

⓭ [スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

⓮「コントロールパネルを選んで実行します」の[プリンタとFAX]をクリックします。(Windows Server2003の場合、[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

プリンタのインストールでセットアップします

❶ コンピュータの電源をONにし、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

❷ [コントロールパネルを選んで実行します]の[プリンタとFAX]をクリックします。(Windows Server2003の場合、[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❸ [プリンタのタスク]-[プリンタのインストール]をクリックします。(Windows Server2003の場合、[プリンタの追加]をダブルクリックします。)

❹「プリンタの追加ウィザード」画面で、[次へ]をクリックします。

❺ [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

注 [プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックは外してください。

❻「次のポートを使用」画面で[LPT1:(推奨プリンタポート)]を選択し、[次へ]をクリックします。

❼ [ディスク使用]をクリックします。

❽「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❾ [製造元のファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
ML22NR PSドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PS¥JPN
ML22NR PCLドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PCL¥JPN
ML22Nドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PCL¥JPN

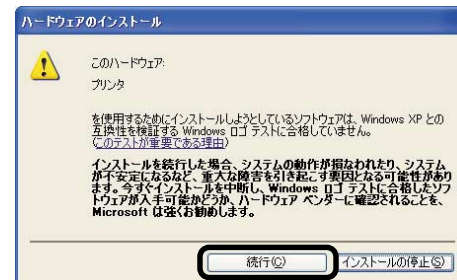
❿ プリンタ名を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

メモ 「プリンタ共有」画面が表示されたら、[このプリンタを共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓬ [テストページを印刷しますか?]で[いいえ]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓭ [完了]をクリックします。

⓮ 「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

[プリンタとFAX]フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

セットアップは完了です。

WindowsMe/98/95/2000/NT4.0にセットアップします

- Windows2000/NT4.0ではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows95での場合、Internet Explorer4.0以上がインストールされていないと、セットアッププログラムでのセットアップができません。Internet Explorerを4.0以上にアップデートしてから、セットアップを行ってください。（Windows95のバージョンは、[マイコンピュータ]を右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択し、[情報]タブで確認することができます。）
- Windows95 PSプリンタドライバをインストールする場合、「4 Windows95をプラグアンドプレイでセットアップします」（101ページ）に進みます。WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをインストールする場合、「6 WindowsNT4.0をプリンタの追加でセットアップします」（104ページ）に進みます。

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

プリンタの電源がONになっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合には、[キャンセル]をクリックし、プリンタの電源をOFFにしてから次に進んでください。

2 セットアッププログラムを起動します。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をコンピュータにセットします。

❷[マイコンピュータ]を開きます。

❸[MICROLINE]アイコンをダブルクリックして開きます。

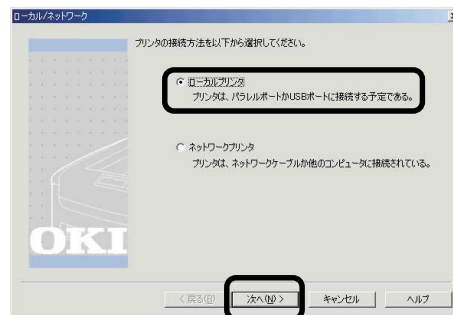
❹[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

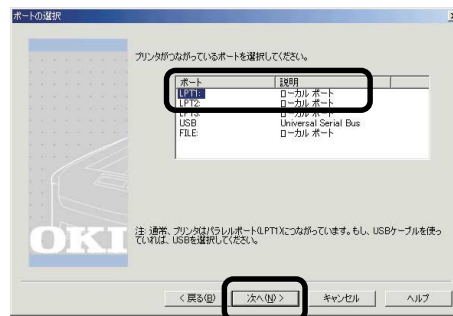
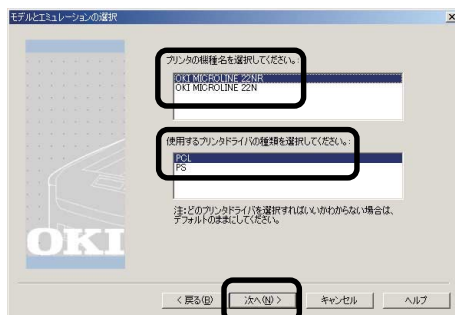
セットアッププログラムが起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

❶「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❷[プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❸[ローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

ネットワークで接続する場合は、「3 ネットワーク接続でWindowsにセットアップします」（39ページ）をご覧ください。

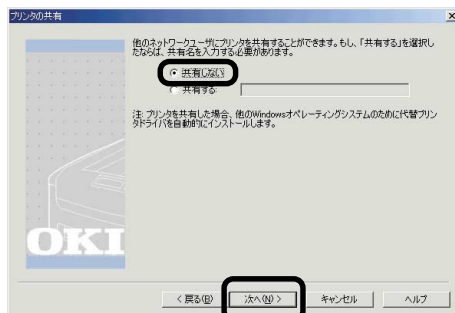
❹ポートで[LPT1]を選択し、[次へ]をクリックします。

❺プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

Windows95/NT4.0 PSプリンタドライバは選択することができません。

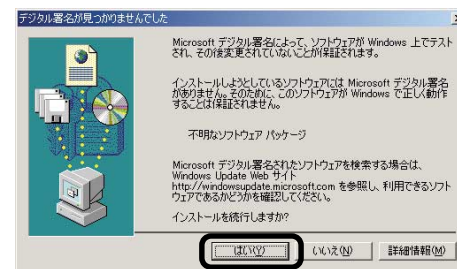
❻プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

WindowsMe/98/95では、ファイルのコピーが行われます。

❼Windows2000/NT4.0の場合、「プリンタの共有」画面が表示されたら、[共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

 WindowsMe/98/95では表示されません。

WindowsNT4.0では、ファイルのコピーが行われます。

❽Windows2000の場合、「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されたら、[はい]をクリックします。

 WindowsMe/98/95/NT4.0では表示されません。

ファイルのコピーが行われます。

❾[完了]をクリックします。

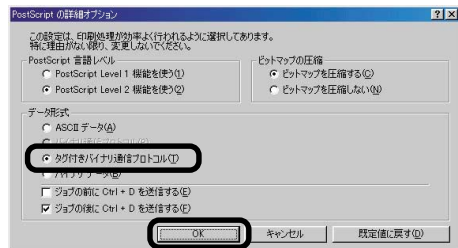
「コンピュータの再起動」画面が表示された場合

 ⓬に進みます。

❿[終了]をクリックします。

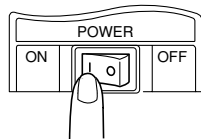
⓫[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

ML22NR WindowsMe/98 PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択し、[PostScript]-[詳細設定]-[データ形式]で[タグ付きバイナリ通信プロトコル]を選択して、[OK]をクリックします。[OK]をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

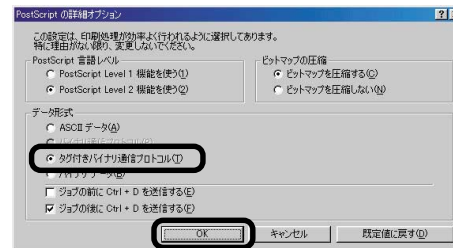
☞ ❾からの続き

⓬「コンピュータの再起動」画面が表示されたら、[再起動する]を選択し、[完了]をクリックします。

Windowsが再起動されます。

⓭ Windowsが完全に起動したら、プリンタの電源をONにします。

⓮ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

ML22NR WindowsMe/98 PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択し、[PostScript]-[詳細設定]-[データ形式]で[タグ付きバイナリ通信プロトコル]を選択して、[OK]をクリックします。[OK]をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

4 Windows95 をプラグアンドプレイでセットアップします。（パラレル）

・Windows95をお使いの方だけご覧ください。
・Windows95日本語版オペレーティングシステム（CD-ROMあるいはフロッピーディスク）をご用意ください。

❶プリンタとコンピュータをパラレルケーブルで接続し、プリンタ、コンピュータの電源をONにします。

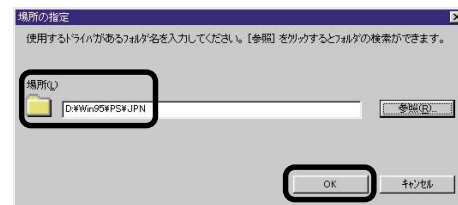
「デバイスドライバウィザード」画面が表示されたら、［次へ］をクリックします。

「新しいハードウェア」画面が表示されたら？
☞ ⑩へ進みます。
「ディスクの挿入」画面が表示されたら？
☞ ❽へ進みます。
画面が表示されなかったら？
☞ 「Windows95をプリンタの追加でセットアップします」の手順5（103ページ）へ進みます。

❷［場所の指定］をクリックします。

❸「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❹［場所］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがDの場合を例にしています。
D:¥WIN95¥PS¥JPN

❺更新されたドライバが見つかったことを確認し、［完了］をクリックします。

❻プリンタ名を確認し、通常のプリンタで［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

❼［印字テストを行いますか?］で［いいえ］を選択し、［完了］をクリックします。

❽「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットし、［OK］をクリックします。

❾［ファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

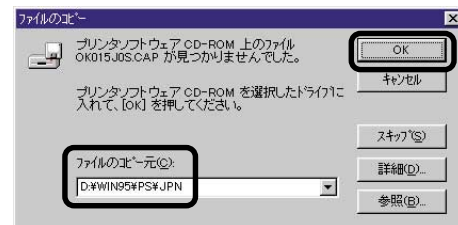
ここではCD-ROMドライブがDの場合を例にしています。
D:¥WIN95¥PS¥JPN

ファイルのコピーが開始されます。
ディスクの挿入が表示されたら[OK]をクリックします。
Windows95のシステムディスクをセットします。

〈フロッピーディスク版の方〉
Windows95の[DISK XX]をセットし、[OK]をクリックします。

〈CD-ROM版の方〉
Windows95のCD-ROMをセットし、[ファイルのコピー元]を「D:WIN95」にして、[OK]をクリックします。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

---

❿「新しいハードウェア」画面が表示されたら、[ハードウェアの製造元が提供するドライバ]を選択し、[OK]をクリックします。

⓫「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

⓬[配布ファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがDの場合を例にしています。
D:¥WIN95¥PS¥JPN

⓭プリンタ名を確認し、通常のプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓮[印字テストを行いますか?]で[いいえ]を選択し、[完了]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。
ディスクの挿入が表示されたら[OK]をクリックします。
Windows95のシステムディスクをセットします。

〈フロッピーディスク版の方〉
Windows95の[DISK XX]をセットし、[OK]をクリックします。

〈CD-ROM版の方〉
Windows95のCD-ROMをセットし、[ファイルのコピー元]を「D:WIN95」にして、[OK]をクリックします。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

5 Windows95 をプリンタの追加でセットアップします。

注
- Windows95をお使いの方だけご覧ください。
- Windows95日本語版オペレーティングシステム(CD-ROMあるいはフロッピーディスク)をご用意ください。

❶[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷[プリンタの追加]をダブルクリックします。

❸「プリンタの追加ウィザード」画面で、[次へ]をクリックします。

❹[ローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

❺[ディスク使用]をクリックします。

❻「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❼[配布ファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。 D:¥WIN95¥PS¥JPN

❽プリンタ名を選択し、[次へ]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

ディスクの挿入が表示されたら[OK]をクリックします。
Windows95のシステムディスクをセットします。

〈フロッピーディスク版の方〉
Windows95の[DISK XX]をセットし、[OK]をクリックします。

〈CD-ROM版の方〉
Windows95のCD-ROMをセットし、[ファイルのコピー元]を「D:WIN95」にして、[OK]をクリックします。

❾ [利用できるポート]で[LPT1:プリンタポート]を選択し、[次へ]をクリックします。

❿ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫ [印字テストを行いますか?]で[いいえ]を選択し、[完了]をクリックします。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

6 WindowsNT4.0 をプリンタの追加でセットアップします。

- WindowsNT4.0をお使いの方だけご覧ください。
- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- WindowsNT Server 4.0日本語版オペレーティングシステムCD-ROM、または、WindowsNT Workstation 4.0日本語版オペレーティングシステムCD-ROM、または、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMをご用意ください。

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [プリンタの追加]をダブルクリックします。

❸「プリンタの追加ウィザード」画面で、[このコンピュータ]を選択し、[次へ]をクリックします。

❹ [利用可能なポート]で[LPT1:Local Port]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

❺ [ディスク使用]をクリックします。

❻「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❼ [配布ファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用する場合
D:¥WinNT¥PS¥JPN¥SP6
WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM以外を使用する場合
D:¥WinNT¥PS¥JPN¥SP5

❽ プリンタ名を選択し、[次へ]をクリックします。

❾ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

❿ [共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫ [テストページを印刷しますか?]で[いいえ]を選択し、[完了]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

ディスクの挿入が表示されたら[OK]をクリックします。
WindowsNTのCD-ROMをセットして[参照]をクリックし、次のパスを選択し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用する場合
D:¥SUPPORT¥USPRNDRV¥I386
WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM以外を使用する場合
D:¥I386

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

セットアップがうまくいかないとき

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合

プリンタドライバの印刷先のポートが正しく設定されていません。以下の手順に従って設定を確認します。

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ](WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]、Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX])を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択します。

❸ [詳細]タブの[印刷先のポート](WindowsXP/2000/Server2003では、[ポート]タブの[印刷するポート])で、接続先のポートを下記の設定にします。

パラレルケーブルで接続する場合 [LPT1]

WindowsXP/Server2003で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合

プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたプリンタドライバを削除してからセットアップし直してください。

❶ [スタート]-[マイコンピュータ]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❷ [ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]をクリックします。

❸ [その他のデバイス]の「OKI DATA CORPMICROLINE 22NR」または「OKIDATA CORPMICROLINE 22N」をマウスの右ボタンでクリックして[削除]を選択します。

[その他のデバイス]が表示されなかったら?

[表示]メニューの[非表示のデバイスの表示]を選択し、[プリンタ]の「OKI DATA CORPMICROLINE 22NR」または「OKIDATA CORPMICROLINE 22N」をマウスの右ボタンでクリックして[削除]を選択します。

❹「デバイスの削除の確認」画面で[OK]をクリックし、「デバイスマネージャ」を閉じます。

❺「システムのプロパティ」画面で[OK]をクリックします。

❻Windowsを再起動し、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面から再セットアップします。

☞ 「WindowsXP/Server2003にセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」(94ページ)へ戻ります。

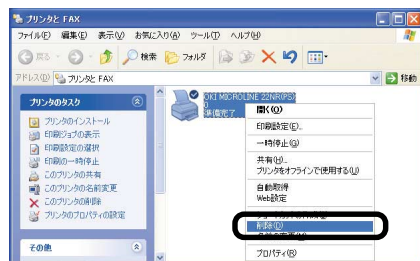
プリンタドライバを削除するには

- WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❷ [OKI MICROLINE 22NR(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))または[OKI MICROLINE 22N(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

❸ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❹、❺の作業を行ってください。

❹「プリンタ」フォルダ(WindowsXP/Serverでは「プリンタとFAX」フォルダ)の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

❺ [ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除]をクリックします。

5

プリンタドライバを削除するには

プリンタドライバをアップデートするには

・WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶ コンピュータとプリンタを接続し、プリンタの電源をONにします。

❷ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❸ [OKI MICROLINE 22NR(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))または[OKI MICROLINE 22N(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❹ [全般]タブの[テストページの印刷]をクリックします。(Windows Me/98/95の場合、[全般]タブの[印字テスト]をクリックします。)

❺ 確認画面が表示されたら、[OK]をクリックします。

テストページが印刷されます。

❻ プリンタの電源をOFFにします。

❼ [OKI MICROLINE 22NR(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))または[OKI MICROLINE 22N(PCL)]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

ドライバのアップデートを確実に行うために、アップデートするプリンタドライバと同じ種類(PSまたはPCL)のすべてのプリンタドライバを削除してください。

❽ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❾~❿の作業を行ってください。

❾「プリンタ」フォルダ(Windows XP/Server2003では「プリンタとFAX」フォルダ)の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

❿ [ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除]をクリックします。

⓫ Windowsを再起動します。

⓬ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
詳しくは「WindowsXP/Server2003にセットアップします」(94ページ)、「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0にセットアップします」(98ページ)をご覧ください。

- 必ずプリンタの電源がONになっていることを確認してください。
- WindowsXP/Server2003では、プリンタのインストールでセットアップします。

⓭ ❶～❺の手順でテストページを印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。

WindowsMe/98/95
［ドライバで使用されるファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsXP/2000/Server2003
［このドライバが使う追加ファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsNT4.0
［このドライバが使うファイル］以下に記載されているバージョン

テストページ上に記載される［ドライバのバージョン］(WindowsMe/98/95の場合、［ドライバ　バージョン］)には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

パラレル接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
WindowsNT4.0でプラグアンドプレイでセットアップできません。	プラグアンドプレイでセットアップできるのはWindowsMe/98/95/2000/XP/Server2003です。WindowsNT4.0はセットアッププログラムからセットアップしてください。(98ページ)
コンピュータが双方向パラレルインタフェースをサポートしていません。	双方向パラレルインタフェースをサポートしているコンピュータを使用してください。
パラレルケーブルが規格に合っていない可能性があります。	IEEEstd1284-1994準拠の双方向パラレルケーブルを使用してください。
インタフェースが無効になっています。	プリンタのメニュー設定で[セントロ]を[ユウコウ]にしてください。(34ページ)
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
パラレルケーブルが外れています。	パラレルケーブルを差し込んでください。
パラレルケーブルに問題があります。	予備のパラレルケーブルがあれば取り替えてみてください。
切替器、バッファ、延長ケーブルなどを使用しています。	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
セットアップの途中で画面に[検索場所の指定]、[場所の指定]が表示されます。	「プリンタソフトウェアCD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。 例：「E:¥WIN98¥PS¥JPN」 （ここではCD-ROMドライブがE：の場合を例にしています。）
セットアップを中断しました。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。

6 ネットワーク接続でMacintoshにセットアップします

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

MacOS8.1、8.5、8.5.1、8.6、9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2、Mac OS X Classic環境 日本語版が動作するMacintoshでEtherTalk対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- ML22NR PCLプリンタドライバは、ネットワークインタフェースでは利用できません。
- 日本語以外のOSには対応していません。
- MacOS8.0以前のシステムには対応していません。
- プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタのメモリ使用サイズの設定が小さい場合、書類によってはバックグラウンドプリントができない場合もあります。このような場合は、プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタの使用サイズを大きくしてください。
- MacOS日本語版のマルチユーザ機能には対応していません。

イーサネットケーブルにはプリンタ付属のイーサネットケーブル用コアを取り付けて使用してください。

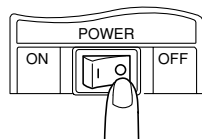
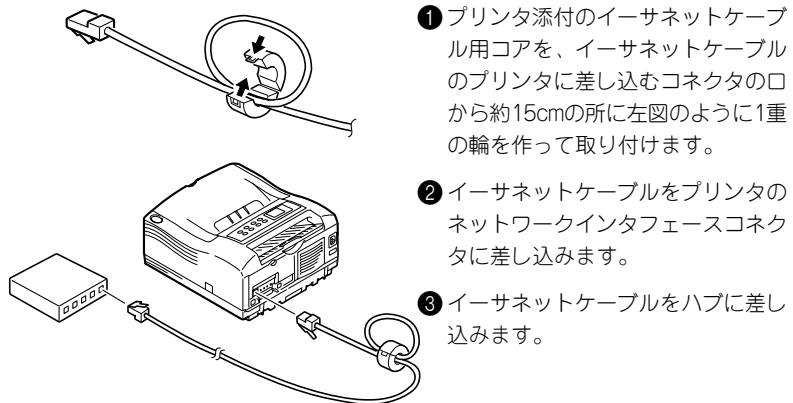
ケーブルを接続します

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

注 プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル(カテゴリ5、ツイストペアケーブル、ストレート)とハブを別途用意してください。

〈イーサネットケーブル〉

〈ハブ〉

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

3 プリンタをネットワークに接続します。

❶プリンタ添付のイーサネットケーブル用コアを、イーサネットケーブルのプリンタに差し込むコネクタの口から約15cmの所に左図のように1重の輪を作って取り付けます。

❷イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❸イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

セットアップします（ML22NR PSプリンタドライバ）

以下の説明は、MacOS9.0を例にしています。

1 プリンタの電源を ON にします。

オンライン
シ゛ト゛ウ

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 Macintosh を設定します。

❶ Macintoshを起動します。

❷ [アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[AppleTalk]を選択します。

❸ [Ethernet]を選択し、[AppleTalk]を閉じます。

❹「設定の保存」画面が表示されたら、[保存]をクリックします。

6
セットアップします（ML22NR PSプリンタドライバ）

3 プリンタドライバをインストールします。

- ウィルス防御ソフトウェアはOFFにしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintoshがハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の設定を行った後に、プリンタドライバをインストールしてください。
  ① [アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[機能拡張マネージャ]を選択します。
  ② [セット]を[Mac OS x.x.x基本](x.x.xはMac OS のバージョン)設定にします。
  ③ Macintoshを再起動します。
  ④ 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  ⑤ プリンタドライバのインストール後、[機能拡張マネージャ]の[セット]を元の設定に戻して、Macintoshを再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、[省略時セット]を選択してください。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ [Driver]-[PS Emulation]フォルダを開きます。

❸ [Installer for MacOS]をダブルクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

4 デスクトップ・プリンタを作成します。

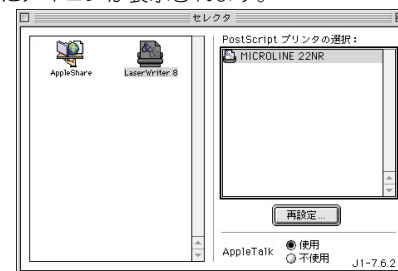
❶ [アップルメニュー]の[セレクタ]を選択します。

❷ [LaserWriter8]をクリックし、[PostScriptプリンタの選択]で[MICROLINE 22NR]を選択します。

プリンタ名は、MicrolinePS Utilityで変えることができます。

- [PostScriptプリンタの選択]で[MICROLINE 22NR]が表示されない場合には、Macintoshとプリンタが正しく接続されていない可能性があります。ケーブルが歪んでいないか確認してください。
- [セレクタ]に[LaserWriter8]が表示されない場合は、Mac OSのシステムCD-ROMからLaserWriter8プリンタドライバをインストールしてください。インストール方法は、「LaserWriter8プリンタドライバをインストールします」(118ページ)をご覧ください。

❸ [作成]をクリックします。
プリンタ名の横にアイコンが表示されます。

❹ [セレクタ]を閉じます。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

LaserWriter8プリンタドライバをインストールします

MacOS9.x.x付属のLaserWriter8プリンタドライバをカスタムインストールします。

[セレクタ]に[LaserWriter8]がすでに存在している場合は、インストール不要です。

以下の説明は、MacOS9.2.1を例にしています。

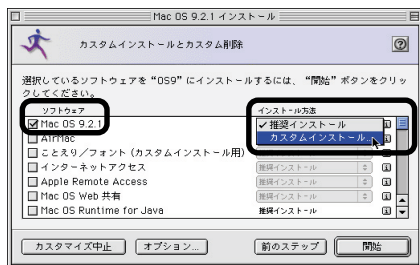
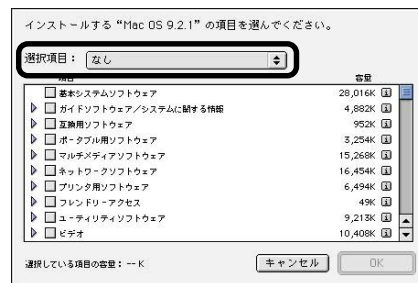
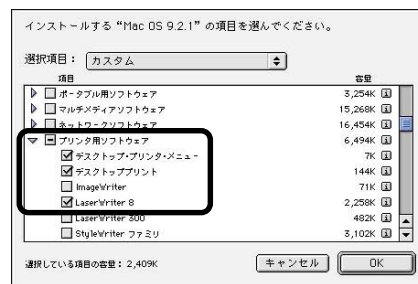
❶「MacOS9.x.xシステムCD-ROM」をセットします。

❷[MacOSインストーラ]をダブルクリックします。

❸「ようこそMacOS9.x.xへ」画面で[続ける]をクリックします。

❹[インストール先ディスク]を選択し、[選択]をクリックします。

❺[追加/削除]をクリックします。

❻[ソフトウェア]で[MacOS9.x.x]にチェックをつけ、[インストール方法]で[カスタムインストール]を選択します。

❼[選択項目]で[なし]を選択します。

❽[プリンタ用ソフトウェア]の[▷]印をクリックし、[デスクトップ・プリンタ・メニュー]、[デスクトッププリント]、[LaserWriter8]にチェックを付け、[OK]をクリックします。

❾[開始]をクリックします。

❿[続ける]をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

⓫[再起動]をクリックします。

6

LaserWriter8プリンタドライバをインストールします

セットアップします(ML22N PCLプリンタドライバ)

1 プリンタの電源をONにします。

オンライン
シ゛ト゛ウ

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 Macintoshを起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

- ウィルス防御ソフトウェアはOFFにしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintoshがハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の設定を行った後に、プリンタドライバをインストールしてください。
  ① [アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[機能拡張マネージャ]を選択します。
  ② [セット]を[Mac OS x.x.x基本](x.x.xはMac OS のバージョン)設定にします。
  ③ Macintoshを再起動します。
  ④ 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  ⑤ プリンタドライバのインストール後、[機能拡張マネージャ]の[セット]を元の設定に戻して、Macintoshを再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、[省略時セット]を選択してください。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ [Driver]-[PCL]フォルダを開きます。

❸ [Installer for MacOS]をダブルクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

4 使用するプリンタを選択します。

❶ [アップル]メニューの[セレクタ]を選択します。

❷ [ML22N(AppleTalk)]アイコンをクリックします。

❸ [MICROLINE 22N]を選択します。

「プリンタの選択」に表示されたプリンタ名を必ずクリックして選択してください。プリンタ名を選択してからセレクタを閉じないと、デスクトップ・アイコンが作成されず、印刷できません。

❹ セレクタを閉じます。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

セレクタを閉じて、デスクトップ上にプリンタアイコンが作成されたことを確認してから印刷してください。
デスクトップ・アイコンの作成が完了しない状態で、セレクタを開いたまま印刷するとプリンタドライバが壊れて、デスクトップ上に多数のプリンタアイコンが作成される場合があります。
この場合は、次の手順で復旧してください。

① [アップル]メニュー-[コントロールパネル]-[機能拡張マネージャ]で、[デスクトップ・プリントモニタ]、[デスクトップ・プリンタ・スプーラ]のチェックを外します。
② Macintoshを再起動します。
③ デスクトップ上の不要なプリンタアイコンを削除します。
④ プリンタドライバを再インストールします。
⑤ [機能拡張マネージャ]の[セット]を元の設定に戻します。
⑥ Macintoshを再起動します。

プリンタドライバを削除するには

1 インストーラで削除（アンインストール）します。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ [Driver]-[PS Emulation]（PCLドライバの場合は[PCL]）フォルダを開きます。

❸ [Installer for MacOS]をダブルクリックします。

❹「起動」画面で[続ける]をクリックします。

❺「使用許諾契約」画面で、[同意]をクリックします。

❻「お読みください」画面で、[続ける]をクリックします。

❼ ▲▼をクリックし、[アンインストール]を選択します。

❽ [アンインストール]をクリックします。

プリンタドライバのアンインストールが開始されます。

❾ [OK]をクリックします。

❿ [終了]をクリックします。

2 下記のファイルをゴミ箱にドラッグし、空にします。（PSドライバの場合）

- LaserWriter8を使用している全てのデスクトッププリンタアイコン
- [システムフォルダ]-[初期設定]-[プリント初期設定]フォルダ内の「LaserWriter8設定」ファイル

プリンタドライバをアップデートするには

❶ プリンタドライバを削除します。詳しくは「プリンタドライバを削除するには」(121ページ)をご覧ください。

❷ 新しいプリンタドライバをインストールします。詳しくは「セットアップします」(116ページ)をご覧ください。

印刷できないときには

最初に確認します

現象

- LINK 100Mランプ(緑)/LINK 10Mランプ(緑)を確認します。100BASE-TX/10BASE-Tで接続している場合にそれぞれ点灯します。点灯しない場合は、ネットワークが正常に動作していない状態です。
- STATUSランプ(橙)を確認します。データを受信しているときに点滅します。「一定間隔(1秒あるいは0.1秒)で点滅」「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。
- ハブのLINKランプが点灯しません。
- Pingに応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- プリンタの電源がONになっていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンタに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類が存在します。ハブとの接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源をONにします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源をONにするとネットワークで接続できないことがあります。

ハブとの相性が原因の場合

ハブとの相性により、通信が安定しない場合があります。

- プリンタの「HUB LINK SETTING」を「10BASE-T HALF」に設定してください。設定方法は以下を参照してください。

❶「メニュー」スイッチを数回押し、[NETWORK MENU]を表示します。

❷「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[HUB LINK SETTING]を表示します。

❸「設定値▲」スイッチまたは「設定値▼」スイッチを数回押し、[10BASE-T HALF]を表示します。

❹「メニュー選択」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

❺「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

- ハブの動作モード(100BASE-TX/10BASE-T、全二重/半二重)を「自動切替」から「10BASE-T HALF」にしてください。(設定方法はHUBに付属のマニュアルをご覧ください。)

それでも問題が解決しない場合

- [アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[AppleTalk]で[経由先]が[Ethernet]になっていることを確認します。
- [アップルメニュー]-[セレクタ]で、「LaserWriter 8」をクリックしたとき「プリンタ名」が表示されるか確認します。プリンタ名の初期値は「MICROLINE 22NR」です。プリンタ名はネットワークの設定情報(Network Information)に表示されている[EtherTalk Configuration]の[Printer Name]です。

7 USB 接続で Macintosh にセットアップします

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

PSプリンタドライバ

MacOS9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2日本語版が動作するMacintoshでUSBインタフェースを搭載している機種

PCLプリンタドライバ

MacOS8.1、8.5、8.5.1、8.6、9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2、Mac OS X Classic環境日本語版が動作するMacintoshでUSBインタフェースを搭載している機種

- USB拡張ボードには対応していません。
- 日本語以外のOSには対応していません。
- 印刷中にUSBケーブルを抜き差ししないでください。
- USBケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
- 他の全てのUSB機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、PSプリンタドライバではデスクトップ・プリンタUtility、PCLプリンタドライバではセレクタに「MICROLINE 22NR」、「MICROLINE 22NR1」、「MICROLINE 22NR2」と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源をONする順序によって変わります。
- USBハブをご使用になる場合は、コンピュータと直接接続されたUSBハブに接続してください。
- プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタのメモリ使用サイズの設定が小さい場合、書類によってはバックグラウンドプリントができない場合があります。このような場合は、プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタの使用サイズを大きくしてください。
- MacOS 日本語版のマルチユーザ機能には対応していません。
- PSプリンタドライバは、Mac OS X Classic環境には対応していません。

USBインタフェースケーブルは、USB2.0仕様で長さ2m以内のものをお使いください。

ケーブルを接続します

1 USB ケーブルを準備します。

USBケーブルは添付されていません。USB2.0仕様のUSBケーブルを別途用意してください。

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

メモ

USBケーブルはコンピュータ、プリンタの電源がONの状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USBドライバのインストールを確実に行うために、ここではプリンタの電源をOFFにしておきます。

3 USB ケーブルを接続します。

❶ USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

注

USBケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

❷ USBケーブルをMacintoshのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

セットアップします(ML22NR PSプリンタドライバ)

1 プリンタの電源を ON にします。

オンライン
シ゛ト゛ウ

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 Macintosh を起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

- ウィルス防御ソフトウェアはOFFにしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintoshがハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の設定を行った後に、プリンタドライバをインストールしてください。
  ① [アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[機能拡張マネージャ]を選択します。
  ② [セット]を[Mac OS x.x.x基本](x.x.xはMac OS のバージョン)設定にします。
  ③ Macintoshを再起動します。
  ④ 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  ⑤ プリンタドライバのインストール後、[機能拡張マネージャ]の[セット]を元の設定に戻して、Macintoshを再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、[省略時セット]を選択してください。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ [Driver]-[PS]フォルダを開きます。

❸ [Installer for MacOS]をダブルクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

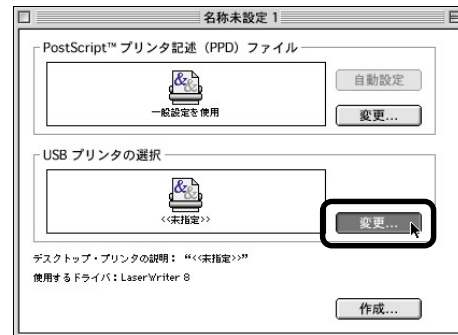
4 デスクトップ・プリンタを作成します。

❶ [Appleエクストラ]-[Apple LaserWriterソフトウェア]フォルダ(Mac OS 9.1以降では、[Applications(MacOS9)]-[ユーティリティ]フォルダ)内の[デスクトップ・プリンタUtility]をダブルクリックします。

デスクトップ・プリンタ Utility

❷ [プリンタ]で[LaserWriter8]を、[デスクトップに作成]で[プリンタ(USB)]を選択し、[OK]をクリックします。

[プリンタ]に[LaserWriter8]が表示されない場合は、Mac OSのシステムCD-ROMからLaserWriter8プリンタドライバをインストールしてください。インストール方法は、「LaserWriter8プリンタドライバをインストールします」(118ページ)をご覧ください。

❸ [USBプリンタの選択]の[変更]をクリックします。

❹ [USBプリンタの選択]で[MICROLINE 22NR]を選択し、[OK]をクリックします。

注

[USBプリンタの選択]で[MICROLINE 22NR]が表示されない場合には、Macintoshとプリンタが正しく接続されていない可能性があります。ケーブルが歪んでいないか確認してください。

❺ [PostScriptプリンタ記述(PPD)ファイル]で[自動設定]を選択します。

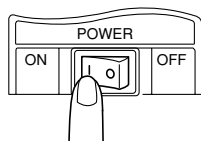
❻［作成］をクリックします。

❼［デスクトップ・プリンタの保存名］を入力し、［保存］をクリックします。

❽デスクトップ・プリンタUtilityを終了します。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

メモ USBインタフェースで接続する場合は、「セレクタ」画面で「LaserWriter8」を選択しても、画面の右側にプリンタ名は表示されません。プリンタを選択するときはデスクトップ上に作成されたプリンタアイコンを選択して、「Finder」の［プリンタ］メニューで［省略時プリンタに指定］を選択して使用します。

セットアップします（ML22NR PCL／ML22Nプリンタドライバ）

1 プリンタの電源を ON にします。

オンライン
シ゛ト゛ウ

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 Macintosh を起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

- ウィルス防御ソフトウェアはOFFにしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintoshがハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の設定を行った後に、プリンタドライバをインストールしてください。
  ① ［アップルメニュー］-［コントロールパネル］-［機能拡張マネージャ］を選択します。
  ② ［セット］を［Mac OS x.x.x基本］（x.x.xはMac OS のバージョン）設定にします。
  ③ Macintoshを再起動します。
  ④ 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  ⑤ プリンタドライバのインストール後、［機能拡張マネージャ］の［セット］を元の設定に戻して、Macintoshを再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、［省略時セット］を選択してください。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ ［Driver］-［PCL］フォルダを開きます。

❸ ［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

4 使用するプリンタを選択します。

❶ [アップル]メニューの[セレクタ]を選択します。

❷ [プリンタ名(USB)]アイコンをクリックします。

❸ プリンタ名を選択します。

注 「プリンタの選択」に表示されたプリンタ名を必ずクリックして選択してください。プリンタ名を選択してからセレクタを閉じないと、デスクトップ・アイコンが作成されず、印刷できません。

❹ セレクタを閉じます。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

セレクタを閉じて、デスクトップ上にプリンタアイコンが作成されたことを確認してから印刷してください。
デスクトップ・アイコンの作成が完了しない状態で、セレクタを開いたまま印刷するとプリンタドライバが壊れて、デスクトップ上に多数のプリンタアイコンが作成される場合があります。
この場合は、次の手順で復旧してください。

① [アップル]メニュー-[コントロールパネル]-[機能拡張マネージャ]で、[デスクトップ・プリントモニタ]、[デスクトップ・プリンタ・スプーラ]のチェックを外します。
② Macintoshを再起動します。
③ デスクトップ上の不要なプリンタアイコンを削除します。
④ プリンタドライバを再インストールします。
⑤ [機能拡張マネージャ]の[セット]を元の設定に戻します。
⑥ Macintoshを再起動します。

プリンタドライバを削除するには

1 インストーラで削除（アンインストール）します。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ [Driver]-[PS Emulation]（PCLドライバの場合は[PCL]）フォルダを開きます。

❸ [Installer for MacOS]をダブルクリックします。

❹「起動」画面で[続ける]をクリックします。

❺「使用許諾契約」画面で、[同意]をクリックします。

❻「お読みください」画面で、[続ける]をクリックします。

❼ ▲▼をクリックし、[アンインストール]を選択します。

❽ [アンインストール]をクリックします。

プリンタドライバのアンインストールが開始されます。

アンインストールが完了しましたが、いくつかのファイル／フォルダは削除されませんでした。それらは他のアプリケーションと共有されているか、現在使用中であるか、または、他のインストールプログラムによってインストールされました。
OK

❾ [OK]をクリックします。

❿ [終了]をクリックします。

2 下記のファイルをゴミ箱にドラッグし、空にします。（PSドライバの場合）

- LaserWriter8を使用している全てのデスクトッププリンタアイコン
- ［システムフォルダ］-［初期設定］-［プリント初期設定］フォルダ内の「LaserWriter8設定」ファイル

プリンタドライバをアップデートするには

❶ プリンタドライバを削除します。詳しくは「プリンタドライバを削除するには」(133ページ)をご覧ください。

❷ 新しいプリンタドライバをインストールします。詳しくは「セットアップします」(128, 131ページ)をご覧ください。

USB接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
インタフェースが無効になっています。	プリンタのメニュー設定で[USB]を[ユウコウ]にしてください。(35ページ)
MacOSのバージョンが対応していません。	PSプリンタドライバでUSB接続できるのはMacOS9.0以降です。それ以前のMacOSにはネットワーク経由で接続してください。(113ページ)
USBケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USBケーブルを短時間で抜き差ししています。	USBケーブルを抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
USBケーブルが外れています。	USBケーブルを差し込んでください。
USBケーブルに問題があります。	予備のUSBケーブルがあれば取り替えてみてください。
USBハブを使用しています。	プリンタとMacintoshを直接接続してみてください。
セットアップを中断しました。	もう一度初めからセットアップしてください。(125ページ)

現　象	対処方法
プリンタの電源スイッチがOFFになっています。	プリンタの電源をONにしてください。
デスクトッププリンタアイコンに手のマークがついています。	Macintoshのプリンタメニューの[プリントキューの開始]を選択してください。
プリンタドライバが正しくインストールされていません。	プリンタドライバを再インストールしてください。(125ページ)
[オフライン]になっています。	「オンライン」を押して、[オンライン]にしてください。

8 ネットワーク接続でMac OS Xにセットアップします

動作環境

Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

PSプリンタドライバの動作環境

Mac OS X10.1～10.3.2日本語版が動作するMacintoshでEtherTalk対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- 日本語以外のOSには対応していません。
- ハーフトーン調整機能は使用できません。
- カスタム用紙はサポートされません。
- OCFやCIDビットマップフォントは使用することができません。
- Mac OS Xのアプリケーションで表示される、細明朝体(SaiMincho)、中ゴシック(ChuGothic)はビットマップで印刷されます。
- MicrolinePS UtilityはMac OS Xでは動作しません。
- Mac OS X 10.0～10.0.4では、[用紙厚]や[解像度]設定などの、プリンタの固有機能を使用することができません。
- Mac OS X 10.0～10.0.4では、プリンタ名に日本語を使用するとコンピュータとプリンタ間で接続することができません。

イーサネットケーブルにはプリンタ付属のイーサネットケーブル用コアを取り付けて使用してください。

PCLプリンタドライバの動作環境

Mac OS X10.1～10.3.2日本語版が動作するMacintoshでネットワークインタフェースを搭載している機種

- 日本語以外のOSには対応していません。
- Mac OS X 10.2.3以前では、カスタム用紙はサポートされません。
- Mac OS用のプリンタドライバでサポートされている、次の機能は使用できません。
  - A3→A4用紙、B4→A4用紙
  - 往復はがき、封筒1、封筒2、封筒3の回転印刷
  - 用紙設定ダイアログのオプションパネルの設定
  - レイアウトパネルのとじ代、とじ位置の設定
  - フリーサイズの登録
  - ウォーターマーク
- Mac OS X 10.1.5以前の環境にプリンタドライバをインストールしていて、Mac OS X 10.2以上にアップデートした場合は、プリンタドライバを再インストールしてください。

イーサネットケーブルにはプリンタ付属のイーサネットケーブル用コアを取り付けて使用してください。

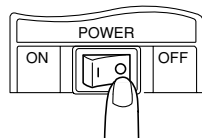
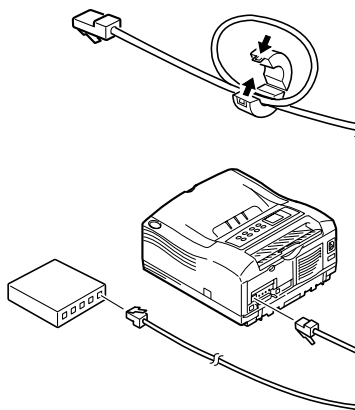
ケーブルを接続します

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル(カテゴリ5、ツイストペアケーブル、ストレート)とハブを別途用意してください。

〈イーサネットケーブル〉

〈ハブ〉

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

3 プリンタをネットワークに接続します。

❶ プリンタ添付のイーサネットケーブル用コアを、イーサネットケーブルのプリンタに差し込むコネクタの口から約15cmの所に左図のように1重の輪を作って取り付けます。

❷ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❸ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

セットアップします

ネットワーク接続のセットアップについて

1 印刷する方法を決めます。

Mac OS X から印刷するためには、EtherTalk を使用する方法、TCP/IP を使用する方法を使用する方法の２種類があります。
まず、どちらを利用するか決めます。

印刷する方法	特　長
EtherTalk（ML22NR PS、ML22N PCL ドライバ）	Mac OS X が標準で持っている機能を使用します。
TCP/IP（PCL ドライバのみ）	沖データ製の TCP/IP を使用します。

2 セットアップの流れ

EtherTalk
（ML22NR PS、ML22N PCL ドライバ）

MacintoshにEther Talkを設定します。

プリンタドライバをインストールします。

ネットワークプリンタを作成します。

「EtherTalkプロトコルを利用します」（141ページ）へ進みます。

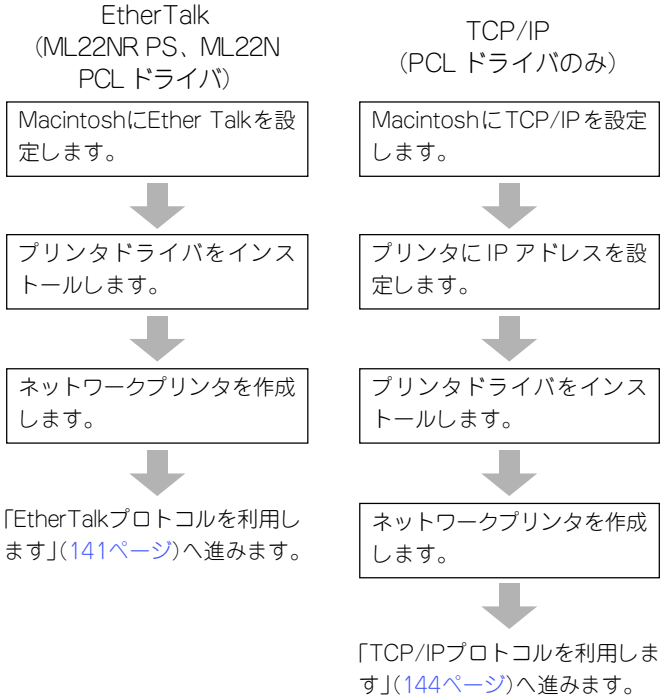
TCP/IP
（PCL ドライバのみ）

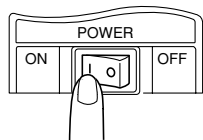
MacintoshにTCP/IPを設定します。

プリンタに IP アドレスを設定します。

プリンタドライバをインストールします。

ネットワークプリンタを作成します。

「TCP/IPプロトコルを利用します」（144ページ）へ進みます。

EtherTalkプロトコルを利用します
（ML22NR PS、ML22N PCLプリンタドライバ）

以下の説明は、Mac OS X 10.1.4を例にしています。

1 プリンタの電源を ON にします。

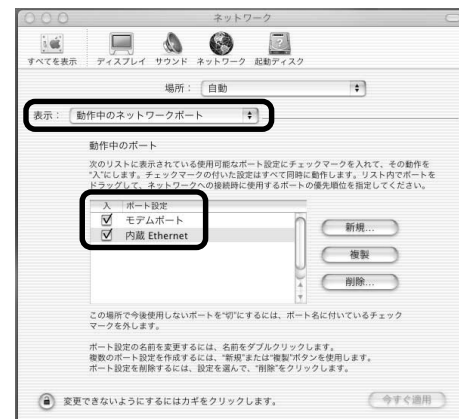
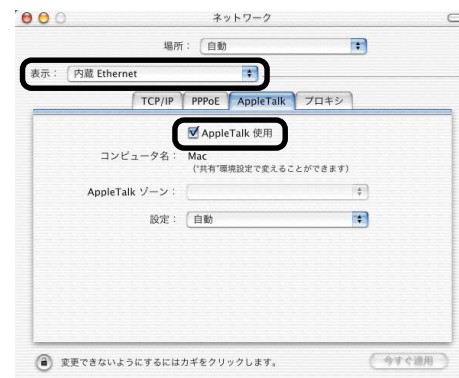
オンライン
シ゛ト゛ウ

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 Macintosh を設定します。

❶ Macintoshを起動します。

❷ [システム環境設定]-[ネットワーク]を選択します。

❸ [表示]-[動作中のネットワークポート]を選択し、[内蔵Ethernet]にチェックがついていることを確認します。

❹ [表示]-[内蔵Ethernet]-[AppleTalk]タブを選択し、[AppleTalk使用]にチェックがついていることを確認します。

3 プリンタドライバをインストールします。

ウィルス防御ソフトウェアはOFFにしてください。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をMacintoshにセットします。

❷ [MICROLINE]アイコンをダブルクリックします。

❸ [Driver]-[PS Emulation]（PCLドライバの場合は[PCL]）フォルダ内の[Installer for Mac OS X]をダブルクリックします。

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

4 プリントセンターで設定をします。

❶ ハードディスクの[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリンタ設定ユーティリティ]（Mac OS X 10.2では[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリントセンター]、Mac OS X 10.1.5以前では[Applications]-[Utilities]フォルダ内の[Print Center]）をダブルクリックします。

❷ [追加]（Mac OS X 10.1.5以前の場合は[プリンタを追加]）をクリックします。

メモ 新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、[追加]をクリックします。

❸[AppleTalk]を選択します。

❹プリンタ名を選択し、[追加]をクリックします。

❺[プリンタリスト]に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、[プリントセンター]を閉じます。

5 設定を確認します。

❶TextEditなどのアプリケーションを起動します。

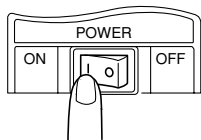
❷[ファイル]-[ページ設定]を開きます。

❸[対象プリンタ](Mac OS X 10.1.5以前では[フォーマット])で追加したプリンタ名を選択します。

❹[対象プリンタ]メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

注 PSプリンタドライバの場合、プリンタドライバがPPDファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、[プリントセンター]でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを追加してください。

TCP/IPプロトコルを利用します（PCLプリンタドライバ）

以下の説明は、Mac OS X 10.1.4を例にしています。

1 プリンタの電源を ON にします。

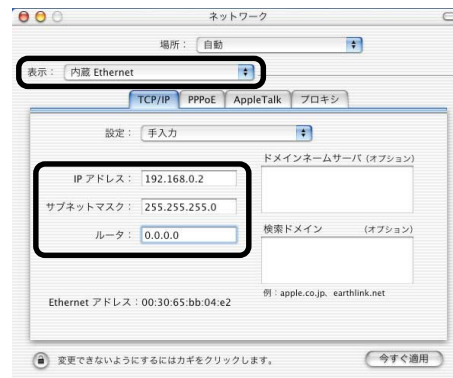
完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 Macintosh を設定します。

❶ Macintoshを起動します。

❷［システム環境設定］-［ネットワーク］を選択します。

❸［表示］-［動作中のネットワークポート］を選択し、［内蔵Ethernet］にチェックがついていることを確認します。

❹［表示］-［内蔵Ethernet］-［TCP/IP］タブを選択し、IPアドレス、サブネットマスク、必要に応じてルータ、ドメインネームサーバを入力し、［今すぐ適用］をクリックします。

メモ DHCPサーバからIPアドレスを自動取得する場合は、設定で［DHCPサーバを参照］を選択します。

8 セットアップします

メモ コンピュータ1台とプリンタ1台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください(「RFC1918」による)。

コンピュータ

IPアドレス	: 192.168.0.1～254のいずれか
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0(使用しません)
DNS	: 使用しません

プリンタ

IPアドレス	: 192.168.0.1～254のいずれか (コンピュータと異なるもの)
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0
DHCP/BOOTPを使用する	: チェックしない
RARPを使用する	: チェックしない
サーバを使用しないアドレス解決	: チェックしない
LAN	: SMALL

- IPアドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたりInternetに接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダに、プリンタに設定できるIPアドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバ(DHCPなど)は、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

3 プリンタにIPアドレス等を設定します。

すでにプリンタにIPアドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順4「プリンタドライバをインストールします」(146ページ)へ進みます。

❶「メニュー」スイッチを数回押し、[NETWORK]を表示します。

❷「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[TCP/IP／ENABLE]を表示します。

[TCP/IP／DISABLE]と表示されている場合、「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを押して[TCP/IP／ENABLE]を表示し、「メニュー選択」スイッチを押し、値の右端に[＊]を付けます。

❸「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを押し、[IP　1/4]を表示します。

❹「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、IPアドレスの1桁目の値を表示します。

❺「メニュー選択」スイッチを押し、値の右端に[＊]を付けます。

以後、❸～❺を繰り返し、[IP　2/4]～[IP　4/4]、[MASK　1/4]～[MASK　4/4]、(サブネットマスク)、[GATE　1/4]～[GATE　4/4]、(ゲートウェイアドレス)を設定します。

❻「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

4 プリンタドライバをインストールします。

注 ウィルス防御ソフトウェアはOFFにしてください。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をMacintoshにセットします。

❷ [MICROLINE]アイコンをダブルクリックします。

❸ [Driver]-[PCL]フォルダ内の[Installer for Mac OS X]をダブルクリックします。

Installer for MacOSX

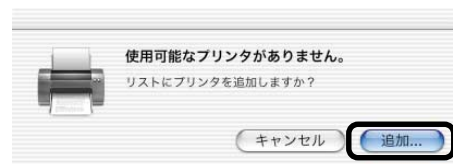
❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

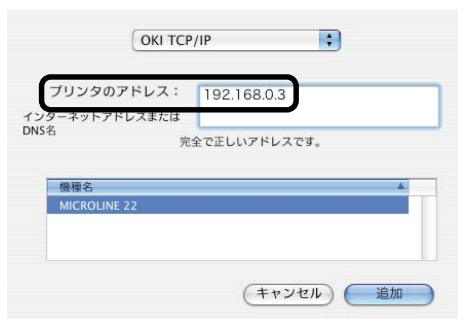
画面に従い、インストールを行ないます。

5 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

❶ ハードディスクの[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリンタ設定ユーティリティ](Mac OS X 10.2では[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリントセンター]、Mac OS X 10.1.5以前では[Applications]-[Utilities]フォルダ内の[Print Center])をダブルクリックします。

❷ [追加](Mac OS X 10.1.5以前の場合は[プリンタを追加])をクリックします。

メモ 新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、[追加]をクリックします。

❸ [OKI TCP/IP]を選択します。

❹ 機種名のリストの中から[MICROLINE 22NR]を選択します。プリンタのIPアドレスを入力し、[追加]をクリックします。

❺ [プリンタリスト]に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、[プリンタ設定ユーティリティ]を閉じます。

6 設定を確認します。

❶ TextEditなどのアプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]-[ページ設定]を開きます。

❸ [対象プリンタ]（Mac OS X 10.1.5以前では[フォーマット]）で追加したプリンタ名を選択します。

❹ [対象プリンタ]メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

プリンタドライバを削除するには

1 プリンタリストからプリンタ名を削除します。

❶ハードディスクの[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリンタ設定ユーティリティ](Mac OS X 10.2では[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリントセンター]、Mac OS X 10.1.5以前では[Applications]-[Utilities]フォルダ内の[Print Center])をダブルクリックします。

❷プリンタ名を選択し、[削除]をクリックします。

❸[プリンタリスト]を閉じます。

2 インストーラで削除（アンインストール）します。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をMacintoshにセットします。

❷[MICROLINE]アイコンをダブルクリックします。

❸[Driver]-[PS Emulation](PCLの場合[PCL])フォルダを開きます。

❹[Installer for Mac OS X]をダブルクリックします。

❺管理者の名前とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

❻起動画面で[続ける]をクリックします。

❼「使用許諾契約」画面で、[同意]をクリックします。

❽「お読みください」画面で、[続ける]をクリックします。

❾◆をクリックし、[アンインストール]を選択します。

❿[アンインストール]をクリックします。

プリンタドライバの削除が行われます。

⓫[終了]をクリックします。

プリンタドライバをアップデートするには

❶ [プリントセンター]-[プリンタリスト]のプリンタ名を削除し、インストーラでプリンタソフトウェアをアンインストールします。詳しくは「プリンタドライバを削除するには」(148ページ)をご覧ください。

❷ プリンタソフトウェアを再インストールします。詳しくは「セットアップします」(140ページ)をご覧ください。

印刷できないときには

最初に確認します

現象

- LINK 100Mランプ(緑)/LINK 10Mランプ(緑)を確認します。100BASE-TX/10BASE-Tで接続している場合にそれぞれ点灯します。点灯していない場合は、ネットワークが正常に動作していない状態です。
- STATUSランプ(橙)を確認します。データを受信しているときに点滅します。「一定間隔(1秒あるいは0.1秒)で点滅」「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。
- ハブのLINKランプが点灯しません。
- Pingに応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- プリンタの電源がONになっていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンタに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類が存在します。ハブとの接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源をONにします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源をONにするとネットワークで接続できないことがあります。

ハブとの相性が原因の場合

ハブとの相性により、通信が安定しない場合があります。

- プリンタの「HUB LINK SETTING」を「10BASE-T HALF」に設定してください。設定方法は以下を参照してください。

❶「メニュー」スイッチを数回押し、[NETWORK MENU]を表示します。

❷「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[HUB LINK SETTING]を表示します。

❸「設定値▲」スイッチまたは「設定値▼」スイッチを数回押し、[10BASE-T HALF]を表示します。

❹「メニュー選択」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

❺「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

- ハブの動作モード(100BASE-TX/10BASE-T、全二重/半二重)を「自動切替」から「10BASE-T HALF」にしてください。(設定方法はハブに付属のマニュアルをご覧ください。)

それでも問題が解決しない場合

- [アップルメニュー]-[システム環境設定]-[インターネットとネットワーク]-[ネットワーク]-[表示]-[ネットワークポート設定]で[内蔵Ethernet]にチェックがついていることを確認します。
- [表示]-[内蔵Ethernet]-[AppleTalk]で[AppleTalk使用]にチェックがついていることを確認します。
- ハードディスクの[アプリケーション]-[ユーティリティ]-[プリンタ設定ユーティリティ](Mac OS X 10.2ではハードディスクの[アプリケーション]-[ユーティリティ]-[プリントセンター]、Mac OS X 10.1.5以前では[Applications]-[Utilities]-[Print Center])で、[追加]をクリックし、[AppleTalk]を選択したときに[MICROLINE 22NR]が表示されるか確認します。

9 USB 接続で Mac OS X にセットアップします

動作環境

Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

PCLプリンタドライバの動作環境

Mac OS X10.1.2〜10.3.2日本語版が動作するMacintoshでUSBインタフェースを搭載している機種

- 日本語以外のOSには対応していません。
- ハーフトーン調整機能は使用できません。
- Mac OS X 10.1.2〜10.2.2では、カスタム用紙はサポートされません。
- OCFやCIDビットマップフォントは使用することができません。
- Mac OS Xのアプリケーションで表示される、細明朝体(SaiMincho)、中ゴシック(ChuGothic)はビットマップで印刷されます。
- MicrolinePS UtilityはMac OS Xでは動作しません。
- Mac OS X 10.0〜10.1.1では、USBインタフェースでの接続はできません。
- Classic環境が動作しているときは、Mac OS Xからの印刷ができません。Classic環境を終了させてから印刷してください。

USBインタフェースケーブルは、USB2.0仕様で長さ2m以内のものをお使いください。

PCLプリンタドライバの動作環境

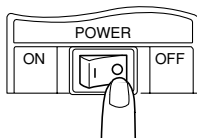
Mac OS X10.1〜10.3.2日本語版が動作するMacintoshでUSBインタフェースを搭載している機種

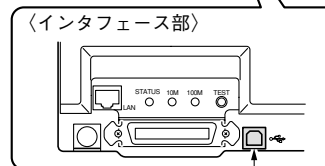
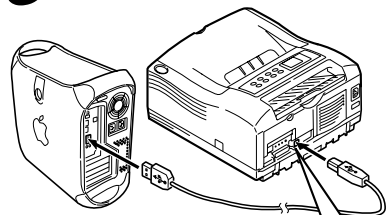
- 日本語以外のOSには対応していません。
- Mac OS X 10.2.3以前では、カスタム用紙はサポートされません。
- Mac OS用のプリンタドライバでサポートされている、次の機能は使用できません。
  - A3→A4用紙、B4→A4用紙
  - 往復はがき、封筒1、封筒2、封筒3の回転印刷
  - 用紙設定ダイアログのオプションパネルの設定
  - レイアウトパネルのとじ代、とじ位置の設定
  - フリーサイズの登録
  - ウォーターマーク
- Classic環境が動作しているときは、Mac OS Xからの印刷ができません。Classic環境を終了させてから印刷してください。
- Mac OS X 10.1.5以前の環境にプリンタドライバをインストールしていて、Mac OS X 10.2以上にアップデートした場合は、プリンタドライバを再インストールしてください。

USBインタフェースケーブルは、USB2.0仕様で長さ2m以内のものをお使いください。

ケーブルを接続します

1 USB ケーブルを準備します。

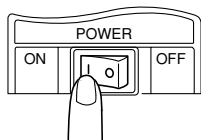
注 USBケーブルは添付されていません。USB2.0仕様のUSBケーブルを別途用意してください。

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

3 USB ケーブルを接続します。

❶USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

注 USBケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

❷USBケーブルをMacintoshのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

セットアップします（ML22NR PSプリンタドライバ）

1 プリンタの電源を ON にします。

オンライン
シ゛ト゛ウ

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 プリンタの操作パネルで［USB PS プロトコル］を［ASCII］にします。

・Mac OS Xで使用する場合は、必ず設定してください。設定しないと正常に印刷できないことがあります。
・MacOS 9で使用する場合は、設定を[RAW]に戻してください。

❶「メニュー」スイッチを数回押し、[システム　コウセイ　メニュー]を表示します。

❷「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[USB　モード]を表示します。

❸「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、[ASCII]を表示します。

❹「メニュー選択」スイッチを押し、値の右端に[＊]を付けます。

❺「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

❻プリンタの電源をOFF/ONします。

3 Macintosh を起動します。

4 プリンタドライバをインストールします。

ウィルス防御ソフトウェアはOFFにしてください。

メモ　プリンタドライバはMac OS X付属のPostScriptプリンタドライバを使用します。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をMacintoshにセットします。

❷[MICROLINE]アイコンをダブルクリックします。

❸[Driver]-[PS Emulation]フォルダ内の[Installer for Mac OS X]をダブルクリックします。

Installer for MacOSX

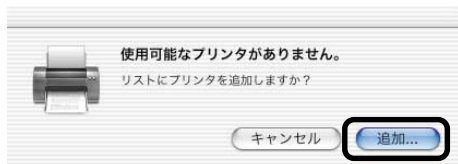
❹管理者の名前とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

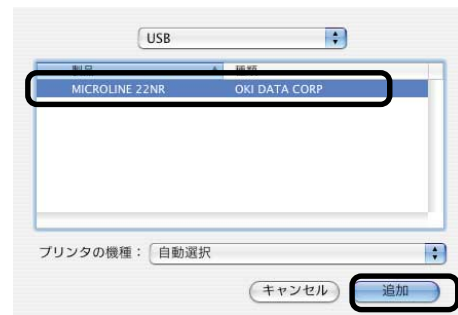
5 プリントセンターで設定をします。

❶ハードディスクの[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリンタ設定ユーティリティ](Mac OS X 10.2では[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリントセンター]、Mac OS X 10.1.5以前では[Applications]-[Utilities]フォルダ内の[Print Center])をダブルクリックします。

❷[追加](Mac OS X 10.1.5以前の場合は[プリンタを追加])をクリックします。

メモ 新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、[追加]をクリックします。

注 インストールしようとしているプリンタの名前がすでに表示されている場合は、プリンタ名を選択して[削除]をクリックします。

❸[USB]を選択します。

❹[種類]に[PostScript printer]と表示されているプリンタ名を選択し(Mac OS X 10.2以降の場合、[プリンタの機種]で[Oki]を選択し、機種名のリストから使用するプリンタ名を選択します)、[追加]をクリックします。

❺[プリンタリスト]に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、[プリントセンター]を閉じます。

6 設定を確認します。

❶ TextEditなどのアプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]-[ページ設定]を開きます。

❸ [対象プリンタ](Mac OS X 10.1.5以前では[フォーマット])で追加したプリンタ名を選択します。

❹ [対象プリンタ]メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

注 プリンタ名が正しく表示されない場合は、[プリントセンター]でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを追加してください。

セットアップします(ML22NR PCL/ML22Nプリンタドライバ)

1 プリンタの電源を ON にします。

オンライン
シ゛ト゛ウ

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 Macintosh を起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

ウィルス防御ソフトウェアはOFFにしてください。

プリンタドライバはMac OS X付属のPostScriptプリンタドライバを使用します。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をMacintoshにセットします。

❷ [MICROLINE]アイコンをダブルクリックします。

❸ [Driver]-[PCL]フォルダ内の[Installer for Mac OS X]をダブルクリックします。

Installer for MacOSX

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

4 プリントセンターで設定をします。

❶ハードディスクの[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリンタ設定ユーティリティ](Mac OS X 10.2では[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリントセンター]、Mac OS X 10.1.5以前では[Applications]-[Utilities]フォルダ内の[Print Center])をダブルクリックします。

❷[追加](Mac OS X 10.1.5以前の場合は[プリンタを追加])をクリックします。

メモ 新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、[追加]をクリックします。

注 インストールしようとしているプリンタの名前がすでに表示されている場合は、プリンタ名を選択して[削除]をクリックします。

❸[OKI USB]を選択します。(Mac OS X 10.1.5以前の場合、[USB]を選択します。)

❹[種類]に[Okidata USB Printer]と表示されているプリンタ名を選択し[追加]をクリックします。

❺[プリンタリスト]に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、[プリントセンター]を閉じます。

プリンタドライバを削除するには

1 プリンタリストからプリンタ名を削除します。

❶ハードディスクの[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリンタ設定ユーティリティ]（Mac OS X 10.2では[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリントセンタ]、Mac OS X 10.1.5以前では[Applications]-[Utilities]フォルダ内の[Print Center]）をダブルクリックします。

❷プリンタ名を選択し、[削除]をクリックします。

❸[プリンタリスト]を閉じます。

2 インストーラで削除（アンインストール）します。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をMacintoshにセットします。

❷[MICROLINE]アイコンをダブルクリックします。

❸[Driver]-[PCL]フォルダを開きます。

❹[Installer for Mac OS X]をダブルクリックします。

❺管理者の名前とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

❻起動画面で[続ける]をクリックします。

❼「使用許諾契約」画面で、[同意]をクリックします。

❽「お読みください」画面で、[続ける]をクリックします。

❾◆をクリックし、[アンインストール]を選択します。

❿[アンインストール]をクリックします。

プリンタドライバの削除が行われます。

⓫[終了]をクリックします。

プリンタドライバをアップデートするには

❶ [プリントセンター]-[プリンタリスト]のプリンタ名を削除し、インストーラでプリンタソフトウェアをアンインストールします。詳しくは「プリンタドライバを削除するには」(159ページ)をご覧ください。

❷ プリンタソフトウェアを再インストールします。詳しくは「セットアップします」(154ページ)をご覧ください。

USB接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
インタフェースが無効になっています。	プリンタのメニュー設定で[USB]を[ユウコウ]にしてください。（35ページ）
MacOSのバージョンが対応していません。	PSプリンタドライバでUSB接続できるのはMac OS X 10.1.2以降です。それ以前のMacOSにはネットワーク経由で接続してください。（137ページ）
USBケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USBケーブルを短時間で抜き差ししています。	USBケーブルを抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
USBケーブルが外れています。	USBケーブルを差し込んでください。
USBケーブルに問題があります。	予備のUSBケーブルがあれば取り替えてみてください。
USBハブを使用しています。	プリンタとMacintoshを直接接続してみてください。
セットアップを中断しました。	もう一度初めからセットアップしてください。（151ページ）

現　象	対処方法
プリンタの電源スイッチがOFFになっています。	プリンタの電源をONにしてください。
デスクトッププリンタアイコンに手のマークがついています。	Macintoshのプリンタメニューの[プリントキューの開始]を選択してください。
プリンタドライバが正しくインストールされていません。	プリンタドライバを再インストールしてください。（151ページ）
[オフライン]になっています。	「オンライン」を押して、[オンライン]にしてください。

10 印刷します

使用できる用紙

高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

用紙の種類、サイズ、厚さについて

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法や排出方法に制限があったり、操作パネルやプリンタドライバで設定する内容が異なります。詳しくは「給紙方法と排出方法を決めます」(169ページ)をご覧ください。

種類	サイズ 単位：mm(インチ)		厚さ
普通紙	A4	210×297	連量55～90kg(64～105g/m²) 用紙カセットからの給紙は連量55～75kg(64～88g/m²)
	A5	148×210	
	A6	105×148	
	B5	182×257	
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
	リーガル(13インチ)	215.9×330.2(8.5×13)	
	リーガル(14インチ)	215.9×355.6(8.5×14)	
	エグゼクティブ	184.15×266.7(7.25×10.5)	
	フリー *1*2	幅 90～215.9 長さ148～355.6	
はがき	はがき	100×148	官製はがき
	往復はがき	148×200	
封筒	封筒1(長形3号)	120×235	85g/m²の紙を使用したもので、長形封筒はフラップ部が折れていないもの、洋形封筒はフラップ部がきちんと折れているもの
	封筒2(長形4号)	90×205	
	封筒3(洋形4号)	105×235	
	Com-9	98.4×225.4(3.875×8.875)	24lbの紙を使用したもので、フラップ部がきちんと折れているもの
	Com-10	104.78×241.3(4.125×9.5)	
	DL	110×220(4.33×8.66)	
	C5	162×229(6.4×9)	
	Monarch	98.4×190.5(3.875×7.5)	
	フリー*2	幅 90～215.9 長さ148～355.6	
ラベル紙	A4	210×297	0.1～0.15mm
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
OHPシート	A4	210×297	0.1～0.11mm
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
部分印刷用紙	ー	ー	連量55～90kg(64～105g/m²) 用紙カセットからの給紙は連量55～75kg(64～88g/m²)
カラー用紙	ー	ー	連量55～90kg(64～105g/m²) 用紙カセットからの給紙は連量55～75kg(64～88g/m²)

*1：トレイ2は、幅148～215.9、長さ210～355.6です。
*2：マルチパーパスフィーダは、長さ148～297です。

普通紙

次の条件に合った用紙を使用してください。

- 推奨紙：MLPAPER
- 用紙の厚さが連量55～90kg(64～105g/m^2)の用紙
- 電子写真プリンタ用紙(トナーを用いるプリンタで使用する用紙です)
- 電子写真コピー用紙(トナーを用いる一般の複写機などで使用する用紙です)
- 電子写真プリンタ再生紙(トナーを用いるプリンタで使用する再生紙です)
  推奨再生紙
  銘柄名 ：やしまR100(丸住製紙製)
  REFOREST 100(日本製紙製)
  再生紙では、用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。再生紙には、印刷品質を低下させる添加物が含まれているものもあります。必ず電子写真プリンタ再生紙であることを確認の上、使用してください。
- 連量76～90kg(89～105g/m^2)の用紙について
  - 用紙カセットから給紙できません。手差しまたはマルチパーパスフィーダ(オプション)から給紙してください。
  - 印刷面を上に向けて(フェイスアップ)排出してください。
  - 用紙の厚さの設定は｢厚い紙｣または｢より厚い紙｣に設定してください。用紙の厚さの設定をしないと、印刷品質が低下することがあります。
  - 用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。
  - トナーの定着が低下することがあります。
  - 必ず試し印刷をして、支障がないことを確認してください。

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑(すべすべ)すぎる用紙や、粗い(ザラ紙、繊維質)用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙(用紙走行方向に対し縦目の用紙を使用してください。)

  《横目/縦目の見分け方》
  紙片を切り取り水に浮かべたときのカール方向で判別できます。

- 濡れている(湿っている)用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 表面に、絹目加工(シボ)、浮き出し加工(エンボス)、コーティング加工をした用紙(コート紙)
- 表面に、のり・薬品などで特殊加工、耐熱性(210℃)の無い特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸や、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙や、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、湿式PPC用紙、複写紙、和紙など
- 種類の異なる用紙を継ぎ合わせて作った紙
- 用紙の厚さが上下左右で一定ではない用紙
- 包装紙ののりなど粘着物の付着した用紙

- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。

はがき

次の条件に合ったはがきを使用してください。

- 官製はがき、および折っていない官製往復はがき

以下のはがきは使用しないでください。

- インクジェット用官製はがき
- 2mm以上反りがあるはがき
- 切手の貼ってあるはがき
- 写真加工してあるはがき

- 印刷後は反りが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 必ず手差しまたはマルチパーパスフィーダで給紙し、フェイスアップで排出してください。

封筒

次の条件に合った封筒を使用してください。

- クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式PPC用紙で作られた封筒
- 長形封筒は坪量85g/m^{2}の紙でフラップ部が折れていない封筒
- 洋形封筒は坪量85g/m^{2}の紙でフラップ部がきちんと折れている封筒
- Com-9、Com-10、Monarch、C5、DLは、24lbの紙でフラップ部がきちんと折れている封筒

以下の封筒は使用しないでください。

- 厚すぎる封筒やプラスチックでできた封筒
- 内袋のある二重封筒
- とめ金、ボタン、窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤、両面テープのついた封筒
- シワや反りのある封筒
- 切手の貼ってある封筒
- 表面に絹目加工(シボ)や浮き出し加工(エンボス)のある封筒
- 接着部に粘着剤がはみ出している封筒

- 印刷後は反りやシワが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 封筒の貼り合わせ部分(厚さに段差のある部分)のまわり約5mmは印刷品位が低下することがあります。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

ラベル紙

次の条件に合ったラベル紙を使用してください。

- 推奨紙:LBP-A693(コクヨ製)
- 用紙サイズはA4、レターのみ
- 表面紙、粘着剤、台紙が熱で変質しない、電子写真プリンタ用または乾式PPC用のラベル紙
- プリンタの熱定着工程で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 用紙の走行で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 表面紙と台紙を合せた用紙の厚さが0.1～0.15mmのラベル紙
- 表面紙が台紙全体をおおい、粘着剤がはみ出していないラベル紙

- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 必ず手差しまたはマルチパーパスフィーダで給紙し、フェイスアップで排出してください。

OHPシート

次の条件に合ったOHPシートを使用してください。

- 推奨紙 ： CG3720（3M製）
- 用紙サイズはA4、レターのみ
- 電子写真プリンタ用または乾式PPC用に作られたOHPシート
- プリンタの熱定着工程で、融けたり、変質したり、反りが起きないOHPシート
- 用紙の厚さが0.1～0.11mmのOHPシート

・推奨紙以外のカラーPPC用またはカラーレーザプリンタ用OHPシートは使用できません。
・印刷後はうねりが発生することがあります。
・用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・トナーの定着が低下することがあります。
・表面に滑りやすいコーティングをしたOHPシートは滑って吸入できないことがあります。
・OHPシートは透明なプラスチックでできているため、印刷品質が低下することがあります。
・必ず手差しまたはマルチパーパスフィーダで給紙し、フェイスアップで排出してください。

部分印刷用紙

次の条件に合った部分印刷用紙を使用してください。

- 部分印刷に使用したインクが耐熱性で230℃に耐えるもの

印刷枠を設ける場合、以下の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
書き出し位置精度：±2mm、用紙の斜行：±1mm/100mm、画像伸縮：±1mm/100mm（連量55kg（64g/m²）の場合）

カラー用紙

次の条件に合ったカラー用紙を使用してください。

- 用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で230℃に耐えるもの
- 用紙特性が白色紙と同じで、電子写真プリンタ用の用紙

用紙の保管方法

用紙の保管が悪いと、湿気を吸収したり、変色、反りが発生します。このような用紙で印刷すると印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えますので注意が必要です。また実際にお使いになるまで包装紙は開けないでください。

次のような場所に保管してください

- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度20℃、湿度50%RHの環境

次のような場所はさけてください

- 床の上に直接置く
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

長期間放置した用紙を使用した場合、正常に印刷できないことがあります。

給紙方法と排出方法を決めます

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法と排出方法が異なります。次の手順で全ての条件を満足する方法を確認してください。
用紙の仕様については、「使用できる用紙について」(164ページ)をご覧ください。

1 用紙の種類、厚さ、サイズから給紙方法と排出方法を確認します。

○：使用できます
×：使用できません

種　類	サイズ	厚さ	給紙方法				排出方法	
			用紙カセット*1		マルチパーパスフィーダ*2	テサシ(手差し)	フェイスアップ(表排出)	フェイスダウン(裏排出)
			トレイ1	トレイ2 *2(拡張給紙ユニット)				
普通紙	A4 A5 B5 レター エグゼクティブ	連量55〜75kg	○	○	○	○	○	○*7
		連量76〜90kg	×	×	○	○	○	×
	リーガル(13インチ)	連量55〜75kg	○	○	×	○	○	○*6
	リーガル(14インチ)	連量76〜90kg	×	×	×	○	○	×
	A6 *7	連量55〜75kg	○	×	○	○	○	×
		連量76〜90kg	×	×	○	○	○	×
	カスタム 幅90〜215.9mm 長さ148〜355.6mm	連量55〜75kg	○	○ *3	○ *5	○	○	○*4*6
		連量76〜90kg	×	×	○ *5	○	○	×
はがき *7	はがき 往復はがき	—	×	×	○	○	○	×

種　類	サイズ	厚さ	給紙方法				排出方法	
			用紙カセット*1		マルチパーパスフィーダ*2	テサシ(手差し)	フェイスアップ(表排出)	フェイスダウン(裏排出)
			トレイ1	トレイ2 *2(拡張給紙ユニット)				
封筒 *7	封筒1(長形3号) 封筒2(長形4号) 封筒3(洋形4号) Com-9 Com-10 DL C5 Monarch	—	×	×	○	○	○	×
	カスタム 幅90〜215.9mm 長さ148〜355.6mm	—	○	○	○ *5	○	○	×
ラベル紙	A4 レター	—	×	×	○	○	○	×
OHPシート	A4 レター	—	×	×	○	○	○	×

*1：上から順にトレイ1、トレイ2となります。
*2：トレイ2、マルチパーパスフィーダはオプションです。
*3：トレイ2は幅148〜215.9mm、長さ210〜355.6mmです。
*4：A5よりも小さい用紙(長さ210mm未満)はフェイスアップで排出してください。
*5：マルチパーパスフィーダは長さ148〜297mmです。
*6：薄手の用紙で紙づまりが発生する場合は、フェイスアップで排出してください。
*7：はがき、封筒の用紙サイズを設定した場合、A6で用紙厚をより厚い紙に設定した場合は、印刷速度が遅くなります。

用紙厚（ウエイト）を設定します

プリンタの操作パネルで用紙厚（ウエイト）を設定します。

- 用紙厚（ウエイト）を適切な値に設定しないと印刷品質が低下したり、定着器ユニットを傷めるおそれがあります。
- 用紙の種類と厚さにより、設定が必要な項目や設定値が異なります。

1 用紙の種類と厚さから、用紙厚（ウエイト）の設定値を確認します。

種　類	厚　さ	用紙厚の設定値 *1	
		操作パネル	プリンタドライバ
普通紙	連量55kg (64g/m²)	ウスイカミ *2	薄い紙 *2
	連量55～64kg (64～74g/m²)	フツウシ	普通紙
	連量65～75kg (75～87g/m²)	ヤヤアツイカミ	やや厚い紙
	連量76～89kg (88～104g/m²)	アツイカミ	厚い紙
	連量90kg (105g/m²)	ヨリアツイカミ	より厚い紙
はがき	—	ヨリアツイカミ	より厚い紙
封筒	—	ヨリアツイカミ	より厚い紙
ラベル紙	—	—	ラベル紙
OHPシート	—	—	OHPシート

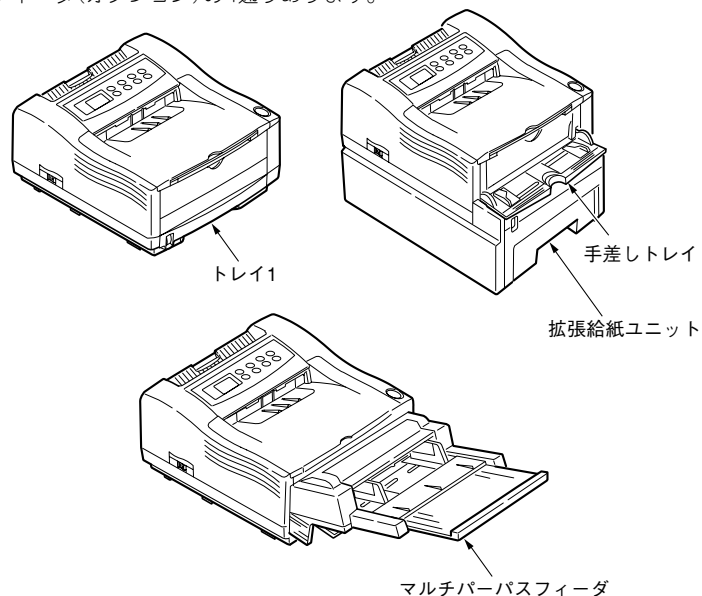
*1： 用紙厚は操作パネルとプリンタドライバの[用紙厚]で設定することができます。プリンタドライバで設定した場合は、プリンタドライバ設定が優先されます。Windowsプリンタドライバ、Macintosh PSプリンタドライバ、Mac OS X PSプリンタドライバの[用紙厚]で[プリンタ設定]が選択されている場合は、操作パネルの設定で印刷します。また、Windows PCLプリンタドライバの[給紙方法]で[自動選択]が選択されている場合も、操作パネルの設定で印刷します。

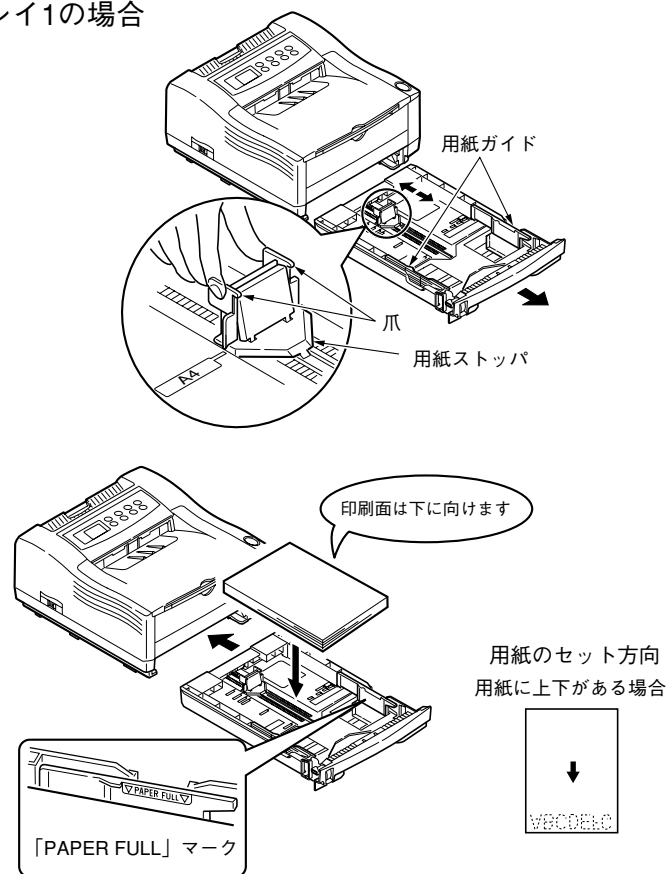
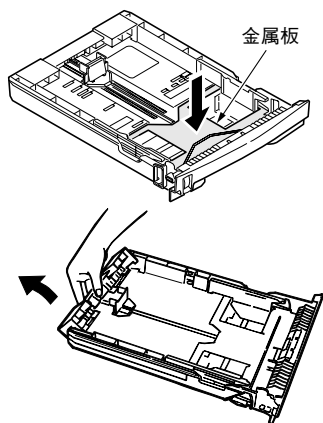
*2： 普通紙でシワがでるときに設定します。

印刷します

普通紙(A6はトレイ1のみ)は用紙カセットから印刷します。はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートは印刷できません。
用紙カセットは、トレイと呼ぶ場合があります。
トレイ1、拡張給紙ユニット(オプション)、マルチパーパスフィーダ(オプション)とも同じ操作になります。

はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートは手差しトレイやマルチパーパスフィーダから印刷します。普通紙も印刷できます。
コンピュータから印刷を実行した後にプリンタに用紙をセットし、1枚ずつ確認してから「オンライン」スイッチを押して印刷をします。

給紙方法は、トレイ1、手差しトレイ、拡張給紙ユニット(オプション)、マルチパーパスフィーダ(オプション)の4通りあります。

1 用紙をセットします。

トレイ1の場合

用紙の下の金属板が上がっている場合、カチッとロックするまで押し下げてからプリンタに挿入してください。金属板が上がったまま挿入すると故障の原因になります。

メモ
リーガル（13インチ），リーガル（14インチ）を使用するときは用紙カセット後部を広げます。
閉じるときは、用紙カセット後部の側面を軽く押して中に倒します。

手差しトレイの場合

用紙のセット方向

はがき

往復はがき

封筒1, 2, フリー

封筒3

Com-9, Com-10, DL, C5, Monarch

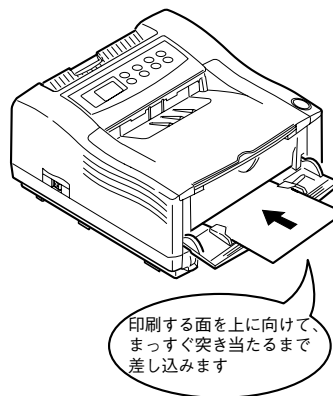
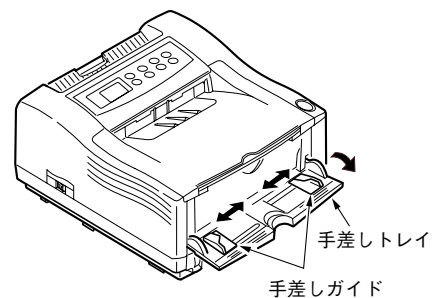
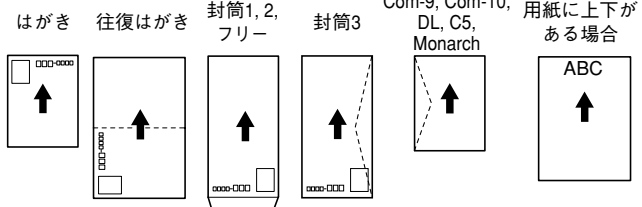
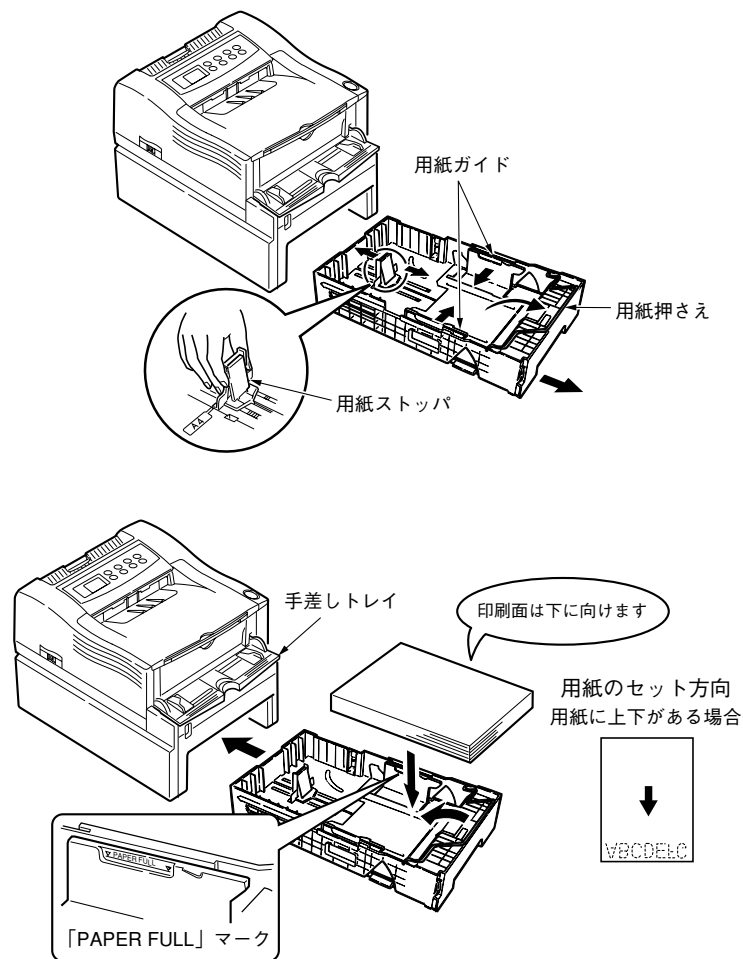
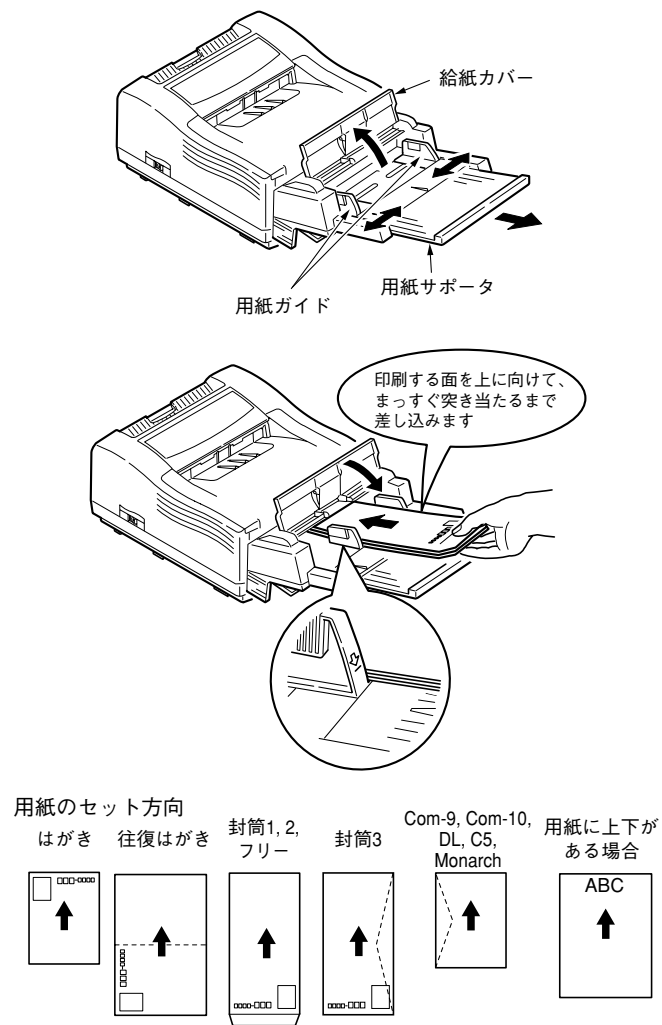
用紙に上下がある場合

拡張給紙ユニットの場合

用紙ガイド
用紙押さえ
用紙ストッパ

手差しトレイ
印刷面は下に向けます
用紙のセット方向
用紙に上下がある場合
ABCDEFG
「PAPER FULL」マーク

マルチパーパスフィーダの場合

10

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。(用紙にシワが発生することがあります。)
- 用紙ガイドと用紙ストッパは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットしてください。(連量55kg紙で250枚)(トレイ2(オプション)では500枚、マルチパーパストレイでは100枚)
- 用紙は縦送りでセットしてください。
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- 用紙カセットを差し込むときはあまり勢いよく押さないでください。
- 印刷中の用紙カセットやトレイ2(オプション)からの印刷時のトレイ1の用紙カセットは引き出さないでください。
- 一度印刷した用紙で、裏面印刷はしないでください。
- 用紙カセットでは、はがき、封筒を使用できません。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは2mm以内に修正してください。(マルチパーパストレイ)
- 封筒は縦送りでセットしてください。(マルチパーパストレイ)
- 封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。
- マルチパーパストレイの上に印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。

2 操作パネルで用紙サイズを設定します。

プリンタ出荷時にはトレイ1、手差しトレイ、拡張給紙ユニット(オプション)、マルチパーパスフィーダ(オプション)の用紙サイズが[A4]で設定されています。A4以外の用紙で印刷する場合には、下記の手順に従ってユーザメニューの用紙サイズを変更する必要があります。

用紙サイズは、Webページからも設定できます。詳しくは、「1 Windowsソフトウェア」の「Webブラウザ」(応用編)をご覧ください。

ここでは、トレイ1でB5用紙に印刷するときの設定手順([トレイ1 ヨウシサイズ]を[B5]に設定します)を説明します。

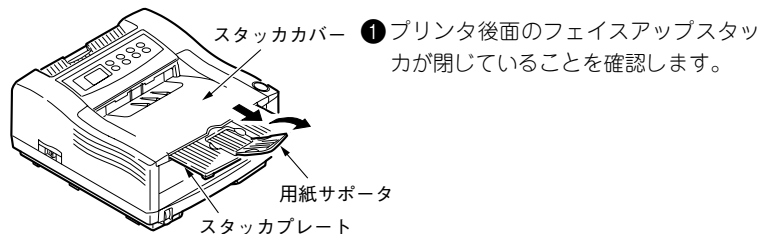
1. 「メニュー」スイッチを数回押し、[メディア/メニュー]を表示します。
2. 「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[T1 サイズ]を表示します。
3. 「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、[B5 サイズ]を表示します。
4. 「メニュー選択」スイッチを押し、設定値の右側に[*]を付けます。
5. 「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[T1 ウエイト]を表示します。
6. 「設定値▲」または「設定値▼」スイッチを押し、[フツウシ]を表示します。
7. 「メニュー選択」スイッチを押し、設定値の右側に[*]を付けます。
8. 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

- 「T1 ウエイト」の設定は、プリンタドライバの[用紙厚]でも設定することができます。プリンタドライバで設定した場合は、プリンタドライバの設定が優先されます。
- Macintosh PSプリンタドライバでは、用紙サイズはMicrolinePS Utilityからも設定できます。

3 用紙の排出先をセットします。

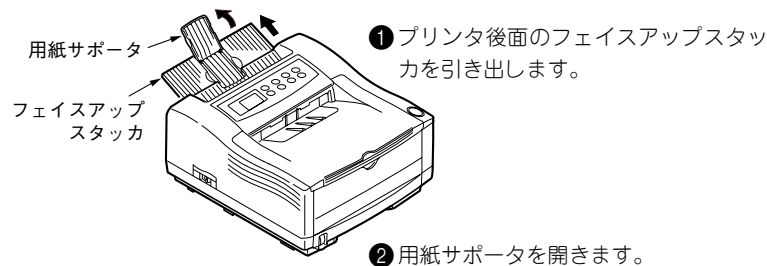
フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はトップカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量55kg紙で約150枚をためることができます。

❶プリンタ後面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量55kg紙で約50枚ためることができます。

❶プリンタ後面のフェイスアップスタッカを引き出します。

❷用紙サポータを開きます。

注 印刷中にフェイスアップスタッカを出し入れしないでください。紙づまりの原因になります。

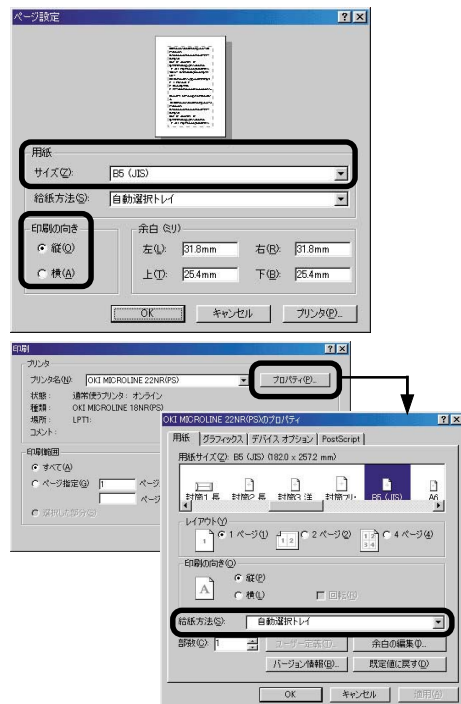
4 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

- Windowsでは［ワードパッド］、Macintoshでは［SimpleText］、Mac OS Xでは［TextEdit］を使い、トレイ1でB5サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
- プリンタドライバの［用紙厚］ではメディアウエイト、メディアタイプと同等の設定をすることができます。［用紙厚］の初期値の［プリンタ設定］では、プリンタの操作パネルで設定した値で印刷されますので、通常は設定する必要はありません。
  プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は、「いろいろな印刷について」の「プリンタドライバの初期設定を変更したい」（応用編）をご覧ください。
- Windows PCLプリンタドライバの画面や説明はWindowsXP Home Editionを例にしています。

メモ ［給紙方法］で［自動選択トレイ］を選択すると、指定した用紙が入っているトレイを自動的に選択します。（Macintosh PCLプリンタドライバ、Mac OS X PCLプリンタドライバでは使用できません。）詳しくは、「トレイを自動的に選択したい」（応用編）をご覧ください。

ML22NR WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバの場合

❶ [ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

❷ [サイズ]で[B5]、[印刷の向き]で[縦]または[横]を選択し、[OK]をクリックします。

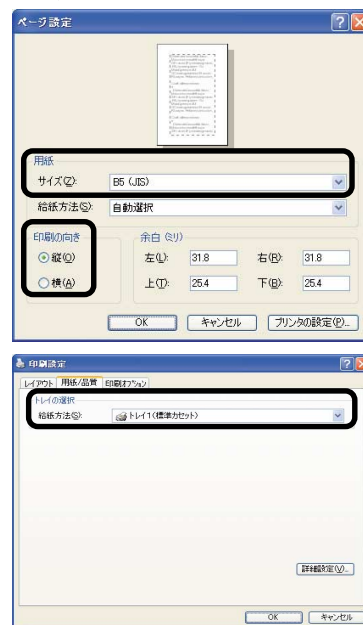
❸ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❹ [プロパティ]をクリックし、[用紙]タブの[給紙方法]で[トレイ1(標準カセット)]を選択し、[OK]をクリックします。

❺ [デバイスオプション]タブの[プリンタの機能]で[用紙厚]を選択し、[設定の変更]で[プリンタ設定]を選択し、[OK]をクリックします。

メモ　プリンタの操作パネルの[T1　ウエイト]の設定が[フツウシ]でない場合は、[普通紙]を選択します。

❻「印刷」画面で[OK]をクリックし、印刷します。

ML22NR WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバの場合

❶ [ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

❷ [サイズ]で[B5]、[印刷の向き]で[縦]または[横]を選択し、[OK]をクリックします。

❸ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❹ [詳細設定]をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

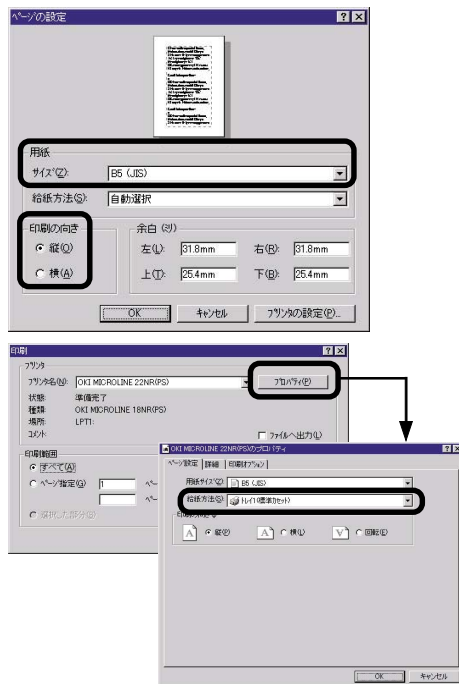
❺ [用紙/品質]タブの[給紙方法]で[トレイ1(標準カセット)]を選択します。

❻ [詳細設定]をクリックし、[用紙厚]で[プリンタ設定]を選択し、[OK]をクリックします。

メモ　プリンタの操作パネルの[T1　ウエイト]の設定が[フツウシ]でない場合は、[普通紙]を選択します。

❼ [OK]をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❽「印刷」画面で[印刷]をクリックし、印刷します。

ML22NR WindowsNT4.0 PSプリンタドライバの場合

❶ [ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

❷ [サイズ]で[B5]、[印刷の向き]で[縦]または[横]を選択し、[OK]をクリックします。

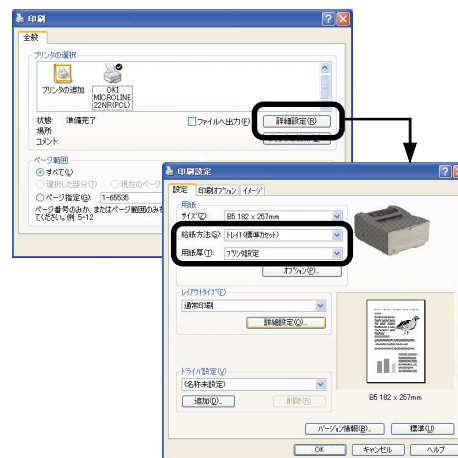
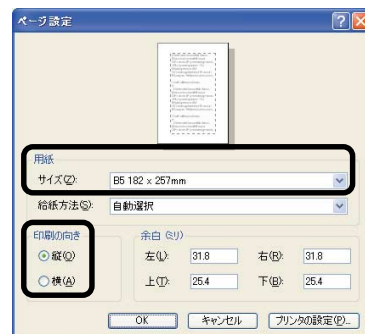
❸ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❹ [プロパティ]をクリックし、[ページ設定]タブの[給紙方法]で[トレイ1(標準カセット)]を選択します。

❺ [詳細]タブの[ドキュメントのオプション]-[プリンタの機能]-[用紙厚]で[プリンタ設定]を選択し、[OK]をクリックします。

メモ　プリンタの操作パネルの[T1　ウエイト]の設定が[フツウシ]でない場合は、[普通紙]を選択します。

❻「印刷」画面で[OK]をクリックし、印刷します。

ML22NR Windows PCLプリンタドライバおよびML22N Windowsプリンタドライバの場合

❶ [ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

❷ [サイズ]で[B5]、[印刷の向き]で[縦]または[横]を選択し、[OK]をクリックします。

❸ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❹ [プロパティ](WindowsXP/Server2003では[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

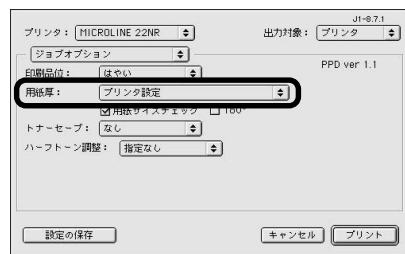
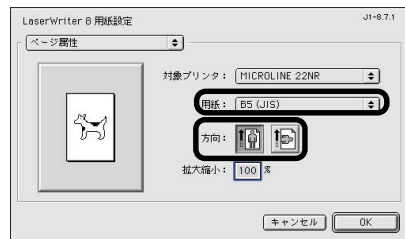
❺ [設定]タブの[給紙方法]で[トレイ1(標準カセット)]を選択します。

❻ [用紙厚]で[プリンタ設定]を選択します。

メモ　プリンタの操作パネルの[T1　ウエイト]の設定が[フツウシ]でない場合は、[普通紙]を選択します。

❼ [OK]をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❽「印刷」画面で[OK]または[印刷]をクリックし、印刷します。

ML22NR Macintosh PSプリンタドライバの場合

❶ [ファイル]メニューの[用紙設定]を選択します。

❷ [用紙]で[B5]、[方向]で適切な方向を選択し、[OK]をクリックします。

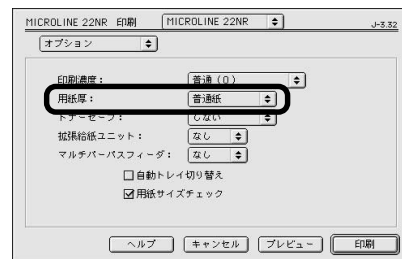
❸ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❹ [給紙元]で[トレイ1(標準カセット)]を選択します。

❺ [ジョブオプション]パネルの[用紙厚]で[プリンタ設定]を選択します。

> **メモ** プリンタの操作パネルの[T1 ウエイト]の設定が[フツウシ]でない場合は、[普通紙]を選択します。

❻ [プリント]をクリックし、印刷します。

ML22NR Macintosh PCLプリンタドライバおよびNL22N Macintoshプリンタドライバの場合

❶ [ファイル]メニューの[用紙設定]を選択します。

❷ [用紙]で[B5]、[方向]で適切な方向を選択し、[OK]をクリックします。

❸ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❹ [給紙元]で[トレイ1(標準カセット)]を選択します。

❺ [オプション]パネルの[用紙厚]で[普通紙]を選択します。

❻ [印刷]をクリックし、印刷します。

ML22NR Mac OS X PSプリンタドライバの場合

❶[ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

❷[用紙サイズ]で[B5]、[方向]で適切な方向を選択し、[OK]をクリックします。

❸[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

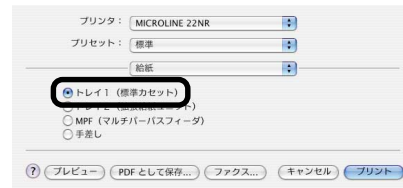
❹[給紙]パネルの[給紙元]で[トレイ1(標準カセット)]を選択します。

❺[プリンタの機能]パネルで[給紙オプション]機能セットを選択し、[用紙厚]で[プリンタ設定]を選択します。

Mac OS X 10.0～10.0.4では、[用紙厚]の設定はできません。

メモ　プリンタの操作パネルの[T1　ウエイト]の設定が[フツウシ]でない場合は、[普通紙]を選択します。

❻[プリント]をクリックし、印刷します。

ML22NR Mac OS X PCLプリンタドライバおよびNL22N Mac OS Xプリンタドライバの場合

❶[ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

❷[用紙サイズ]で[B5]、[方向]で適切な方向を選択し、[OK]をクリックします。

❸[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❹[給紙]パネルで[トレイ1(標準カセット)]を選択します。

❺[プリンタオプション]パネルの[用紙厚]で[普通紙]を選択します。

❻[プリント]をクリックし、印刷します。

11 プリンタの設定項目について

現在の設定を確認します（メニューマップ印刷）

- ユーザメニューの設定とネットワークの設定情報のみ印刷されます。アドミニストレータメニューの設定は印刷されません。
- プリントジョブアカウンティング（オプション）で[ローカルプリント]が[印刷不可]に設定されている場合には印刷できません。

❶ 用紙カセットにA4用紙をセットします。

注 A4用紙以外で印刷を行うと、全ての内容が印刷されないことがあります。

❷「メニュー」スイッチを押し、[インフォ／メニュー]を表示します。

❸「設定項目▲」スイッチを押し、[メニューマップ／インサツ]を表示します。

❹「メニュー選択」スイッチを押します。

メニュー印刷が開始されます。

（サンプル）

MenuMap　MICROLINE 22NR

Printer Serial Number: Printer Asset Number:
CU version : D1.17 [100.91 S2.2.4p B01.29c 000 00000000 00000000 00000000 F32 J0]
PU version : 00.00.96 [PI02.08]
PCL Program version : 01.41　PSE Program version : 3010, PSE61
Total Memory Size : 32 MB Flash Memory : 2 MB [F32]
JP1

インフォメーションメニュー	
メニューマップ印刷	
ファイルリスト印刷	
PCL フォント印刷	
PSE フォント印刷	
ESC/P フォント印刷	
DEMO1	

印刷メニュー	
コピー枚数	1
手差し印刷	オフ
給紙トレイ	トレイ 1
自動トレイ切り替え	オフ
トレイ選択順序	下方向
用紙サイズチェック	有効
解像度	600 DPI
トナーセーブモード	無効
印刷方向	縦
1 ページ行数	64 行
編集サイズ	カセット用紙サイズ

メディアメニュー	
トレイ 1 用紙サイズ	A4 サイズ
トレイ 1 用紙タイプ	普通紙
トレイ 1 用紙厚	普通紙
手差し用紙サイズ	A4 サイズ
手差し用紙タイプ	普通紙
手差し用紙厚	普通紙
カスタムサイズ設定単位	ミリメートル
カスタム用紙幅	210 ミリメートル
カスタム用紙長さ	297 ミリメートル

システム構成メニュー	
パワーセーブ移行時間	5 分
エミュレーション	自動
セントロ PS モード	ASCII
USB PS モード	RAW
NETWORK PS モード	RAW
アラーム解除	オン
エラー自動解除	オフ
手差しタイムアウト	60 秒
タイムアウト印刷	40 秒
トナー不足印刷継続	継続
ジャムリカバー	オン
エラーレポート印刷	オフ
言語	日本語

PCL エミュレーションメニュー	
使用フォント	内蔵フォント
フォント No.	1000
フォントサイズ	12.00 ポイント
シンボルセット	WIN3.1J
A4 印字幅	78 桁

ESC/P エミュレーションメニュー	
漢字フォント	自動
ANK フォント	自動
ANK コード	カタカナ
ANK ゼロ書体	ノーマル
縮小印刷	等倍
頭出し位置	8.5 ミリメートル
横オフセット	0 ミリメートル
縦オフセット	0 ミリメートル
右マージン	用紙幅
CR 機能	CR のみ
自動復改機能	CR + LF

セントロメニュー	
セントロ	有効
双方向	有効
ECP	有効
ACK 幅	狭い
ACK / BUSY タイミング	ACK IN BUSY
I-PRIME	無効
オフライン受信	無効

USB メニュー	
USB	有効
ソフトリセット	無効
オフライン受信	無効

NETWORK MENU	
TCP/IP	ENABLE
NETBEUI	ENABLE
NETWARE	ENABLE
ETHERTALK	ENABLE
FRAME TYPE	AUTO
IP ADDRESS SET	AUTO
IP ADDRESS	192.168.100.100
SUBNET MASK	255.255.255.000
GATEWAY ADDRESS	192.168.100.254
INITIALIZE NIC?	
WEB/IPP	ENABLE
TELNET	ENABLE
FTP	ENABLE
SNMP	ENABLE
LAN	NORMAL
HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE

メモリメニュー	
受信バッファサイズ	自動
リソースセーブエリア	オフ

システム補正メニュー	
X 補正	0.00 ミリメートル
Y 補正	0.00 ミリメートル
PCL 手差しトレイ ID#	2

設定値を初期化します

- ユーザメニューのみ初期化します。
- 「NETWORK」カテゴリの初期化はカテゴリ内の[INIT NIC]で行ってください。

❶「メニュー」スイッチを数回押し、[メンテナンス／メニュー]にします。

❷「設定項目▲」スイッチを押し、[EEPROM／リセット]にします。

❸「メニュー選択」スイッチを押します。

設定が初期化されます。

12 メンテナンスをします

12

トナーカートリッジを交換します

トナーカートリッジを交換します

トナーカートリッジの交換の目安

トナーが少なくなると操作パネルに[トナー　ロー]のメッセージが表示されますので、新しいトナーカートリッジに交換してください。そのまま約100枚印刷を続けると[トナー　コウカン／シテクダサイ]を表示して印刷を停止します。
お使いの環境によっては、メッセージが表示される前に印刷が薄くなることもあります。このようなときは、トナーカートリッジを外して、カートリッジ内のトナーを確認し、空の場合は新しいトナーカートリッジに交換してください。
トナーカートリッジ交換の目安は、A4用紙で5%の印刷密度の場合(1ページの印刷範囲でトナーのついている面積)で、約2,500枚です。ただし、新しいドラムカートリッジに1本目のトナーカートリッジを取りつけたときは約半分の枚数になります。
上記に対し、あきらかに[トナー　ロー]のメッセージ表示が早い場合、トナーカートリッジにトナーが残っている可能性があります。イメージドラムにトナーカートリッジを取り付けた状態で、トナーカートリッジを軽くたたいてください。

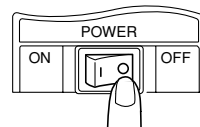
オンライン トナー　ロー	→	トナー　コウカン シテクダ゛サイ

- 開封後1年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。(純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。)

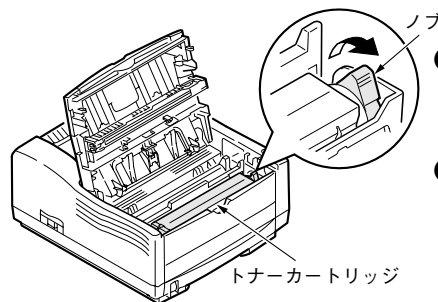
トナーカートリッジを交換します

1 プリンタの電源をOFFにし、スタッカカバーを開けます。

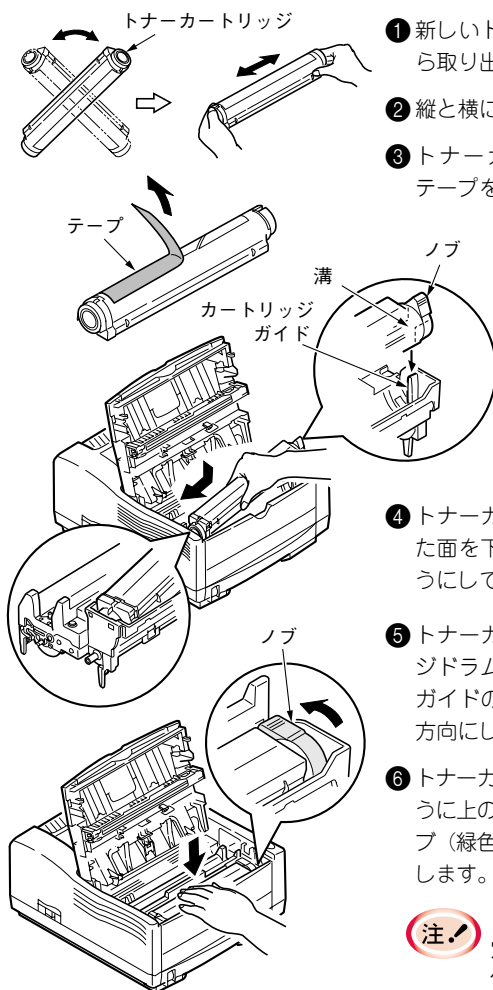
⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みのトナーカートリッジを取り出します。

⚠警告	使用済みトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

メモ　使用済みトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」(206ページ)をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

❶ トナーカートリッジのノブ(緑色)を矢印の方向に止まるまで回します。

❷ トナーカートリッジを取り出します。

3 新しいトナーカートリッジをセットします。

❶新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

❷縦と横に数回振ります。

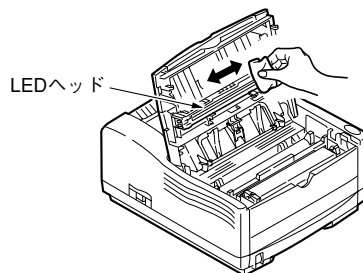
❸トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりはがします。

❹トナーカートリッジをテープをはがした面を下にして、ノブが右側になるようにして持ちます。

❺トナーカートリッジ右側の溝をイメージドラムカートリッジのカートリッジガイドの突起にあわせながら、矢印の方向にしっかり押さえ込みます。

❻トナーカートリッジが浮き上がらないように上の面を手で支えながら、右側のノブ（緑色）を矢印の方向に止まるまで回します。

トナーカートリッジが正しく固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

4 LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパでLEDヘッド全体を軽く拭きます。

メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LEDヘッドを傷めますので使用しないでください。

LEDレンズクリーナは、交換用トナーカートリッジに添付されています。

5 ドラムカートリッジを取り外し、LEDレンズクリーナまたは水を含ませ固くしぼった布で紙粉受けの紙粉を拭き取ります。

注 紙粉取りフィルムを曲げないように軽く拭いてください。紙粉を用紙走行路や転写ローラ表面に付着させないように拭き取ってください。

6 イメージドラムカートリッジを取り付け、スタッカカバーを閉じます。

トナーカートリッジの交換後に、操作パネルの[トナー　ロー]または[トナー　コウカン／シテテクダサイ]表示が消えないことがありますが、故障ではありません。表示はしばらく印刷すれば消えます。表示がいつまでも消えないときは、トナーカートリッジを外し、数回振ってセットし直してください。

イメージドラムカートリッジを交換します

イメージドラムカートリッジ交換の目安

イメージドラムカートリッジが寿命になると操作パネルに[ドラムコウカン]のメッセージが表示されますので、新しいイメージドラムカートリッジに交換してください。そのまま印刷を続けてトナーが少なくなると印刷を停止します。
イメージドラムカートリッジ交換の目安は、A4サイズの用紙で約25,000枚です。ただし、これは連続で印刷した場合の枚数です。一度印刷するとイメージドラムカートリッジは空回転をするため、1枚ずつ印刷する場合には、約半分でドラム寿命になります。

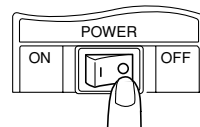
オンライン
ト゛ラムコウカン

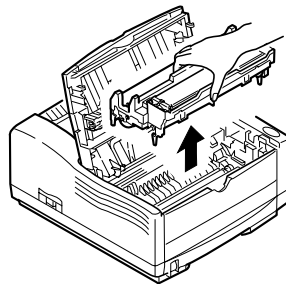
- 開封後1年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいイメージドラムカートリッジを準備してください。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。(純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。)
- イメージドラムカートリッジ交換直後は一時的に印刷が薄くなることがあります。しばらく印刷をすると回復します。
- 長期間使用すると、ごくまれに印刷濃度が濃くなってくることがあります。プリンタのメンテナンスメニューで[インサツノウド]を[-1]または[-2]に設定してください。PCLプリンタドライバを使用する場合は、プリンタドライバの[印刷濃度]を[やや薄い]または[薄い]に設定して濃度を調整してください。イメージドラムカートリッジを交換したときは設定を元に戻してください。
- イメージドラムカートリッジの交換と同時にトナーカートリッジも交換します。

イメージドラムカートリッジを交換します

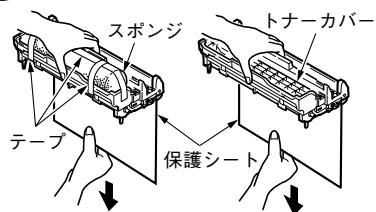
1 プリンタの電源をOFFにし、スタッカカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

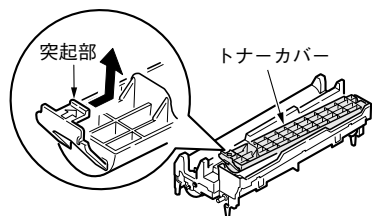
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みのイメージドラムカートリッジを取り出します。

イメージドラムカートリッジの手前(トナーカートリッジ側)を軽く持ち上げ、そのまま上方に引き抜きます。
イメージドラムカートリッジを取り出すと、トナーカートリッジも一緒に取り出されます。

メモ 使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」(206ページ)をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

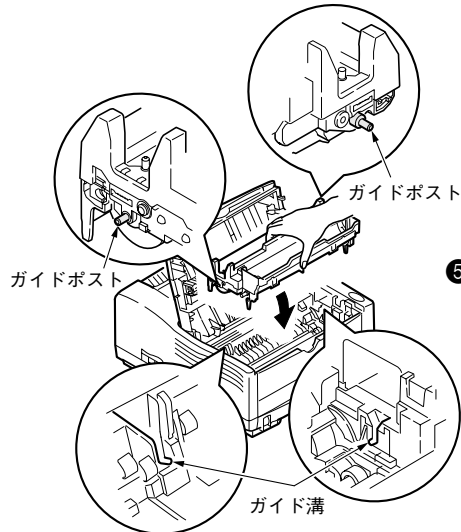
⚠警告	使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

3 新しいイメージドラムカートリッジをセットします。

❶新しいイメージドラムカートリッジを包装袋から取り出します。

❷イメージドラムカートリッジの手前側を少し持ち上げ、そのまま静かに上に取り出します。

❸イメージドラムカートリッジの中央部を手でしっかり押さえ、保護シートを矢印の方向にまっすぐ引き抜きます。

❹スポンジの場合は、スポンジをとめているテープ（3ヶ所）をはがし、スポンジを取り外します。
トナーカバー（オレンジ色）の場合は、突起部を矢印方向に押し、取り外します。

メモ　スポンジやトナーカバーは不燃物として処理してください。

注　スポンジを外すとき、トナーが飛散する場合があります。大きめの紙の上などで行ってください。

❺イメージドラムカートリッジを静かに戻します。左右のガイドポストを本体のガイド溝に合わせ、❷と逆の手順でイメージドラムカートリッジの手前側を少し上向きにしてはめ込みます。次に手前側を下向きに回転させ、プリンタ本体にカチッとはまるようにセットします。

- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

4 新しいトナーカートリッジをセットします。

詳細は「トナーカートリッジを交換します」（188ページ）をご覧ください。

5 スタッカカバーを閉じます。

6 ドラムカウンタをリセットします。

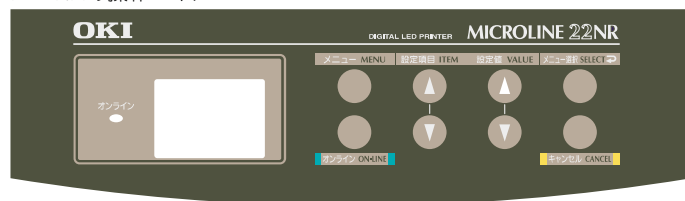
❶「メニュー」スイッチを数回押し、［メンテナンス／メニュー］にします。

❷「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、［ドラムカウンタ／リセット］にします。

❸「メニュー選択」スイッチを押します。

クリーニングページをします

イメージドラムに付着した汚れを取り除きます。周期的な黒・白斑点が入る場合に行ってください。

ML22NRの操作パネル

❶「メニュー」スイッチを数回押し、[メンテナンス／メニュー]を表示します。

❷「設定項目▲」または「設定項目▼」スイッチを数回押し、[クリーニング／インサツ]を表示します。

❸手差しトレイにA4用紙をセットします。

注 A4用紙をセットしないと正しくクリーニング印刷できないことがあります。

❹「メニュー選択」スイッチを押します。

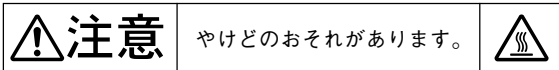
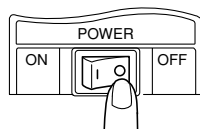
クリーニング印刷が開始されます。

❺印刷が終了したら、「オンライン」スイッチを押して[オンライン]にします。

注
- クリーニングページは、イメージドラムに付着した汚れを用紙に転写して取り除くため、汚れが付着したような印刷になります。
- クリーニングページを行った後、通常の印刷を行っても周期的な黒・白斑点がなくならない場合は、イメージドラム内にのりなどの異物付着、イメージドラム表面のキズなどが考えられます。この場合は、イメージドラムカートリッジの交換が必要です。

紙粉受けの紙粉を拭き取ります

用紙走行路の紙粉受けに紙粉が溜まった場合に行ってください。
トナー交換の周期が目安です。

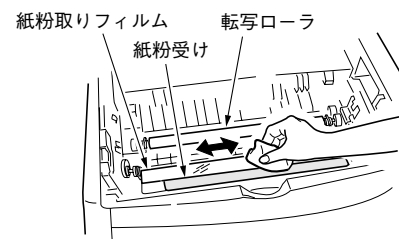
1 プリンタの電源を OFF にし、スタッカカバーを開けます。

注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 イメージドラムカートリッジを取り出します。

- 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙などをかぶせ、強い光に当てないようにしてください。
- 取り出したイメージドラムカートリッジのイメージドラム(緑色の筒の部分)は非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。また、直射日光や強い光(約1500ルクス以上)に当てないでください。室内の照明でも5分以上は放置しないでください。

3 LEDレンズクリーナまたは水を含ませて固く絞った布で紙粉受けに溜まった紙粉を拭き取ります。

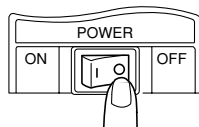
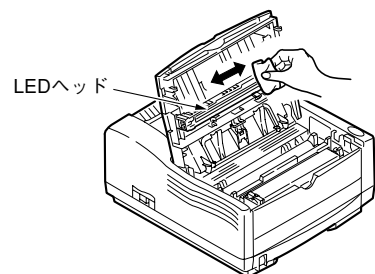
- 紙粉を用紙走行路や転写ローラに付着させないよう軽く丁寧に拭き取ってください。
- 紙粉取りフィルムは変形させないよう注意してください。

4 イメージドラムカートリッジをプリンタに戻し、スタッカカバーを閉じます。

LEDヘッドを清掃します

印刷時にかすれや白いすじが入ったり、文字がにじんだりする場合に行ってください。

1 プリンタの電源をOFFにし、スタッカカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

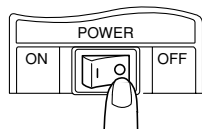
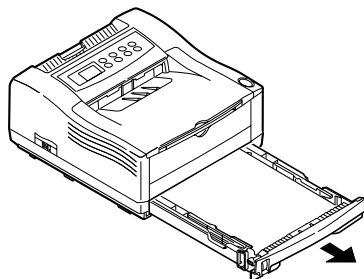
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパでLEDヘッド全体を軽く拭きます。

注 メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LEDヘッドを傷めますので使用しないでください。

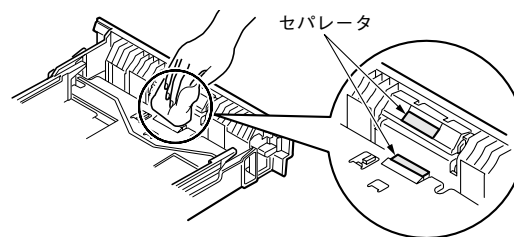
メモ LEDレンズクリーナは、交換用トナーカートリッジに添付されています。

3 スタッカカバーを閉じます。

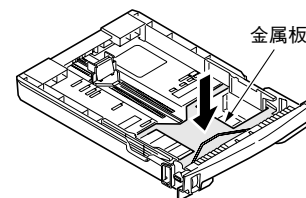
用紙カセットのセパレータを清掃します

用紙カセットからの給紙が正しく行われない場合に行ってください。

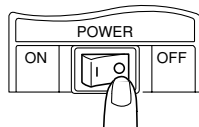
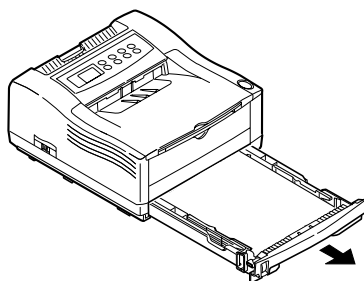
1 プリンタの電源を OFF にします。

2 用紙カセットをプリンタから引き出します。

3 用紙カセットから用紙を取り出します。

4 水を含ませてかたく絞った布で、用紙カセットのセパレータ（2ヶ所）を拭きます。

- 水以外は使用しないでください。
- 本プリンタは油をさす必要はありません。注油しないでください。
- 拡張給紙ユニットからの給紙が正しく行われない場合は、拡張給紙ユニットのセパレータを同様に清掃してください。

5 用紙カセットに用紙を入れ、プリンタに戻します。

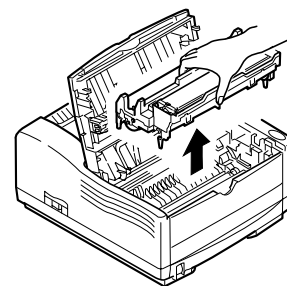
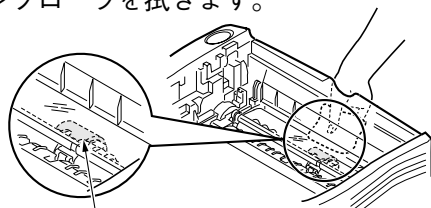
用紙の下の金属板が上がっている場合、カチッとロックするまで押し下げてからプリンタに挿入してください。金属板が上がったまま挿入すると故障の原因になります。

ホッピングローラを清掃します

用紙カセットからの給紙が正しく行われない場合に行ってください。

1 プリンタの電源を OFF にします。

2 用紙カセットをプリンタから引き出します。

3 スタッカカバーを開け、イメージドラムカートリッジを取り出します。

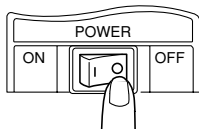
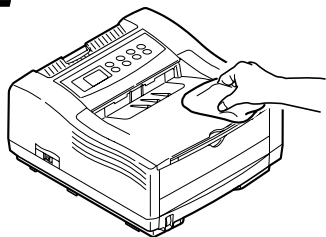
- 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙などをかぶせ、強い光に当てないようにしてください。
- 取り出したイメージドラムカートリッジのイメージドラム(緑色の筒の部分)は非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。また、直射日光や強い光(約1500ルクス以上)に当てないでください。室内の照明でも5分以上は放置しないでください。

	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

4 水を含ませてかたく絞った布で、用紙カセットの取り付け口からホッピングローラを拭きます。

- 水以外は使用しないでください。
- 本プリンタは油をさす必要はありません。注油しないでください。
- 拡張給紙ユニットからの給紙が正しく行われない場合は、拡張給紙ユニットのホッピングローラを同様に清掃してください。

5 イメージドラムカートリッジと用紙カセットをプリンタに戻し、スタッカカバーを閉じます。

プリンタ表面を清掃します

1 プリンタの電源を OFF にします。

2 プリンタの表面を拭きます。

❶ 水または中性洗剤を含ませて、かたく絞った布で拭きます。

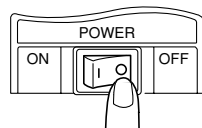
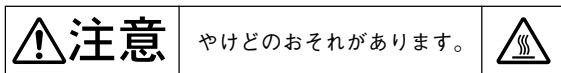
❷ 柔らかい乾いた布で拭きます。

- 水または中性洗剤以外は使用しないでください。
- 本プリンタは油をさす必要はありません。注油しないでください。

プリンタを輸送するとき

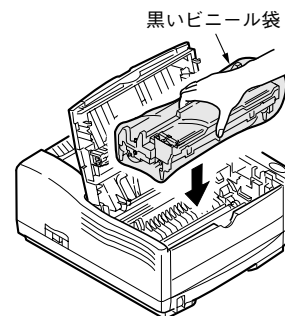
プリンタは精密機器ですので、梱包方法によっては輸送中に破損することがあります。次の手順で輸送してください。

1 プリンタの電源を OFF にします。

- 電源コード、アース線
- プリンタケーブル
- 用紙カセットに入っている用紙

2 スタッカカバーを開け、イメージドラムカートリッジを取り出します。

⚠注意 やけどのおそれがあります。

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

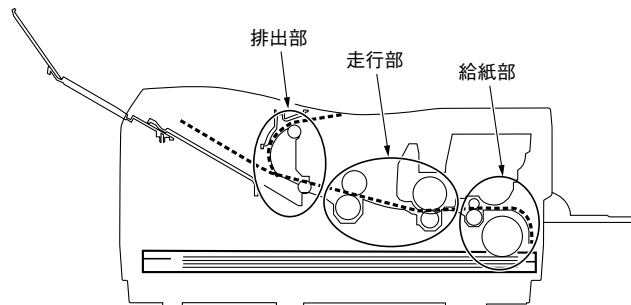
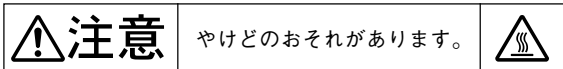
3 イメージドラムカートリッジをトナーカートリッジごと黒いビニール袋に入れ、プリンタに戻します。

- 黒いビニール袋はプリンタに同梱されています。
- いったんトナーカートリッジを装着した後にトナーカートリッジを外しますと、ドラムの口が開いたままになり輸送等の揺れによりドラムの口からトナーがこぼれ飛粉する場合があります。また、イメージドラムカートリッジを黒いビニール袋に入れないで輸送すると、トナーがこぼれ、プリンタ内部を汚すおそれがあります。必ず黒いビニール袋を使用してください。

4 緩衝材でプリンタを保護し、梱包箱に入れます。

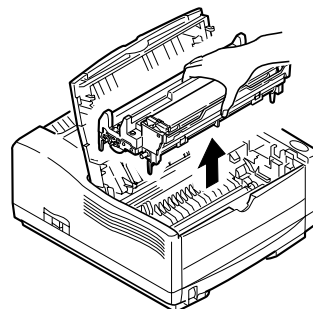
プリンタ購入時に付いていた梱包箱と緩衝材を使用してください。

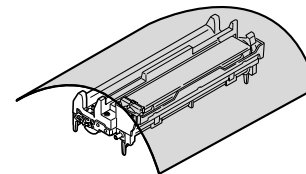
13 紙づまりになったとき

紙づまりになったとき

紙づまりが発生すると操作パネルに[ヨウシサイズ　エラー]、[ヨウシジャム]、[ハイシジャム]メッセージが表示されます。次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1 スタッカカバーを開きます。

やけどのおそれがあります。

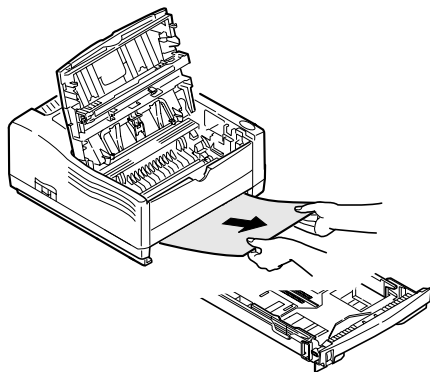
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

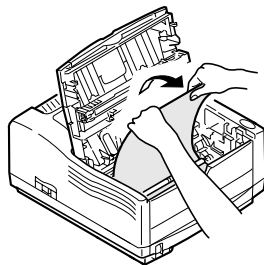
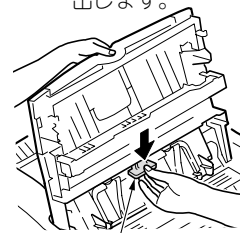
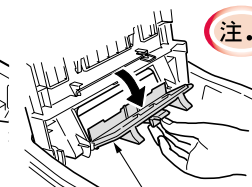
2 イメージドラムカートリッジを取り出します。

❶イメージドラムカートリッジを取り出します。

❷取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

- イメージドラム(緑の筒の部分)は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光(約1500ルクス以上)に当てないでください。室内の照明の下でも、5分間以上は放置しないでください。

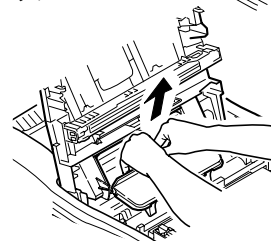
3 つまった用紙を取り除きます。

用紙カセット部(ヨウシジャム)

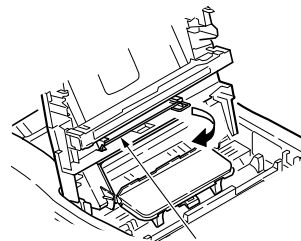
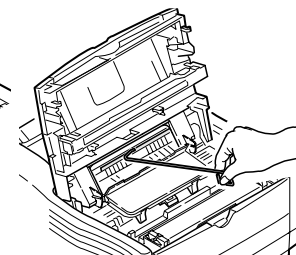
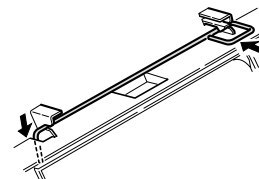
用紙カセットを引き出し、つまっている用紙を取り除きます。

プリンタ内部(ヨウシジャム、ヨウシサイズエラー)

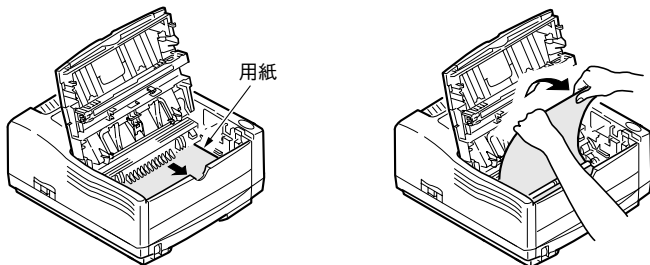
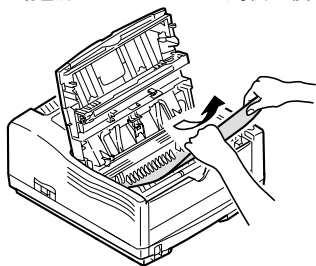
用紙の先端が見えている場合は、つまっている用紙の先端をつかみ、ゆっくり引き出します。

用紙の先端が見えていない場合は、下記の手順でつまっている用紙を引き出します。

❶ ロックレバーを押し下げ、アクセスカバーを開きます。

注 アクセスカバーを開くときは、スタッカカバーを手で押さえてロックレバーを押してください。

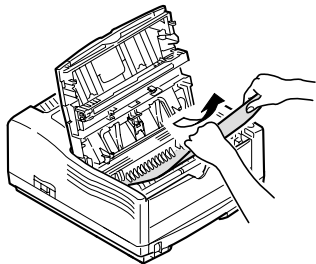
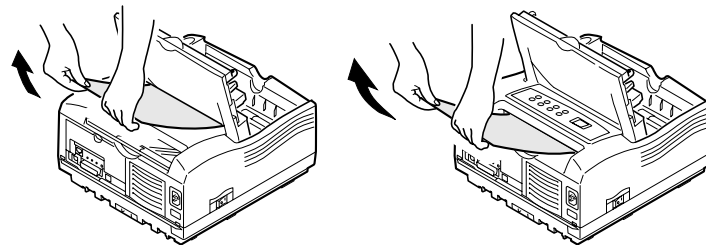
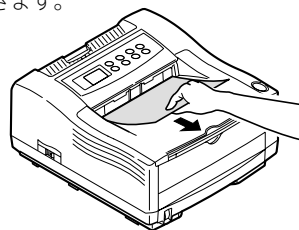
ロックレバー

アクセスカバー

❷ つまっている用紙の先端が見えた場合は、用紙を引き出します。

❸ 先端が見えない場合は、スタッカカバー裏面にある用紙除去棒を使って、用紙を掻き出します。

用紙除去棒

❹ アクセスカバーを閉じます。

メモ 用紙除去棒は、使い終わった後、元の場所に取り付け直してください。

用紙の先端も後端も見えない場合は、つまっている用紙を矢印の方向にずらしてから用紙の先端部をつかみ、ゆっくり引き出します。

用紙の後端が見えている場合は、つまっている用紙の後端部をつかみ、ゆっくり引き出します。

用紙排出部（ハイシジャム）

用紙後端がプリンタ内部に見えている場合は、つまっている用紙の後端をつかみ、ゆっくり引き出します。

用紙排出部でつまった場合でも、スタッカカバー内部に用紙が見えている場合は、プリンタ内側に用紙を引き出してください。無理に後ろに引き出すと定着器ユニットを傷めるおそれがあります。

用紙の後端が見えず、用紙先端が排出部に見えている場合は、用紙の先端をつかんでゆっくり引き出します。

用紙が取り出せない場合は、無理に引き出さず、次のようにして用紙を取り除きます。

❶ イメージドラムカートリッジをプリンタに戻し、スタッカカバーを閉じます。

❷ モータが回転を始めたら、用紙先端をつかんで引き出します。

拡張給紙ユニット（オプション）、マルチパーパスフィーダ（オプション）から給紙したときに紙づまりが発生した場合は、それぞれの用紙走行部に用紙が残っていないかチェックしてください。また、スタッカカバーをいったん開閉しないとアラーム表示を解除できません。

4 イメージドラムカートリッジを戻し、スタッカカバーを閉じます。

付　録

ユーザサポートサービスについて

保証について

- 本製品には「保証書」が入っています。
- 「保証書」は、お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡しします。記入内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中に万一故障が生じたときは、「保証書」に記載されている当社保証規定に基づき無償で修理します。無償保証期間は「保証書」に記載されています。
- 「保証書」に所定事項が記入されていない場合や紛失した場合は、保証期間中であっても、保証が無効となる場合があります。
- 保証期間経過後は、修理によって本プリンタの性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償にて修理します。詳しくは、お客様相談センターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接・間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。

最新版のプリンタソフトウェアを入手したい

ダウンロードサービス

沖データホームページから入手できます。
http://www.okidata.co.jp

プリンタのご相談と修理について

プリンタの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、プリンタに関するお問い合わせをお受けします。次の「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。なお、内容確認のため、録音をさせていただいております。

お客様相談センター　0120-654-632
（携帯電話からは03-5833-5710）

受付時間　9：00 ～ 20：00 月曜日～金曜日
9：00 ～ 17：00 土曜日
(但し　祝日を除く)

※ 月曜日～金曜日の17:30～20:00及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、 翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。
※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

（個人情報の取り扱いについて）

当社はお客様の個人情報を厳正に管理し、以下の場合を除き、第三者への開示や、提供はしないものとします。

a）当社が指定する業務提携会社に対して、お客様の氏名・住所・電話番号など保守サービス等の業務を委託するために必要な限度でお客様情報を提供すること。
b）お客様情報を統計的に集計・分析し、個人を識別、特定できない形態に加工した統計データを作成させていただき、製品開発、サービス向上の判断材料として利用すること。
c）予め登録時に同意頂いたお客様に対して、当社または当社の提携会社より、サービス提供，アンケートその他の告知等のため電子メールや郵便物の郵送、または営業担当者からコンタクトを取らせて頂くこと。
d）裁判所の発行する令状、捜査事項照会書その他法令に基づいてお客様情報を開示すること。

◆プリンタのサポートサービスは(株)沖電気カスタマアドテック（OCA）とそのグループ会社が担当しております。

― お問い合わせに回答できない場合について ―

1. UNIX 環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5 プリンタの非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

プリンタ環境
機種名：＿＿＿＿＿＿　製造番号：＿＿＿＿＿＿　購入月：＿＿年＿＿月
追加オプション：　なし　・　あり（　　　　）

コンピュータ環境
☐Windows　バージョン：＿＿＿＿＿＿
☐Mac OS　バージョン：＿＿＿＿＿＿

接続方法
☐パラレル　☐USB　☐ネットワーク
☐TCP/IP　☐IPX/SPX　☐EtherTalk　☐NetBEUI

プリンタドライバ
プリンタドライバ名：＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿

アプリケーションソフト
アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿
使用フォント名：＿＿＿＿＿＿

エラー表示（正確に）
コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿＿＿
プリンタの操作パネルに表示される内容：＿＿＿＿＿＿

その他
他のアプリケーションからの印刷：☐正常　☐印刷できない
他のコンピュータからの印刷　　：☐正常　☐印刷できない

消耗品を購入したい

プリンタをお買い上げいただいた販売店でお求めください。

プリンタを廃棄したい

お買い上げいただいたプリンタの廃棄の際、事業所でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に委託してください。一般家庭でお使いの場合は、お客様がお住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。
なお、詳しくは各自治体にお問い合わせください。

使用済み消耗品の回収について

沖データでは環境保全と再資源化を目的として、使用済みのMICROLINEプリンタの消耗品とメンテナンスユニットの無料回収を行っています。
右の用紙をコピーし、必要事項を記入してFAX、もしくは、弊社のホームページ(http://www.okidata.co.jp)よりご連絡いただければ、お客様のところまで指定の宅配業者が回収におうかがいいたします。

（お願い）

- 包装箱やビニール袋は捨てずに保管し、ご使用済みの消耗品およびメンテナンスユニットの回収時に利用してください。
- カートリッジ1本でも回収にうかがいますが、地球環境への負荷をできるだけ低減させるためまとめ回収にご協力ください。
- できましたら、回収品の数が多い場合、不要になったダンボール箱などにまとめて頂くようお願いいたします。

皆様のご協力をお願いします。

受付 No.　：
＊ 弊社にて記入いたしますので、お客様の記入は不要です。

FAX 0120-107995
沖データ回収センタ　宛

西暦　　　年　　月　　日

お客様名（会社名）：
ご担当者名　：
ご住所　：
お電話番号　：
回収ご希望日　：　　　年　　月　　日

【お断り：受付時間以降にFAXされた場合、回収日がずれる場合があります。】

回収依頼品

品目	数量
イメージドラムカートリッジ　：	個
トナーカートリッジ　：	個
定着器オイルローラ　：	個
廃棄トナーボックス　：	個
転写ベルトユニット　：	個
定着器ユニット　：	個
インクリボンカートリッジ　：	個
その他マイクロライン消耗品　：	個

【*不要となったダンボール箱などにまとめて入れてください。】
まとめた箱の荷姿で合計　：　　個口

ご不明な点は下記へご連絡ください。
沖データ回収センタ
TEL 024-594-2185　又は、フリーダイヤル0120-640991
受付時間：月～金曜日（祝日、弊社休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

仕様

主な仕様

ML22NR

印刷方式	LED(発光ダイオード)を露光光源とする乾式電子写真記録方式
解像度	1200×600ドット/インチ（ESC/Pモードでは600×600ドット/インチ）
印刷色	黒
CPU	PowerPC405PS（266MHz）
RAM容量	48MB
対応OS	WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版 *4 MacOS9.0～9.2.2日本語版（PSプリンタドライバ使用、USB接続の場合） MacOS8.1～9.2.2日本語版/Mac OS X Classic環境日本語版PSプリンタドライバ使用、ネットワーク接続の場合） MacOS8.1～9.2.2日本語版/Mac OS X Classic環境日本語版（PCLプリンタドライバの場合） Mac OS X 10.1～10.3.2日本語版　　　詳しくは動作環境をご覧ください。
印刷言語	PostScript3エミュレーション、PCL5eエミュレーション、ESC/P 24-J84準拠（ドットプリンタエミュレーション）
内蔵フォント	PSE　：日本語2書体、欧文136書体　　PCL5e　：日本語4書体、欧文84書体 ESC/P　：日本語2書体、欧文2書体
インタフェース	IEEE Std 1284-1994準拠パラレル、USB（フルスピード最大12Mbps）、100BASE-TX/10BASE-T
印刷速度 *1	最大22ページ/分（A4/コピーモード　はがき、封筒を除く）
用紙サイズ *2	A4、A5、A6、B5、レター、リーガル13インチ、リーガル14インチ、エグゼクティブ、フリー、はがき、往復はがき、封筒（8種）
用紙種類 *2	普通紙（連量55～90kg）、はがき、封筒、ラベル紙、OHPシート
給紙方法 *2	用紙カセットによる自動給紙、手差しによる1枚給紙 拡張給紙ユニット（オプション）、マルチパーパスフィーダ（オプション）による自動給紙
給紙容量	用紙カセット　：普通紙250枚／連量55kg　総厚24mm以下 拡張給紙ユニット（オプション）　：普通紙500枚／連量55kg　総厚50mm以下 マルチパーパスフィーダ（オプション）：普通紙100枚／連量55kg、はがき50枚　総厚10mm以下 封筒50枚/85g/m^2　総厚30mm以下
排出方法 *2	フェイスアップ（表排出）/フェイスダウン（裏排出）
排出容量	フェイスアップ：約50枚/連量55kg　　フェイスダウン：約150枚/連量55kg
印刷保証範囲	用紙の端から6.35mm以上（封筒などの特殊な用紙は除く）
印刷精度	書き出し位置精度 ±2mm　用紙の斜行 ±1mm/100mm　画像伸縮 ±1mm/100mm（連量55kgの場合）
電源	AC100V±10%、50/60Hz±1Hz
消費電力	動作時　：最大700W、平均370W(25℃) 待機時　：最大700W、平均68W(25℃) 省電力モード時：（オプション未装着時）10W以下 ：（オプション装着時）　最大12W
突入電流	76A以下(25℃)
使用環境条件	動作時：10～32℃／20～80%RH（最高湿球温度25℃　最高乾球湿球温度差2℃） 停止時：0～43℃／10～90%RH（最高湿球温度26.8℃　最高乾球湿球温度差2℃）
印刷品質保証条件	温度10℃時　湿度30～78%RH、温度32℃時　湿度30～54%RH、 湿度30%RH時　温度10～32℃、湿度80%RH時　温度18～27℃
標準使用条件	平均電源ON時間　：200H/月　　平均印刷枚数　：3,000枚/月
消耗品	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジ
装置寿命	5年または18万枚(平均印刷枚数：3,000枚／月)
重　量 *3	約9kg

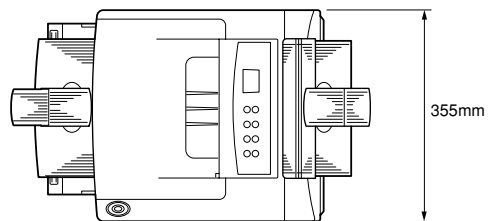
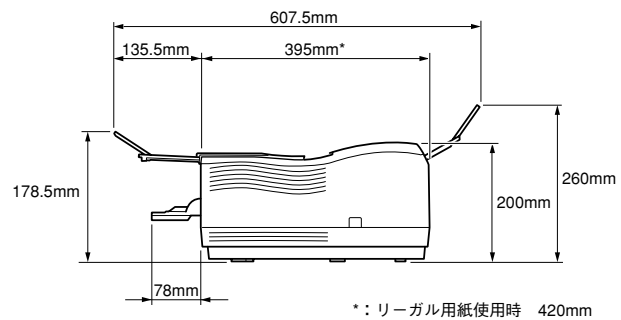
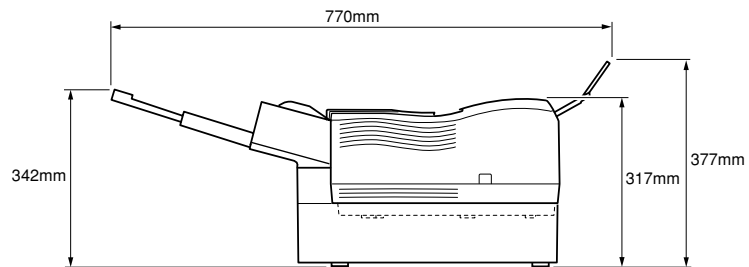
*1：用紙のサイズ、種類、厚さ、給紙方法により印刷速度は変わります。
*2：用紙のサイズ、種類、厚さにより、給紙方法と排出方法に制限があります。
*3：オプション、用紙重量は含みません。
*4：Windows95 PSプリンタドライバをインストールするためには、［Windows95日本語版オペレーティングシステムCD-ROMあるいはフロッピーディスク］が別途必要です。
WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをインストールするためには、［WindowsNT Server 4.0日本語版オペレーティングシステムCD-ROM］、［WindowsNT Workstation 4.0日本語版オペレーティングシステムCD-ROM］または、［WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM］が必要です。

ML22N

印刷方式	LED(発光ダイオード)を露光光源とする乾式電子写真記録方式
解像度	1200×600ドット/インチ（ESC/Pモードは600×600ドット/インチ）
印刷色	黒
CPU	PowerPC 405PS（266MHz）
RAM容量	16MB
対応OS	WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版、MacOS8.1～9.2.2/MacOS X Classic環境日本語版/ Mac OS X 10.1～10.3.2日本語版　　詳しくは動作環境をご覧ください。
印刷言語	PCL5eエミュレーション、ESC/P 24-J84準拠（ドットプリンタエミュレーション）
内蔵フォント	PCL5e：日本語4書体、欧文84書体　　ESC/P：日本語2書体、欧文2書体
インタフェース	IEEE Std 1284-1994準拠パラレル、USB（フルスピード最大12Mbps）、100BASE-TX/10BASE-T
印刷速度 *1	最大22ページ/分（A4/コピーモード　はがき、封筒を除く）
用紙サイズ *2	A4、A5、A6、B5、レター、リーガル13インチ、リーガル14インチ、エグゼクティブ、フリー、はがき、往復はがき、封筒（8種）
用紙種類 *2	普通紙（連量55～90kg）、はがき、封筒、ラベル紙、OHPシート
給紙方法 *2	用紙カセットによる自動給紙、手差しによる1枚給紙 拡張給紙ユニット（オプション）、マルチパーパスフィーダ(オプション)による自動給紙
給紙容量	用紙カセット　：普通紙250枚／連量55kg　総厚24mm以下 拡張給紙ユニット（オプション）　：普通紙500枚／連量55kg　総厚50mm以下 マルチパーパスフィーダ（オプション）：普通紙100枚／連量55kg、はがき50枚　総厚10mm以下 封筒50枚/85g/m^2　総厚30mm以下
排出方法 *2	フェイスアップ（表排出）/フェイスダウン（裏排出）
排出容量	フェイスアップ：約50枚/連量55kg　　フェイスダウン：約150枚/連量55kg
印刷保証範囲	用紙の端から6.35mm以上（封筒などの特殊な用紙は除く）
印刷精度	書き出し位置精度 ±2mm　用紙の斜行 ±1mm/100mm　画像伸縮 ±1mm/100mm（連量55kgの場合）
電源	AC100V±10%、50/60Hz±1Hz
消費電力	動作時　：最大700W、平均370W(25℃) 待機時　：最大700W、平均68W(25℃) 省電力モード時：（オプション未装着時）10W以下 （オプション装着時）　最大12W
突入電流	76A以下(25℃)
使用環境条件	動作時：10～32℃／20～80%RH（最高湿球温度25℃　最高乾球湿球温度差2℃） 停止時：0～43℃／10～90%RH（最高湿球温度26.8℃　最高乾球湿球温度差2℃）
印刷品質保証条件	温度10℃時　湿度30～78%RH、温度32℃時　湿度30～54%RH、 湿度30%RH時　温度10～32℃、湿度80%RH時　温度18～27℃
標準使用条件	平均電源ON時間　：200H/月　　平均印刷枚数　：3,000枚/月
消耗品	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジ
装置寿命	5年または18万枚(平均印刷枚数：3,000枚／月)
重　量 *3	約9kg

*1：用紙のサイズ、種類、厚さ、給紙方法により印刷速度は変わります。
*2：用紙のサイズ、種類、厚さにより、給紙方法と排出方法に制限があります。
*3：オプション、用紙重量は含みません。

外形寸法

平面図

側面図

オプション装着時

ユーザーズマニュアルCD-ROMの内容

ユーザーズマニュアルCD-ROMには、次のマニュアルがPDF形式で収録されています。バージョン5以降のAcrobatに対応しています。Acrobat Readerは、プリンタソフトウェアCD-ROMに収納されています。

ML22NRNsetup.pdf ：ML22NR, ML22N共通のユーザーズマニュアルのセットアップ編です。（本書）
ML22NRapp.pdf ：ML22NRユーザーズマニュアルの応用編です。
ML22Napp.pdf ：ML22Nユーザーズマニュアルの応用編です。

マニュアルをハードディスクにコピーして使う場合は、セットアップ編と応用編を同じフォルダに保存してご利用ください。

ML22NRユーザーズマニュアル（応用編）の内容

1 Windowsソフトウェア
　ネットワークユーティリティ
2 Macintoshソフトウェア
3 いろいろな用紙に印刷するための設定
4 便利な印刷機能
5 プリンタメニューの使い方について
6 ネットワーク機能について
7 UNIXで使用する場合
8 NetWareで使用する場合
9 困ったときには
付　録

ML22Nユーザーズマニュアル（応用編）の内容

1 Windowsソフトウェア
　ネットワークユーティリティ
2 Macintoshソフトウェア
3 いろいろな用紙に印刷するための設定
4 便利な印刷機能
5 プリンタメニューの使い方について
6 ネットワーク機能について
7 困ったときには
付　録

索　引

索引

そ

た

ち

つ

て

と

索引

索引

索引

オキページプリンタ
MICROLINE 22NR/22N
ユーザーズマニュアル（セットアップ編）

発行日　2007年 3月　第4版
発行者　株式会社 沖データ

42823401EE

このマニュアルは再生紙を使用しています。